

*Smart Netcommunity***α ZX**

デジタルシステム コードレス電話機

取扱説明書

このたびは、SmartNetcommunity α ZX デジタルシステムコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品







安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご使用にあたってのお願い

- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本書は、SmartNetcommunity α ZXシリーズで共通の取扱説明書です。
- この取扱説明書は、 α ZXII-L / α ZX-L / α A1 / α N1-Lと接続した場合を例として説明しています。
- 本商品の画面表示や確認音は主装置タイプによって異なる場合があります。詳しくは各主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障・誤動作・不具合・停電などの外部要因によって、通信・録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄・譲渡・返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（P81、87、90）にしたがって消去願います。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解・改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっている各主装置の取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- この取扱説明書内のイラストは、一部実物と異なる場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠ 危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電台を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 本商品に使用する電池パックは、同梱の電池パックまたは同一の電池パックを使用してください。
- 電池パックは、プラス（赤）・マイナス（黒）・温度監視（白）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクターの向きを確かめて正しく差し込んでください。まちがった接続をすると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 火のそばや炎天下等の高温の場所で充電はしないでください。高温になると危険を防止する保護装置が働き充電できなくなったり、保護装置が壊れ、電池パックの液もれ、発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス（赤）・マイナス（黒）・温度監視（白）を針金などの金属類で接触しない。
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
 - ・ 水・雨水・海水・薬品等につけたり、ぬらさない。
 - ・ プラス（赤）・マイナス（黒）をショートさせない。
 - ・ ネックレス等の金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
 - ・ 火のそば、ストーブのそばなど高温の場所で使用したり、放置しない。
- 電池パックのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、加熱したりすると、電池パックのコードが破損し、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池カバーが外れている状態で水などの液体がかかった場合は、すぐに本商品の使用をやめ、本体の電池パックを取り外し、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

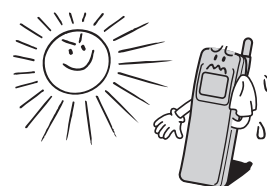
設置について



●本商品のそばに、常温の真水・水道水以外の液体の入ったコップ・化粧品・薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水道水以外の液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・直射日光が当たる場所、自動車の中、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・湿気の多い場所や油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



お取り扱いについて

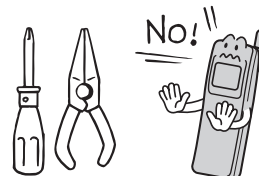


●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



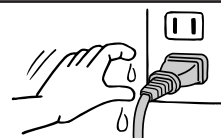
●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、本体の電源スイッチを切り、電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



●本商品内部や充電台に水が入ったりしないよう、またぬれさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となることがあります。「雨天・降雪中・海岸・水辺」での使用は特にご注意ください。

●充電台に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



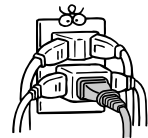
警告

●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、本体の電源スイッチを切り、本体の電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●充電台の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●充電台の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●万一、本商品を落としたり、本商品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の充電をやめ、本体の電源スイッチを切り、電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。電池パックの発熱・破裂・発火等の原因になります。

●引火性ガスが発生する場所では本商品を絶対に充電しないでください。火災の原因になります。

●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、直ちに充電をやめて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

●充電台の電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントへ確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検・清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●充電台の上に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



●自動車などの運転中に、絶対に本商品进行操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

●歩行中に、絶対に本商品进行操作したり、見たりしないでください。転倒・交通事故などの原因となることがあります。

●本商品をねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



●本商品や電話機コード類を熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

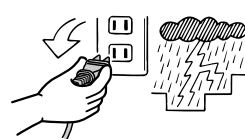
●本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。（ご注意いただきたい電子機器の例；補聴器、医療用電子機器など）医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

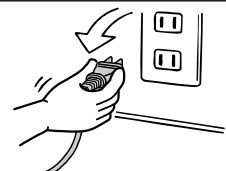
●満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るようにしてください。電波によりペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

●充電台の電源プラグは、近くの電源コンセントに接続し、かつ容易に抜くことができるようにしてください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに充電台の電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



●充電台の電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



警告

- 動いている機械の近くでイヤホンマイクを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。けがの原因となります。
- 雷が激しいときは、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本商品の使用を中止し、本体の電源スイッチを切り、電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、修理をご依頼ください。
- 電池パックは事故防止のため、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 壁掛け使用時は落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。

設置について

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・ 振動、衝撃の多い場所。



- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の間で行ってください。正常な充電ができなかったり、故障の原因となることがあります。
- 壁掛け用に取り付ける場合は、機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付けて設置してください。けがの原因となることがあります。
- 機器設置には指定のネジをご使用ください。火災・感電・事故の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

注意

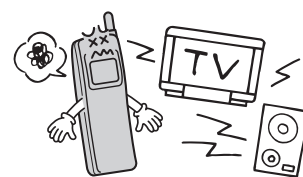
- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください。
- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 充電台の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、電話機の電源を切り、電池パックも取り外してください。
- 本商品や充電台をお手入れするときは、安全のため必ず充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 充電台を移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから確実に抜いた上で、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください。
- 電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。
- 電池パックを交換するときは、新しい電池パック（オプション）に交換してください。電池パックのコネクター抜き差しを繰り返さないでください。電池パックの接触不良の原因となります。
- 本機から送話をするときには、通話ボタンを押し、ダイヤルしてから耳に近づけてください。通話ボタンを押さずに耳に近づけると、呼び出し音で耳を痛めることがあります。また、通話中にマイク穴付近をこすらないでください。通話相手に大きな音が出て、相手の耳を痛めることがあります。
- 本商品は小さな部品（防塵キャップ）が含まれています。小さなお子様が悪く飲み込まないように、くれぐれもご注意ください。

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ・電子レンジ・スピーカー・テレビ・ラジオ・ファクシミリ・蛍光灯・電気こたつ・インバーターエアコン・電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●本商品は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。

- ・周囲の環境（壁・家具など）によっては使用範囲が狭くなります。特にサービスエリアの端のほうでは、体の向きを変えたり、周囲で人が移動しただけで電波状態が変わり、通話とぎれたりすることがあります。
- ・通話中に電波の届かないところや電波の弱いところに移動した場合は、通話とぎれたり切れたりすることがあります。
- ・トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、電波が乱れて通話とぎれたりすることがあります。
- ・本商品の液晶ディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- ・デジタルシステムコードレス接続装置とデジタルシステムコードレス電話機間、またはデジタルシステムコードレス電話機どうし間は1m以上離してご使用ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をぬれたぞうきん・ベンジン・シンナー・アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



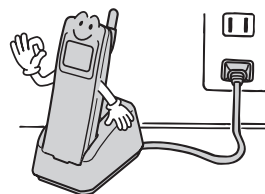
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



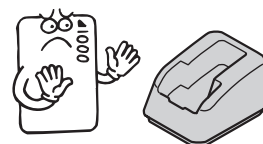
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。本商品は使用できません。

- 充電台の電源プラグを抜いたままにしないでください。

- ・電池が消耗すると本商品が使用できません。
- ・本商品が充電できません。
- ・本商品のクイック発信が設定されている場合、充電中に充電台の電源プラグが外れると、本商品はお話し中の状態となります（自営モードに限ります）。



- 充電台にキャッシュカード・テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。



- 本商品の電源はいつも「ON (入)」にしてください。「OFF (切)」になっていると、電話がかかってきても受けられません。お買い求め時は「OFF (切)」になっていますので、必ず「ON (入)」にしてからお使いください。

- 本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、充電ランプの点灯を確認してください。

- 十分充電しても使用できる時間が短くなった場合、または使用中に突然電源が切れてしまう場合は、電池パックの寿命の可能性がります。

- 電池パックのコードやコネクター部に大きな負荷をかけないでください。突然電源が切れる等の原因になることがあります。

- 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。正常に動作しなくなったときは、電池パックを取り外し、十分時間がたってから電源を入れるようにしてください。

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

STOP お願い

- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- イヤホンマイクのプラグは、通話中に抜き差ししないでください。また、あらかじめイヤホンマイク差込口の奥まで挿してください。中途半端に挿した状態になると、通話が切れたり、通話相手に大きな音やハウリング音が出たりすることがあります。
- 防塵キャップを外したままですと、イヤホンマイク差込口にごみやほこりなどが入りトラブルの原因となることがあります。イヤホンマイクをご利用にならないときは防塵キャップを装着してください。防塵キャップを装着しにくい場合は、少し回転させながら挿入ください。無理やり挿入すると、破損のおそれがあります。
- 補聴器などをしながらご使用になると、補聴器に雑音が入ることがあります。
- 本商品は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常的手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。
- デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところであっても高品質な通話を保つことができますが、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通話がとぎれることがあります。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

電波について

本商品は、1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話機です。

本商品には、以下に示すマークが付けられています。

1.9-P

1.9- : 1.9GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備を表します。
P : デジタルコードレス電話の無線局の種類（PHS方式デジタルコードレス電話）を表します。

■ 本電話機をお使いになる時の注意事項について

本商品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- 本商品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本商品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、当社のサービス取扱所にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

防水性能について

本電話機は、電池カバーをしっかりと取り付けた状態で、IPX5(※1) / IPX7(※2)相当の防水性能(当社試験方法による)を有しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

※1 IPX5とは、直径6.3mmのノズルを使用し、2.5～3mの距離から約12.5リットル/分の水を最低3分間放水する条件で、あらゆる方向から放水しても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温の水道水、かつ水深1mの静水に静かに沈め、約30分後に取り出したあとに、電話機としての機能を有することを意味します。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合、保証の対象外となります。

■ 本電話機をお使いになる時の注意事項について

本電話機の防水性能を維持するために、以下の点に注意してください。

- 電池カバーの浮きがないよう、本体と電池カバーの間にすき間がないことを確認してください。
- 電池カバー周辺（特にゴムパッキン）に細かいゴミ（微細な繊維、砂、毛髪など）が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。
- 本電話機は水に浮きません。
- 本電話機の防水性能は、常温の真水および水道水にのみ対応しています。
- 常温の真水、水道水以外の液体（石けん、洗剤、入浴剤、温泉、熱湯、冷水、アルコールなど）につけたり、かけたりしないでください。
- 水につけた状態で使用（キー操作等を含む）しないでください。
- 水中に長時間放置しないでください。
- 電話機には※1で規定する以上の強い水流を当てないでください。
- 受話口、送話口、スピーカー口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。（●P14）また、先の尖った物でつかないでください。

- 本電話機が水にぬれた場合はそのまま放置せず、なるべく早く乾いたやわらかい布などでふき取ってください。
また、電池カバーがぬれた場合は、乾いたやわらかい布などでふき取ってから取り付けてください。ぬれたままの状態で使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本電話機がぬれているときや手がぬれている場合は、電池カバーの開閉をしないでください。
- ぬれたまま0℃以下になる場所に放置しないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所への移動は、本電話機が常温になってから行ってください。
- 充電台、電池パックは防水対応ではありません。水がかかるような場所や湿気の多い場所では使用しないでください。
- 本電話機を落としたり、強い衝撃が加わった場合は、防水性能を維持できない場合がありますので、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- ご使用状況にもよりますが、防水性能を維持するために、防水関連部品は、異常の有無にかかわらず1年を目安に交換することをお勧めいたします。交換は有償にて承ります。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

■ 本電話機を充電するときの注意事項について

充電台は防水対応ではありません。本電話機を充電するときには以下の点に注意してください。

- 本電話機がぬれているときは絶対に充電しないでください。
- 本電話機がぬれている場合は、乾いたやわらかい布などでふき取ってから充電してください。
- 充電台はぬれた手で触れないでください。

■ 電池カバーについての注意事項

電池カバーは、本電話機の防水性能を維持するための重要な部分となりますので、以下の点に注意してください。

- 電池カバーを取り付ける場合は、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。
- 電池カバーの浮きがないよう、本体と電池カバーの間にすき間がないことを確認してください。
- 電池カバー周辺（特にゴムパッキン）に細かいゴミ（微細な繊維、砂、毛髪など）が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーは、ねじるなどして変形させたり、穴を開けたりしないでください。
すきまができると電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーのすきまに物を差し込まないでください。電池カバーやゴムパッキンが損傷し、電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーのゴムパッキンを取り外したり、傷つけたりしないでください。電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーやゴムパッキンが変形したり損傷した場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

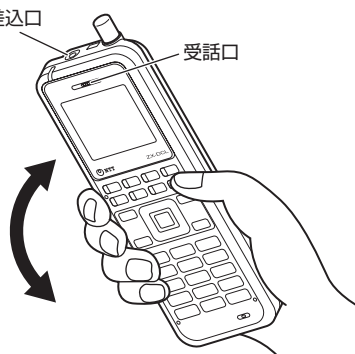
安全にお使いいただくために必ずお読みください

■ 水抜きについて

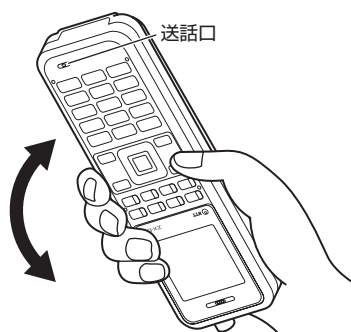
本電話機が水にぬれたときは、以下の手順で「イヤホンマイク差込口」「受話口」「送話口」「スピーカー口」の水抜きを行ってください。ぬれたまま使用すると通話不良の原因となったり、イヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。

- ① 電源を切る。
- ② 防塵キャップを外す。
- ③ 本電話機の表面の水分を乾いたやわらかい布などでふき取る。
- ④ 本電話機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る。

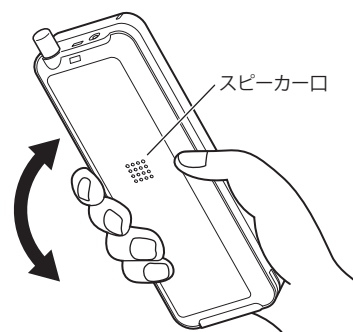
イヤホンマイク差込口



受話口

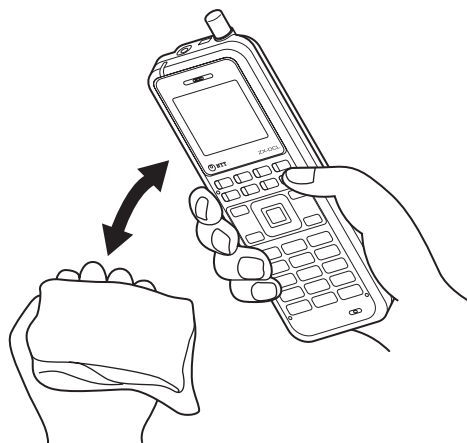


送話口



スピーカー口

- ⑤ 「イヤホンマイク差込口」「受話口」「送話口」「スピーカー口」やボタン周りの水分を乾いたやわらかい布などを軽く押し当ててふき取る。



- ⑥ 常温でしっかり乾燥させる。
 - ⑦ 防塵キャップを装着する。
- 「イヤホンマイク差込口」「受話口」「送話口」「スピーカー口」に綿棒などを押し込んだりしないでください。また、電話機の表面を布などでふく場合は、強く押し当てないでください。
 - 水分をふき取ったあとに電話機内部に水分が残っている場合は、使用中に水が染み出ることがありますのでご注意ください。
 - ハンドストラップ（別売）がぬれている場合は、ハンドストラップもしっかり乾燥させてください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書は、SmartNetcommunity αZXⅡ／αZX／αA1／αN1／αB1の各シリーズの内線電話機としてご利用になれるデジタルシステムコードレス電話機の機能を説明しています。各主装置の取扱説明書とあわせて参照してください。

なお、各主装置の取扱説明書を参照する際、各主装置の機能ボタンおよび設定ボタンなどを使う操作は、次のとおり読み替えてください。

標準電話機の操作	デジタルシステムコードレス電話機の操作 (左から順番に押してください)
設定ボタン	ボタン、 11
機能ボタン	ボタン、 ボタン
短縮ボタン	または ボタン、 WXYZ
ワンタッチダイヤル (1 ~ 6)	ボタン、 1 ~ MNO
再送ボタン	ボタン、 PQRS
クリアボタン	ボタン、 TUV
電話帳ボタン	ボタン、 電話帳
メニューボタン	ボタン、 メニュー
発信履歴ボタン	ボタン、 発信履歴
着信履歴ボタン	ボタン、 着信履歴

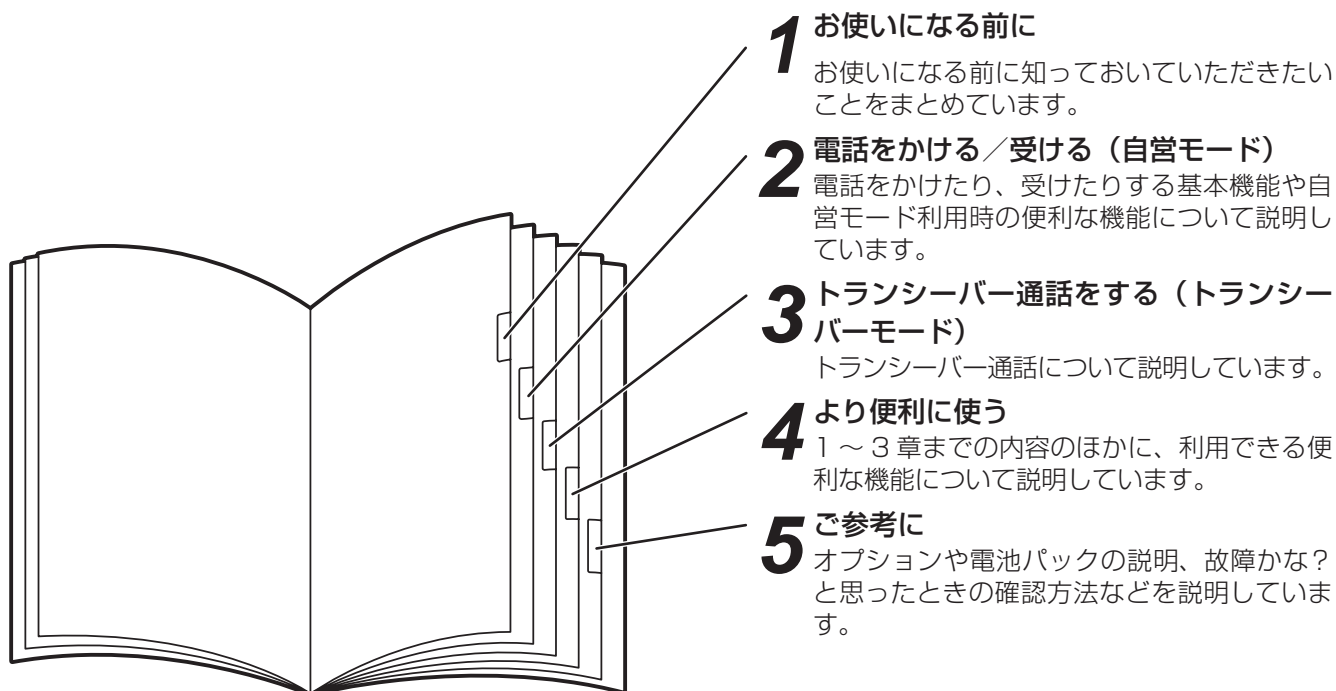
この取扱説明書では、αZXⅡ-Lに接続した場合の動作を記述しています。ご利用の主装置により異なるもの(デジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイ表示や主装置に依存するボタン操作など)については、主装置ごとに異なる動作をそれぞれ記述します。

<例>個別(自己専用)保留

標準電話機の操作	デジタルシステムコードレス電話機の操作
①機能ボタンを押す	①通話中に、 ボタンを2回連続で押す
②保留ボタンを押す →個別(自己専用)保留となる	② 保留 ボタンを押す →個別(自己専用)保留となる

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。
デジタルシステムコードレス電話機で、クイック通話を設定していないときの状態で説明しています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

2 電話をかける / 電話がかかってきたときは (外線着信)

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。また、主装置によっては、着信時に相手の電話番号が表示されます。

手に持ってお話する

着信音が鳴ったら...

1 (受話) ボタンを押して、相手の方とお話します。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えなくなります。
通話時間が表示されます。

2 お話が終わったら、(送話) ボタンを押す。

電話番号を確認してから受ける

着信音が鳴ったら...

1 電話番号を確認し、(受話) ボタンを押して、相手の方とお話します。
通話時間が表示されます。

2 お話が終わったら、(送話) ボタンを押す。

ワンポイント

- 着信音が鳴っているときに (送話) ボタンを押すと、その着信に関するのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。
- (受話) ボタン以外のボタンを押して電話に出るには (エニーキー応答) 「エニーキー応答」が設定されていて、かつ主装置の設定で着信自動応答が設定されていると、電話がかかってきたときにダイヤルボタンを押して電話に出ることができます。(※P115)
- 着信音の音量を変えるには (※P39)
- 相手の方の音が聞き取りにくいときは (受話音響) (※P65)
- 着信音を変えるには (※P100)
- 着信を振動で知らせるには (バイブレーション着信) (※P101)

お知らせ

- デジタルシステムコードレス電話機のモードが異なっていたり、電源を切っていると着信しません。
- デジタルシステムコードレス電話機では、ダイヤルイン着信などの外線ランプは、緑点滅します。(αB1 (主装置内着電話機) では、ダイヤルイン着信時は赤点滅となります)
- 主装置の設定によっては、(受話) ボタンを押すだけではかかってきた電話に出ることができません。点滅している外線ボタンを押すと、相手の方とお話できます。
- 相手の方の電話番号がデジタルシステムコードレス電話機の電話帳ダイヤルに登録されている場合、相手の方の名前も表示されます。

▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は (※P121)

モードのマーク

自営モードでのみ利用できる機能です。

トランシーバーモードでのみ利用できる機能です。

* モードのマークがないところは、すべてのモードで利用できます。

Q&A参照アイコン

第4章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。

お願いまたはお知らせ

〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

<例>

3 統合代理応答用の番号 (番号 マナー) を押す。

全グループの着信に応答することができます。



特番 (~用の番号)

各種機能を利用できるようにする番号です。特番は主装置の設定で変更することもできます。この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

<例> 統合代理応答用の番号 (番号 マナー)

お買い求め時の番号

主装置の設定で変更した場合の番号を記入してください。

目次

安全にお使いいただくために必ず

お読みください	2
この取扱説明書の見かた	15

1 お使いになる前に

特長	22
セットを確認してください	23
各部の名前	24
こんなときはご利用になれません	27
デジタルシステムコードレス電話機の 準備をします	28
電話機の現在の時刻を設定します	35
電話機の受話音量を調節します	36
お話し中にスピーカー受話に切り替えます	37
電話機のスピーカー音量を調節します	38
電話機の着信音量を調節します	39
電話機のメニュー機能进行操作します	40

2 電話をかける／受ける

自営モードとは	41
事業所（システム）を選択する	42
最適な接続装置を選択します	43
電話をかけるには（外線発信）	44
外線ボタンを押してかける	44
電話番号を確認してからかける （プリセットダイヤル）	45
電話がかかってきたときは（外線着信）	46
手に持ってお話しする	46
電話番号を確認してから受ける	46
相手の方に待っていただくには（保留）	48
他の電話機で取れるように保留する （共通保留）	48

他の電話機で取れないように保留する （個別保留）	49
同じパーク保留ボタンを設定した電話機で 取れるように保留する（パーク保留）	50
同じ相手にかかけ直すには（再ダイヤル）	51
ワンタッチダイヤルを登録するには	52
ワンタッチダイヤルを登録する	52
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには	54
ワンタッチダイヤルでかける 電話番号を確認してからかける （プリセットダイヤル）	54
メモリ番号で電話をかけるには	55
メモリ番号でかける メモリ番号の電話番号を確認してから 電話をかける（プリセットダイヤル）	55
電話を取りつぐには（保留転送）	56
内線でお話しするには（内線通話）	57
別の電話機で応対するには（代理応答）	58
プッシュホンサービスを利用するには （DP→PB切替）	59
空いている外線を選んで電話をかけるには （空き外線自動捕捉）	60
外線発信	60
自動発信可能な外線の中から選ぶ	60
索線ボタンを使って電話をかけるには	61
外線発信	61
外部スピーカーで音声ページングするには	62
サービス機能の登録状態を表示するには	63
話中着信音を設定するには	64
話中着信音を設定する	64
話中着信音を解除する	64

3 トランシーバー通話をする

トランシーバーモードの使いかた	65
トランシーバーモードの番号を 設定するには	66
トランシーバーモードで電話を かけるには	67
電話をかける	67
トランシーバーモードで電話を 受けるには	68
電話を受ける	68
トランシーバーグループを登録するには	69
トランシーバーグループ登録を行う	69
トランシーバーグループ登録を 解除するには	70
トランシーバーグループ登録を 解除する	70

4 より便利に使う

文字を入力するには	71
カタカナモード	71
英字モード	71
数字モード	72
電話帳ダイヤルに登録するには	73
電話帳ダイヤルでかけるには	75
50音順で検索してかける	75
読み仮名を検索してかける	76
電話帳グループの電話番号を 検索してかける	77
電話帳ダイヤルを修正するには	79
登録データを削除する	80
電話帳ダイヤルを削除するには	80
全登録データを消去する	81

電話帳グループの名前をつけるには	82
グループ名をつける	82
主装置電話帳を利用するには	83
主装置電話帳を読み出す	83
メモリ番号検索	83
発信履歴や着信履歴の電話番号を 登録するには	84
電話番号を組み合わせてかけるには	85
電話番号を組み合わせて発信する	85
追加ダイヤルを組み合わせて発信する	85
前に電話をかけた相手に再びかけるには (発信履歴)	86
かけた相手に再びかける	86
電話帳ダイヤルにネーム情報が 登録されているとき	86
発信履歴を削除するには	87
記録されたデータの削除	87
記録された全データの削除	87
主装置発信履歴を利用するには	88
発信履歴を読み出す	88
電話をかけてきた相手にこちらから かけるには(着信履歴)	89
かけてきた相手にこちらからかける	89
電話帳ダイヤルにネーム情報が 登録されているとき	89
着信履歴を削除するには	90
記録されたデータの削除	90
記録された全データの削除	90
主装置着信履歴を利用するには	91
着信履歴を読み出す	91
スイッチ付イヤホンマイクを使うには	92
電話をかける	92
電話を受ける	92

目次

イヤホンマイクスイッチにワンタッチ ダイヤルを登録するには	93	電話帳ダイヤルを開けないようにするには (電話帳ロック)	108
イヤホンマイクスイッチのワンタッチ ダイヤルに電話帳ダイヤルの電話番号を 登録するには	95	電話帳ロックを設定する	108
イヤホンマイクスイッチのワンタッチ ダイヤルに発信履歴や着信履歴の 電話番号を登録するには	96	電話帳ロックを解除する	108
イヤホンマイクスイッチのワンタッチ ダイヤルを修正するには	97	アラーム時刻を設定するには	109
イヤホンマイクスイッチのワンタッチ ダイヤルを削除するには	98	アラームを設定する	109
主装置メニューを利用するには	99	アラームを解除する	109
主装置メニュー操作	99	電池使用期間を確認するには	110
着信の種類ごとに音を変えるには	100	使用開始日を設定する	110
内線着信の着信音を変更する	100	電池使用期間を表示する	111
着信を振動で知らせるには (バイブレーション着信)	101	いろいろな機能を設定するには	112
バイブレーション着信を設定する	101	操作するときの音を消す (キータッチトーン)	112
バイブレーション着信を解除する	101	操作するときの音を出す (キータッチトーン)	112
マナーモードを設定するには	102	クイック通話を設定する	113
マナーモードの機能を設定する	102	クイック通話を解除する	113
マナーモードを設定する	103	クイック発信保護を設定する	114
マナーモードを解除する	103	クイック発信保護を解除する	114
誤操作を防止するには (キーロック)	104	ダイヤルを押すだけで着信に応答する (エニーキー応答)	115
キーロックを設定する	104	エニーキー応答を解除する	115
キーロックを解除する	104	サブアドレス通知を設定する	116
暗証番号を登録／変更するには	105	サブアドレス通知を解除する	116
暗証番号を新規に登録する	105	自営圏外通知を設定する	117
暗証番号を変更する	106	自営圏外通知を解除する	117
電話をかけられないようにするには (ダイヤルロック)	107	充電確認音を設定する	118
ダイヤルロックの設定	107	充電確認音を解除する	118
ダイヤルロックの解除	107	使用者名を登録する	119
		操作が分からないときは (ヘルプ表示)	120
		電話をかける／受ける	121
		Q&A	121

5 ご参考に

設定できる機能の一覧	122
電池パックの取り扱い	123
電池の残量がなくなったときは	125
オプション	126
市販品	126
オプションおよび市販品を ご利用になるには	126
デジタルシステムコードレス電話機と 他の内線標準電話機との違い (自営モードのとき)	127
通話できる範囲から外れたときは (圏外) 	128
こんな音がしたら	129
こんな表示がでたら	130
故障かな?と思ったら	131
停電になったとき	133
アルファベット	134
五十音	134
索引	134
仕様	138
保守サービスのご案内	139

特長

SmartNetcommunityシリーズの内線電話機としてご利用いただく（自営モード）以外にもトランシーバーとして活用可能



デジタルシステムコードレス接続装置からの電波の届く範囲（エリア）で内線電話機として使用できます。（●P41）



デジタルシステムコードレス接続装置などを介さずデジタルシステムコードレス電話機どうして直接トランシーバー通話ができます。（●P65）

ご利用になれるSmartNetcommunityのシリーズ

デジタルシステムコードレス電話機は、SmartNetcommunity αZXII / αZX / αA1 / αN1 / αB1の各シリーズでご利用になれます。
（令和6年10月現在）

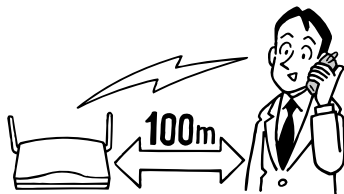
高音質、盗聴防止のデジタルコードレスホン

信号の送受信をデジタル信号で行っているため高音質です。また、盗聴の心配も少なくなります。
※第三者が特殊手段を講じた場合、盗聴されることがあります。



半径100m程度なら持ち運びが自由

デジタルシステムコードレス接続装置などから半径100m程度（見通し距離）まで、お話ししながら移動できます。



500件まで登録できる電話帳ダイヤル

コードレス電話機本体に最大500件まで名前と電話番号を登録でき、簡単な操作で電話をかけることができます。（●P73）

他の内線電話機と通話、転送可能（自営モード時）

自営モードのとき、他の内線電話機との間でお話ししたり（●P57）、外の相手の方のお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。（●P56）

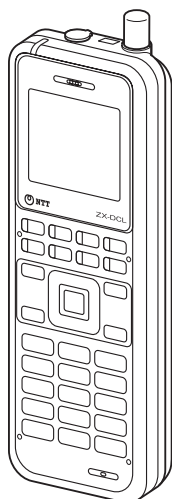


主装置電話帳を利用可能

コードレス電話機本体に記憶した電話帳以外にも主装置電話帳（共通電話帳、個別電話帳）を利用することができます。（●P83）
主装置電話帳利用については、主装置取扱説明書を参照してください。

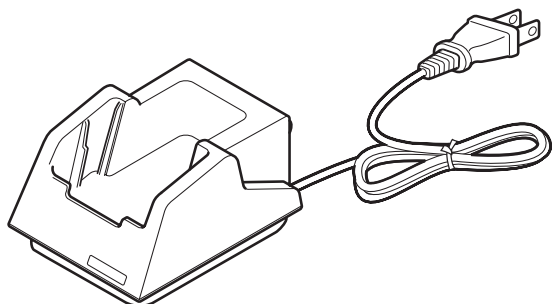
セットを確認してください

■本体

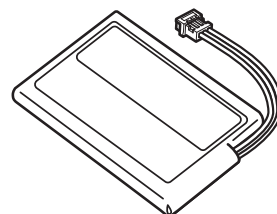


デジタルシステムコードレス電話機
(1台)

■付属品



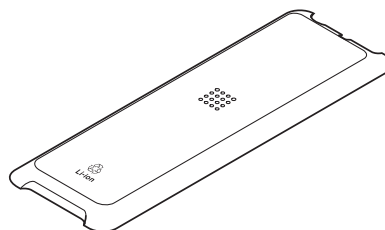
充電台 (1台)
(コード: 約1.5 m)



電池パック (1個)



壁掛け用木ネジ (2本)



電池カバー (1個)



防塵キャップ (1個)
(お買い求め時は本体イヤホン
マイク差込口に装着済)



取扱説明書 (1部)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

着信／充電ランプ

電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

外線ボタン

外線標準電話機と同様、システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

メニューボタン

メニューを選択するときなどに使います。メニュー操作時には決定ボタンと同じはたらきをします。

外線ボタン

外線でお話するときやいろいろな登録操作を行うときに使います。

クリアボタン

入力した電話番号や文字を訂正するときに使います。

通話／フックボタン

電話をかけるときや受けるときに使います。通話中は「フック」ボタンになります。

ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力するときに使います。

アンテナ

受話口

液晶ディスプレイ

ダイヤルモニターやいろいろな状態表示を行います。

F／カナ／英ボタン

他のボタンと組み合わせていろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使います。

上下左右（短縮ボタン／電話帳ボタン／着信履歴ボタン／発信履歴ボタン）／決定ボタン

電話帳や電話帳ダイヤルを使って電話をかけるときに使います。発信履歴の確認に使います。受話音量、着信音量およびスピーカー音量を切り替えるときにも使います。

保留ボタン

通話を保留するときに使います。

切／電源ボタン

電源を入／切するとき、通話を終わるときに使います。

送話口（マイク）

外部接続端子

保守用のため、通常はお使いにならないでください。


スピーカー口

着信音、警告（報）音などの音が鳴る部分です。

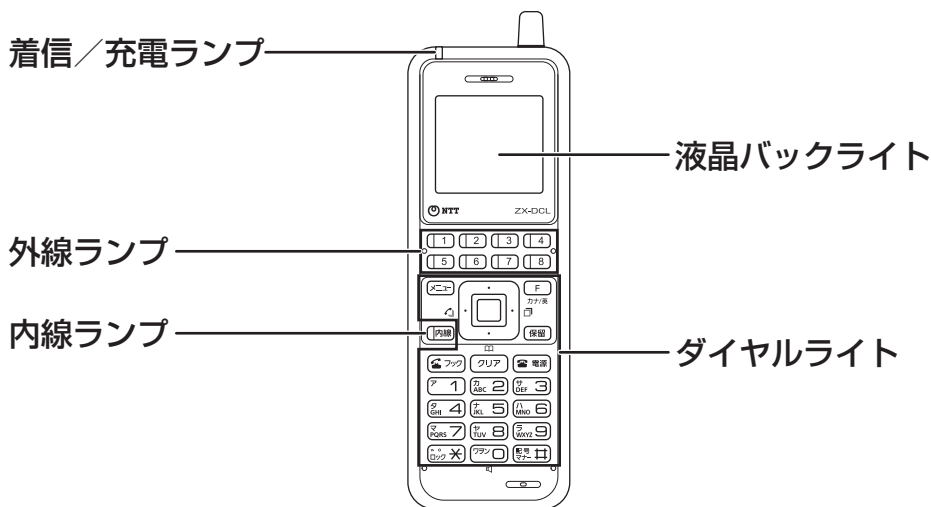
ハンドストラップ取付穴

イヤホンマイク差込口

市販のイヤホンマイクを差し込んで使用します。（●P126）お買い求め時は防塵キャップが装着されています。

※ ダイヤルボタン  の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



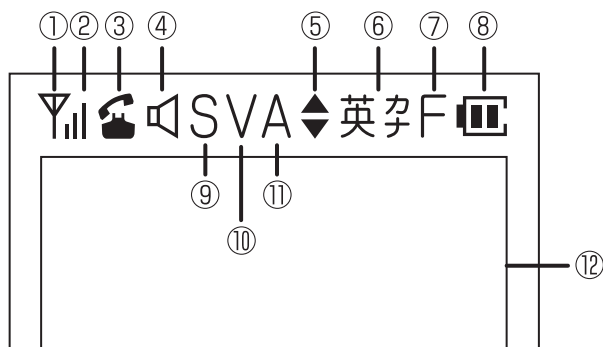
ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態	
外線ランプ	自営モード	2回消える (緑)	自分の電話機でお話し中のとき
		点灯 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
		点滅 (緑)	外線電話が転送されているとき
		点滅 (赤) ※	電話がかかってきたとき
		遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中のとき
		2回点灯 (緑)	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	自営モード	点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき
		2回消える (緑)	自分の電話機で内線通話をしているとき
		2回点灯 (緑)	自分の電話機で内線通話を保留中のとき
ダイヤルライト	点灯 (緑)	ダイヤルボタンなどの操作をしているとき	
液晶バックライト	点灯 (白)		
着信/充電ランプ	消灯	充電がほぼ完了したとき	
	点灯 (赤)	充電中のとき	
	遅い点滅 1秒 (赤)	電池の異常などで充電できないとき	
	遅い点滅 0.5秒 (赤)	温度の異常などで充電できないとき	
	点滅 (赤)	電話がかかってきたとき	

※ 保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります (αB1 (主装置内蔵電話機) では、ダイヤルイン着信時は赤色のままとなります)。

液晶バックライトかつダイヤルライトは、待ち受け状態でメニューボタン、**5**、**9**、決定ボタンの順に押し、点灯を設定/解除できます。

各部の名前

【液晶ディスプレイの見かた】



■こんなときに表示されます

①		接続装置と通信が可能なことを表します。
②		接続装置から受けている電波の強さを4段階で表します。 電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
③		点滅：接続装置と制御信号のやり取りをしています。 点灯：通話中であることを表します。
④		スピーカーがオンになっていることを表します。
⑤		上下ボタンで中の項目をスクロールすることができるとき点灯します。
⑥	英字	電話帳ダイヤル登録などの際に入力モードがカナ入力／英字入力になっていることを表します。
⑦	F	Fボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑧		電池残量の目安を3段階で表します。 電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑨	S	着信音を鳴らさない設定になっていることを表します。
⑩	V	着信を振動で知らせる設定になっていることを表します。
⑪	A	時計アラームが設定されていることを表します。
⑫表示部		入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。 次の表示で各種の状態をお知らせします。 ・「I」：着信できない。(☞P42) ・ マナー ：マナーモード。(☞P102) ・ 不在 ：未確認の着信履歴あり。(☞P89)

●液晶ディスプレイに実際に表示される文字と一部異なる部分があります。

●表示部は、接続装置の種類によっては、10桁、12桁または16桁分の表示のみとなります。

こんなときはご利用になれません

液晶ディスプレイの▽マークが消えているとき

サービスエリア以外の場所や、サービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

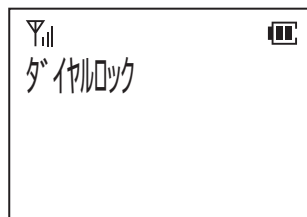


(対処方法)

▽マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

液晶ディスプレイに「ダイヤルロック」が表示されるとき

発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

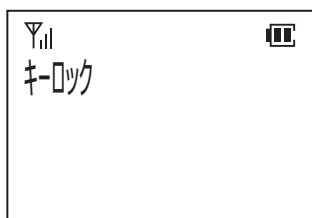


(対処方法)

ダイヤルロックを解除してください。
<ダイヤルロックの解除> (●P107)

液晶ディスプレイに「キーロック」が表示されるとき

誤操作を防止するキーロックが設定されています。

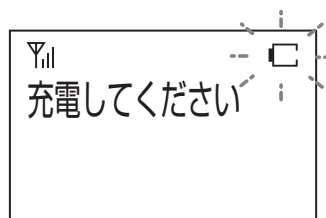


(対処方法)

キーロックを解除してください。
<キーロックを解除する> (●P104)

液晶ディスプレイの□マークが点滅しているとき

電池がなくなりかけています。このとき「ピ…ピ…ピ…」という電池残量警報音が鳴ります。

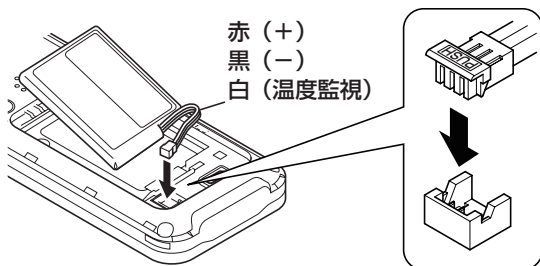


(対処方法)

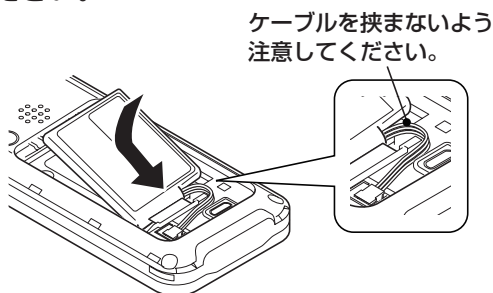
電話機を充電してください。
<デジタルシステムコードレス電話機を充電する> (●P29)

■ デジタルシステムコードレス電話機の準備をする

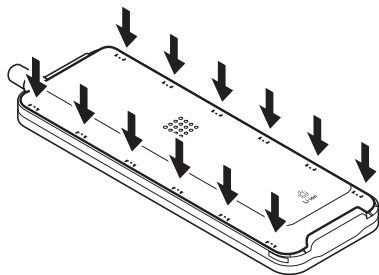
1 同梱の電池パックのコネクターを差し込む。



2 下部のクッションに押し当てながら、電池パックを電話機にセットする。バッテリーケーブルを溝に押し込んでください。



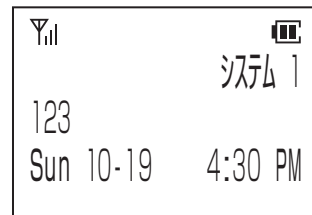
3 同梱の電池カバーを取り付ける。電池カバーを上下の向きに注意して本体と平行になるように合わせ、本体と電池カバーの間にすき間ができないように、「パチッ」という音がするまで矢印部を上から押さえます。(12カ所全て) バッテリーケーブルをケースに挟まないように取り付けてください。



4 電源ボタンを電源が入るまで押す。(5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)
 ・液晶ディスプレイに表示が出て「ピー」という音が鳴ります。



・待ち受け中の液晶ディスプレイ表示は、モードにより異なりますが、設定により変更できます。



STOP お願い

- 電池カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。
- 電池カバーの浮きがないよう、本体と電池カバーの間にすき間がないことを確認してください。
- 電池カバー周辺(特にゴムパッキン)に細かいゴミ(微細な繊維、砂、毛髪など)が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。

ワンポイント

● 電源を切るには電源ボタンを2秒以上押します。

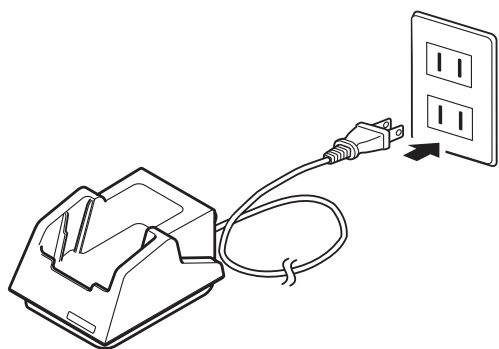
お知らせ |||

● 電池を取り付けるときは、電池パックのコネクターを本体のコネクターにあわせたあと、PUSHの場所を押して取り付けてください。ケーブルを持って強く差し込まないでください。

■ デジタルシステムコードレス電話機を充電する

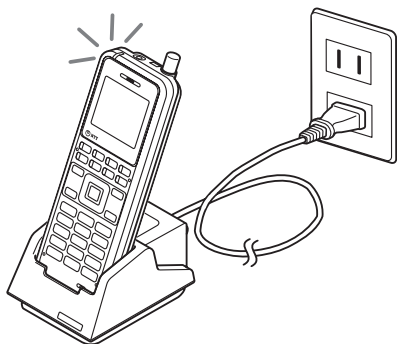
充電台は必ず同梱されている専用の充電台をお使いください。

- 1 電源プラグを電源コンセント (AC100 V) に差し込む。



- 2 電話機を充電台に置き、7.5時間以上充電する。

充電台に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。



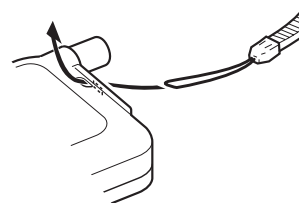
📶 お知らせ

- 電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると消灯します。
- 充電中は充電台や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電台から取りあげて電源を入れてください。
- 電話機の電源が入っているときは、充電完了まで7.5時間以上かかる場合があります。

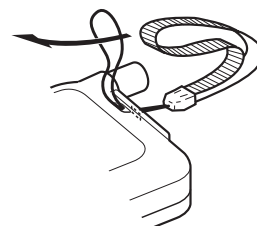
■ ハンドストラップ (別売) を取り付ける

携帯するとき、思わぬ落下を防ぐために手首に通してお使いいただくことをお勧めします。

- 1 ハンドストラップの細いひもの輪の部分、取り付け穴の上から通します。



- 2 出てきた細いひもの中に反対側のひもを通して引き絞ってください。

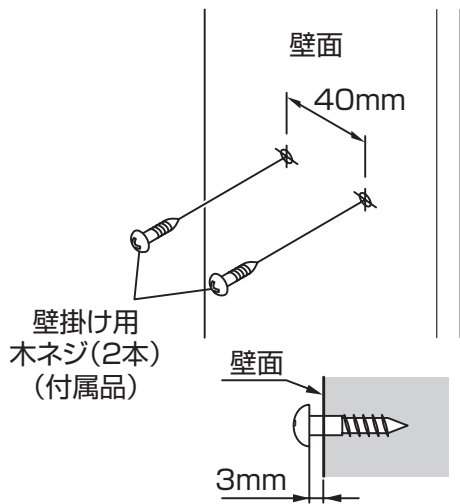


🛑 お願い

- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず7.5時間以上充電してください。
- 電話機および充電台がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の間で行ってください。5℃～35℃以外のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電台に正しく置き直してください。また、電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- 電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ、約5分ほどで充電ランプが点灯します。
- 電話機を充電台に置く際は、液晶ディスプレイを前向きにしてください。後ろ向きで置くと、ダイヤルボタンの誤動作が起こる場合があります。

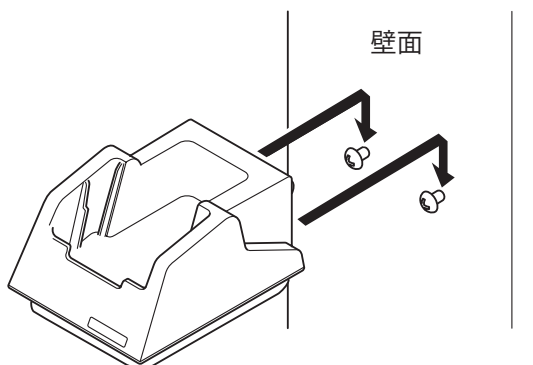
■ 充電台を壁に掛けて設置する

- 1 設置前に機器重量に十分耐えられるように、取り付け部分の強度を確保し、落下防止の対策を行ってください。
- 2 壁掛け用木ネジ2本（付属品）を40mmの間隔をあけて、壁掛け用木ネジの頭部が壁面より3mm浮くように取り付けてください。



※ 壁が中空壁（石膏ボード等）の場合は、必要に応じて市販のプラスチックアンカ等を使用してください。

- 3 充電台裏面の壁掛け用引っ掛け穴を壁に取り付けた木ネジにはめこみ、本体を下向きに引いて固定してください。



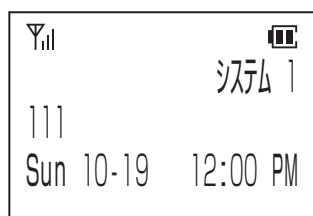
デジタルシステムコードレス電話機は、ご利用に合わせてモードを切り替えることができます。

■モードを設定する

自営モード

●自営で利用する場合

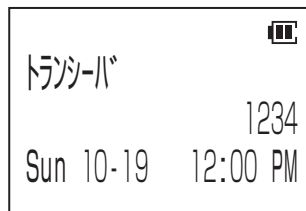
αZXⅡ / αZX / αA1 / αN1 / αB1の各シリーズの内線デジタルシステムコードレス電話機としてご使用になれます。デジタルシステムコードレス接続装置などに接続されている電話回線を通じて電話をかけたり、受けたりすることができます。



トランシーバーモード

●トランシーバー通話を利用する場合

トランシーバー通話は、同じ主装置に収容されているデジタルシステムコードレス電話機どうしでのみ、ご利用いただけます。デジタルシステムコードレス電話機を増設して、デジタルシステムコードレス接続装置などを介さず、デジタルシステムコードレス電話機どうしで直接お話しできます（通話料金はかかりません）。



ワンポイント

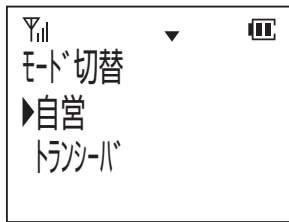
- 待ち受け中の液晶ディスプレイの表示について
 - ・自営モード時の上段
主装置の設定でシステム名称の変更ができます。
 - ・トランシーバーモード時の中段
「使用者名を登録する」(P119)で登録された名称が表示されます。

■モードを切り替える

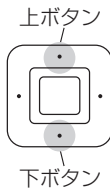
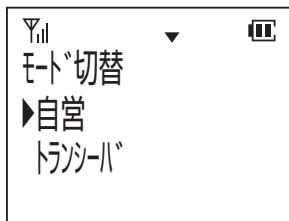
自営では内線電話機としてご利用になっていて、外出先でトランシーバーモードに変更するような場合、以下の手順でモードを変更します。

1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ア 1** **サ DEF 3**、**決定ボタン**の順に押す。

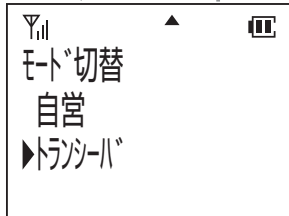
現在のモードが選択表示され、モードの切り替えが可能になります。



2 上下ボタンでご利用になるモードを選択する。

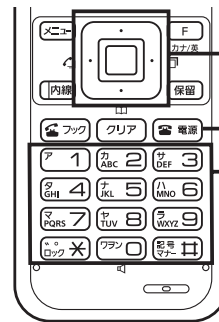
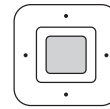


下ボタン ↓ ↑ 上ボタン



3 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。



上下左右ボタン
決定ボタン
切/電源ボタン
ダイヤルボタン



ワンポイント

●電源を入れながらモードを選択するには
電源を切った状態で以下の各ダイヤルボタンを押しながら、電源ボタンを電源が入るまで押します。

(5秒以上押ししても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)

自営モード **カ ABC 2**

トランシーバーモード **ヤ TUW 8**



お知らせ

●待ち受け状態とは、発信、着信、通話などの操作を行っていない状態のことです。

このとき液晶ディスプレイには、登録された文字や数字が表示されています。

●トランシーバーモードをご利用いただくためには、トランシーバーモードの番号を設定してください。(P66)

●動作モードの設定は、電源を切っても保持されます。

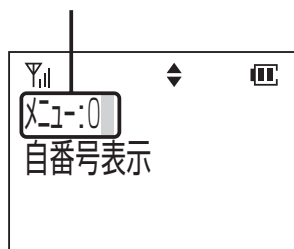
お客様の電話機に登録された自番号を表示します。

自番号には、自営モード時に使用する内線番号とトランシーバーモード時に使用するトランシーバー番号の2つがあります。

電話番号を確認する

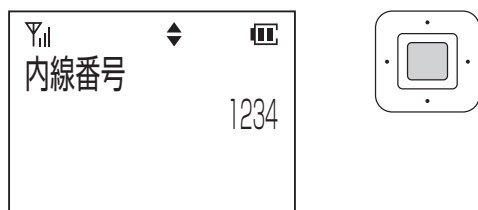
1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ワラン** の順に押す。

メニューボタン+メニュー番号で、メニュー番号に対応したメニューが表示されます。



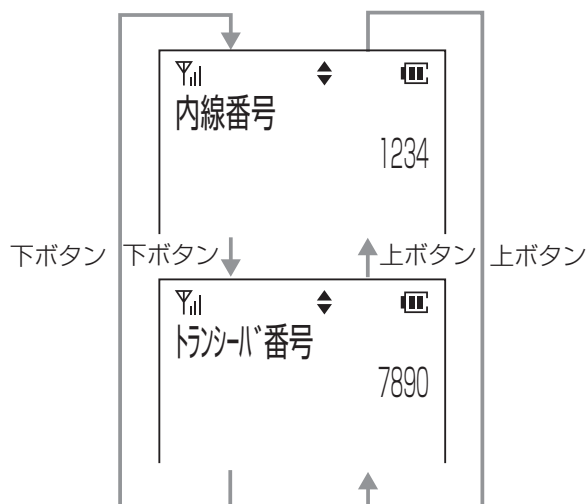
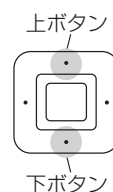
2 決定ボタンを押す。

液晶ディスプレイに、そのときの動作モードにおける電話番号が表示されます。



3 上下ボタンで次のモードの自番号を表示する。

電源 ボタンを押すと、自番号の表示を終了して待ち受け状態に戻ります。または30秒経過すると、待ち受け状態に戻ります。



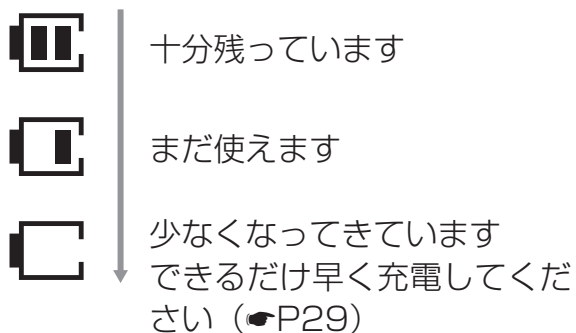
お知らせ

- メニューボタンを押してからメニュー番号を入力すると、液晶ディスプレイにはメニュー番号に対応したメニューが表示されます。(P122)
- 登録されていないモードの自番号は表示されません。
- トランシーバー番号を設定していない場合は、トランシーバー番号は表示されません。

■ 電池残量を確認する

電池残量は、液晶ディスプレイに表示されます。電池残量をご利用いただける目安の表示です。

電池残量



電池パックを交換したときは、必ず7.5時間以上充電してください。(●P123)

(電池の使用可能時間の目安)

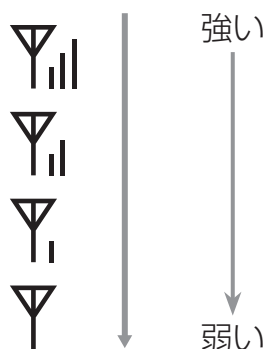
条件		使用可能時間
自営モード	連続待受	約320時間
	連続通話	約8時間
トランシーバーモード	連続待受	約100時間
	連続通話	約8時間

- 連続通話時間は、新品電池を常温で使用したときの算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待受時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波が弱いところでは異なります。
- 実際にご利用になれる時間は、充電のしかた、使用環境等によって表中の数値と異なります。
- 自営モードでは、外線ランプが消えている場合の時間です。外線ランプが表示されていると電池の消耗が多くなり、表中の数値とは異なります。
数値は外線ランプの使用状態により変わります。

■ 電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、液晶ディスプレイに が表示されます。また4段階で電波の強さを表示します。

電波の強さ



- 電波の届かない場所（圏外）では、お話しすることはできません。(●P128)
- 圏外では は表示されません。

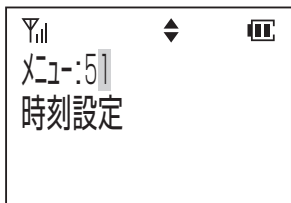
お知らせ

- トランシーバーモードで待ち受け中のときは、 が表示されません。
- 自営モードでお使いのときは、デジタルシステムコードレス接続装置から100 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合がありますので、あらかじめ内線通話によりお話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 電波の強い場所でも接続装置などに登録動作を行っているときは、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。

電話機の現在の時刻を設定します

電話機に内蔵された時計の日付と時刻を設定します。
(時刻を設定しないとアラーム機能などが正しく動作しません)

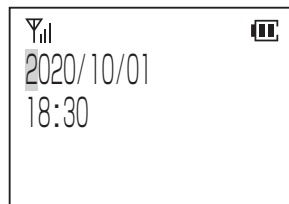
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **ア** **1** の順に押す。
「時刻設定」が表示されます。



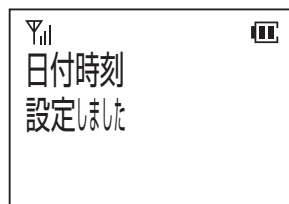
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 現在の時刻を入力する。
年→月→日→時刻の順に入力します。
左右ボタンでカーソルの移動ができます。
時刻は24時間制です。



- 4** 決定ボタンを押す。
設定が正常に終了すると「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



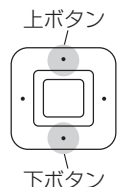
お知らせ

- 電池が消耗した場合や電池交換時に時刻は初期状態に戻ります。その場合は再度設定してください。
- 時計の精度は1か月に±60 秒程度の誤差があります (常温 (25℃) の場合)。

電話機の受話音量を調節します

通話中に受話音量を5段階に調節できます。

- 1 通話中に上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押す。





- 2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に受話音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



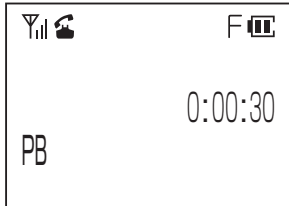
ワンポイント

- 設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- 設定した受話音量は、電源を切っても保持されます。
- 待ち受け状態でメニューボタン、 、決定ボタンの順に押しても、受話音量を調節することができます。

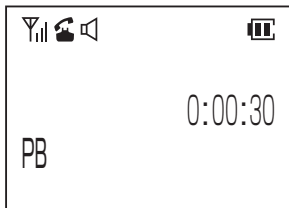
通話中にスピーカー受話に切り替えることができます。

■スピーカー受話に切り替える

1 通話中に **F** ボタンを押す。

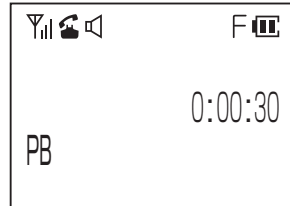


2 **フワン** ボタンを押す。
スピーカーから相手の方の声が聞こえます。
「スピーカー」ピクトが点灯します。

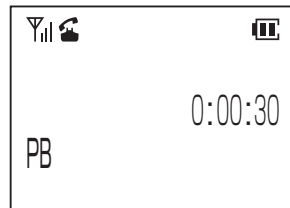


■通常の受話に切り替える

1 通話中に **F** ボタンを押す。



2 **フワン** ボタンを押す。
通常の通話に切り替わります。
「スピーカー」ピクトが消灯します。



ワンポイント

- 手順1～2を行うたびに、スピーカー受話と、通常の通話が交互に切り替わります。
- 待ち受け中に **F** ボタン、**フワン** ボタンを押すとスピーカー受話による発信ができます。

お知らせ

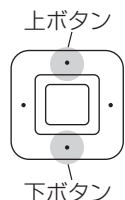
- スピーカー受話中、こちらの声は相手の方には聞こえません。
- スピーカー受話中、**電源** ボタンを押すと通話は切れます。
- 充電台に置いたままでもスピーカー受話できます。このとき、充電台から取りあげるとスピーカー受話は解除され通常の通話となります。

クイック通話が設定されているときは **クイック設定** (P121)

電話機のスピーカー音量を調節します

通話中にスピーカー音量を5段階に調節できます。

- 1 通話中（スピーカー使用中）に上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押す。



- 2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番にスピーカー音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



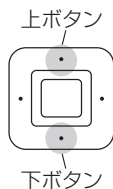
ワンポイント

- 設定したスピーカー音量は、通話を終了しても保持されます。
- 設定したスピーカー音量は、電源を切っても保持されます。
- 待ち受け状態でメニューボタン、**サ** DEF **3** **ヤ** TUV **8**、決定ボタンの順に押しても、スピーカー音量を調節することができます。

電話機の着信音量を調節します

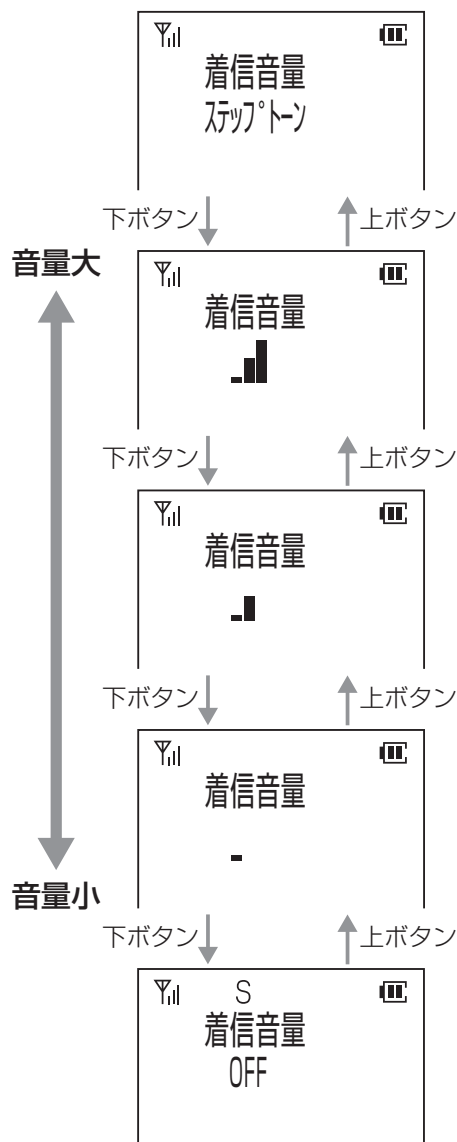
電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。

- 1 待ち受け状態または着信中に、上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押す。



- 2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に着信音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



ワンポイント

- ステップトーンとは
着信音量をステップトーンに設定すると、着信音が「小」→「中」→「大」と1段階ずつ大きくなります。
- 着信音量の設定は、通話を終了しても保持されます。
- 着信音量の設定は、電源を切っても保持されます。
- 待ち受け状態でメニューボタン、サ_{DEF} **3** ハ_{MNO} **6**、決定ボタンの順に押ししても、着信音量を調節することができます。



お知らせ

- 着信音が鳴らないように設定されているときは「S」ピクトが点灯します。
- バイブレーション着信が設定されているとき、ステップトーンは「バイブレーション」→「小」→「中」→「大」となります。
- マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。

<マナーモードの機能を設定する> (P102)

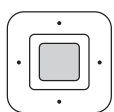
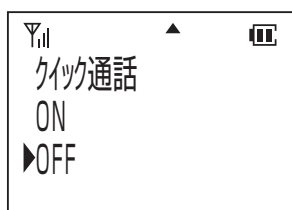
電話機のメニュー機能を実行します

各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

■メニュー番号で選ぶには

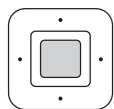
＜例＞メニュー番号52（クイック通話）の場合

- 1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **カ** **2**、決定ボタンの順に押す。「クイック通話」の設定画面が表示されます。



- 2 設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



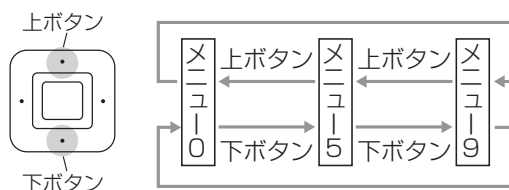
📢 お知らせ

- 決定ボタンの代わりに**クリア**ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
- メニューの表示内容一覧は「設定できる機能の一覧」をご覧ください。(P122)
- 電源**ボタンを押すとメニュー機能の操作を中止することができます。
- クイック通話は、待ち受け中に充電台から取り上げるだけで発信したり、電話がかかってきたときに充電台から取り上げるだけで電話に出ることができます。また、お話し中に充電台に戻すだけで通話を切ることができます。

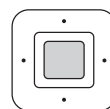
■メニューを検索して選ぶには

＜例＞メニュー番号52（クイック通話）の場合

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
- 2 上下ボタンで「メニュー 5」を選択する。メニューがスクロール表示されます。

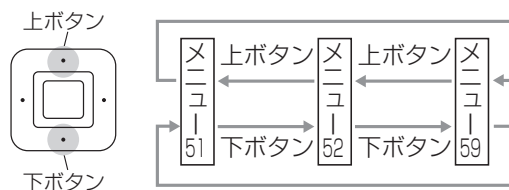


- 3 決定ボタンを押す。



- 4 上下ボタンで「メニュー 52」を選択する。

メニューがスクロール表示されます。

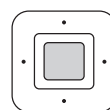


- 5 決定ボタンを押す。クイック通話の設定画面が表示されます。



- 6 設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。





デジタルシステムコードレス電話機は、主装置に接続されたデジタルシステムコードレス接続装置を利用して、外線ボタン付きの内線電話機としてご利用になれます。

使える事業所（システム）の数

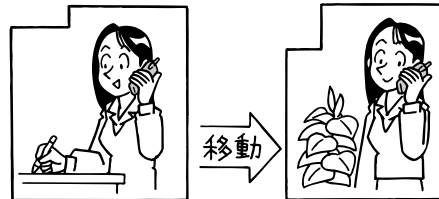
デジタルシステムコードレス電話機は、最大9か所の事業所（システム）に登録することができます。



事業所（システム）の選択

事業所（システム）を移動したときは自動的に設定が切り替わります。

2か所以上の事業所のサービスエリアが重なっているときは、P42の手順で事業所を選択します。



1 お使いになる前に

2 電話をかける／
受ける

自営モードとは
電話機のメニュー機能
を操作します



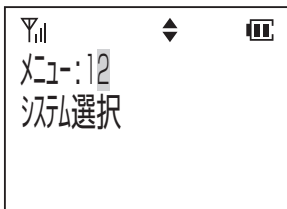
ワンポイント

- **通話できる範囲から外れたときは**
「自営圏外通知」を設定すると、範囲外となったときには、「ピー…ピー…ピー」という音でお知らせします。(P117)
- **外線ボタンについて**
8個の外線ボタンを主装置の設定により、フレキシブルにご利用になれます。
また、外線の使用状況を赤または緑のランプでお知らせします。
- **液晶ディスプレイ表示**
主装置のサービス機能をご利用になる場合は、それぞれのサービス機能の状態が表示されます。
- **着信音の識別**
内線からの着信や、外からの着信を音で識別することができます。

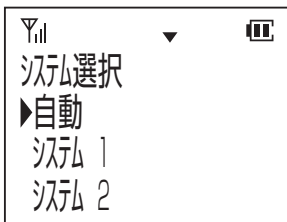


事業所（システム）を選択する

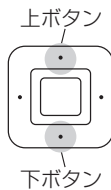
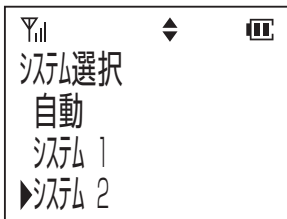
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ア 1** **カ ABC 2** の順に押す。
「システム選択」が表示されます。



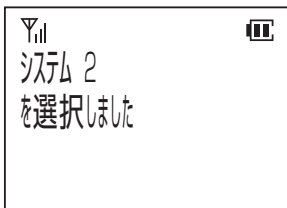
- 2** 決定ボタンを押す。
現在選択しているシステムの名称が表示されます。



- 3** 上下ボタンで登録されているシステム
を選択する。

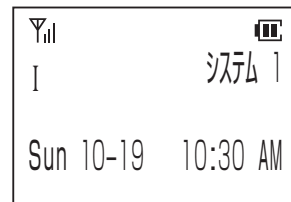


- 4** 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- 「I」が表示されているときはデジタルシステムコードレス接続装置がビジー等の理由で、着信ランプ表示や液晶ディスプレイの表示ができないことを示しています。
ただし、発信は通常のとおり利用できます。



最適な接続装置を選択します

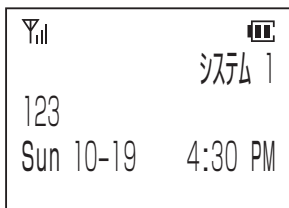


デジタルシステムコードレス電話機は、自動的に接続装置を選択して使用できますが、待ち受け状態で移動したとき、必ずしも最も距離の近い接続装置を選択しているとは限りません。このようなときは、以下の操作で最適な接続装置を選択し、接続し直すことができます。

<例> すぐ近くに接続装置があるにもかかわらず「電波レベル」が低い場合。

1 待ち受け状態で、**F** ボタンを1秒以上押す。

「アンテナ」が点滅して「電波レベル」が上がります。



最適な接続装置の選択が完了します。

お知らせ

- 上記手順を行っても、最寄りの接続装置がふさがっている場合や、電波の状態などで、接続が失敗することもあります。



外線ボタンを押してかける方法のほかに、押した電話番号を確認してからかける方法（プリセットダイヤル）があります。

外線ボタンを押してかける

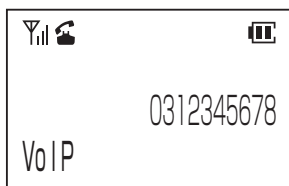
1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



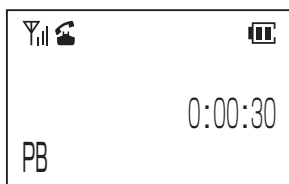
2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しする。


通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、電源ボタンを押す。



ワンポイント

- 主装置で「発信自動捕捉」を設定しているときは
 ボタンを押すだけで、外線の発信ができます。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（●P36）



お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話し中です。外線ボタンを押しても電話をかけることはできません。



- ▶ クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（●P121）
- ▶ 主装置で「プリセクションサービス」のご利用の設定をされているときは（●P121）
- ▶ PBXなどに接続しているときは（●P121）

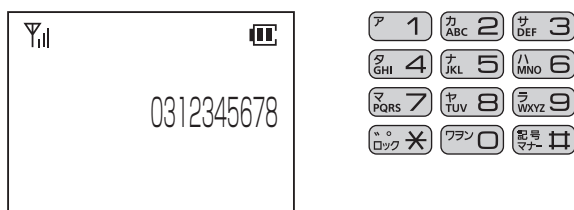


- ▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は（●P121）

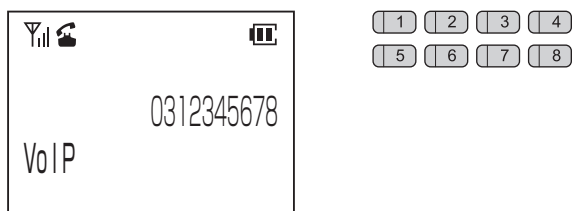
電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)

外線ランプや内線ランプが消えていることを確認します。

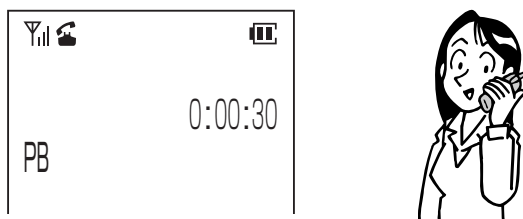
- 1** 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



- 2** 外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 3** 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。



- 4** お話しが終わったら、電源ボタンを押す。

2 電話をかける 受ける

電話をかけるには



ワンポイント

- プリセットダイヤルの場合、電話番号を間違えたときは電話番号を表示しているときに「クリア」ボタンを押すと1桁削除されます。電話番号を全部消したいときは「電源」ボタンを押してください。

- 続けて電話をかけるときは次のどちらかの方法で、通話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。

- ・「フック」ボタンを押す
- ・「F」ボタン、「F」ボタン、「フック」ボタンの順に押す

どちらの方法を使うかは主装置の設定で選択します。αZXⅡ-L、αZX-L、αA1、αN1-Lの場合はアナログ外線でご利用できます。

お知らせ

- プリセットダイヤルは、32桁までダイヤルできます。
- 「フック」ボタン以外を利用した発信の際には、29桁までしかダイヤルできません。
- ダイヤル操作を途中でやめると、約6秒で液晶ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。



- ▶ クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（☞P121）
- ▶ 主装置で「プリセレクトサービス」のご利用の設定をされているときは（☞P121）
- ▶ PBXなどに接続しているときは（☞P121）



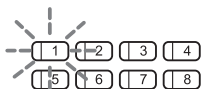
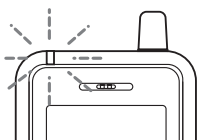
- ▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☞P121）



外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。また、主装置によっては、着信時に相手の方の電話番号が表示されます。

手に持ってお話する

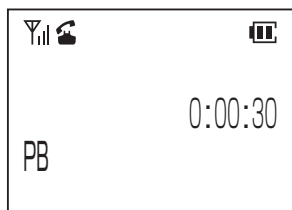
着信音が鳴ったら…



1 フック ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

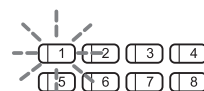
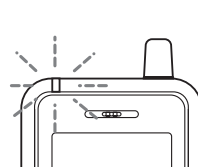
通話時間が表示されます。



2 お話が終わったら、 電源 ボタンを押す。

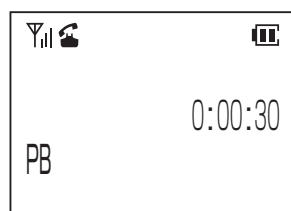
電話番号を確認してから受ける

着信音が鳴ったら…



1 電話番号を確認し、 フック ボタンを押して、相手の方とお話する。

通話時間が表示されます。



2 お話が終わったら、 電源 ボタンを押す。



ワンポイント

- 着信音が鳴っているときに 電源 ボタンを押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。
- フック ボタン以外のボタンを押して電話に出るには (エニーキー応答)
「エニーキー応答」が設定されていて、かつ主装置の設定で着信自動応答が設定されていると、電話がかかってきたときにダイヤルボタンを押して電話に出ることができます。(●P115)
- 着信音の音量を変えるには (●P39)
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは (受話音量) (●P36)
- 着信音を変えるには (●P100)
- 着信を振動で知らせるには (バイブレーション着信) (●P101)



お知らせ

- デジタルシステムコードレス電話機のモードが異なっていたり、電源を切っていると着信しません。
- ダイヤルイン着信などの外線ランプは、緑点滅します。
(αB1 (主装置内蔵電話機) では、ダイヤルイン着信時は赤点滅となります)
- 主装置の設定によっては、 フック ボタンを押すだけではかかってきた電話に出ることができません。点滅している回線ボタンを押すと、相手の方とお話できます。
- 相手の方の電話番号がデジタルシステムコードレス電話機の電話帳ダイヤルに登録されている場合、相手の方の名前も表示されます。



▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は (●P121)

 **お知らせ** ||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

- α B1（主装置内蔵電話機）では、電話帳またはワンタッチダイヤルに登録された名称データに、全角文字と半角文字を混在して登録されていると、本デジタルシステムコードレス電話機での名称表示が正しく表示されません。 α B1（主装置内蔵電話機）では、全角文字と半角文字を混在させずに登録してください。



お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。相手の方へは保留メロディが流れます。

保留には、以下の3通りがあります。

- 共通保留 保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。
- 個別保留 保留にしたあと、他の内線電話機では電話に出られません。
- パーク保留 同じパーク保留ボタンを設定した内線電話機で電話に出ることができます。

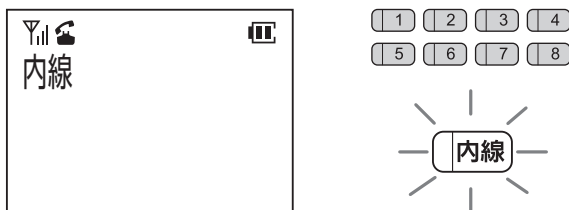
他の電話機で取れるように 保留する (共通保留)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



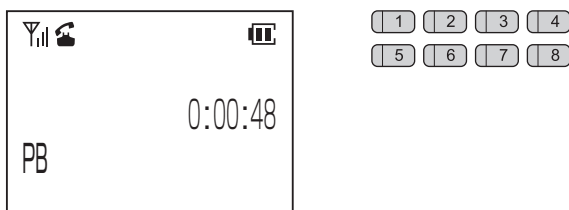
1 保留 ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 お話しに戻るときは、保留にしている 外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。



3 相手の方とお話する。



ワンポイント

- 他の電話機で保留を解除するには (口頭転送)
保留にしている外線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。
- 内線通話を保留するには
①内線通話中に **保留** ボタンを押す
②お話しに戻るときは、 **外線** ボタンを押す

お知らせ

- 索線ボタンに登録されている外線を保留にしたときは、個別保留となります (αB1 (主装置内蔵電話機) では、索線ボタンは設定できません)。
- 主装置の設定により、長時間保留のままにすると保留警報音が鳴ります (長時間保留警報)。

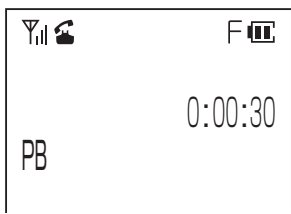
他の電話機で取れないように保留する (個別保留)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

お待ちください。



1 F ボタンを押す。

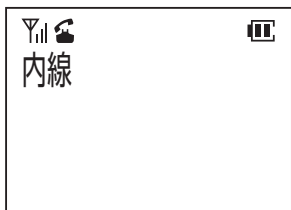


2 F ボタンを押す。



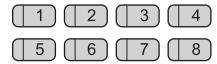
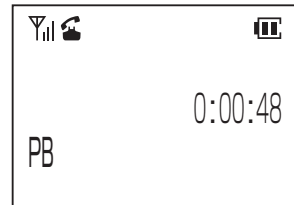
3 保留 ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



4 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。



2 電話をかける
受ける

相手の方に待っていただくには



ワンポイント

●内線通話を保留するには

- ①内線通話中に「保留」ボタンを押す
- ②お話しに戻るときは、「内線」ボタンを押す



お知らせ

- 「個別保留」の手順1では、「F」ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると「F」ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。
- αB1（主装置内蔵電話機）では、個別保留はご利用できません。共通保留のみご利用できます。



同じパーク保留ボタンを設定した電話機 で取れるように保留する (パーク保留)

お話し中に、主装置で設定を行った「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留グループ内の電話機であれば、保留中の内線／外線に応答することができます。

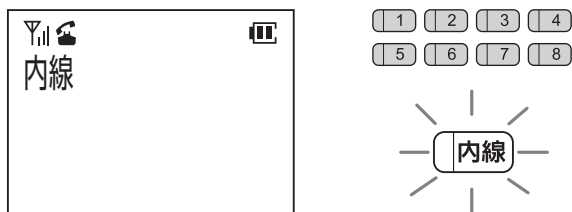
<例>外の相手の方とお話し中のとき

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



1 パーク保留ボタンを押す。

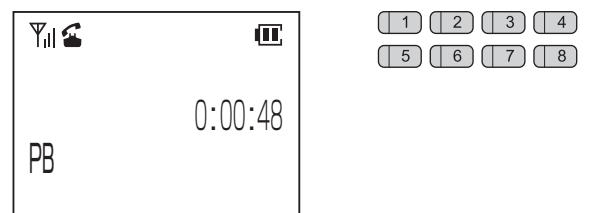
相手の方には保留メロディが流れます。パーク保留ランプが周期的に2回点灯します。外線ランプが点灯します。内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 お話しに戻るときは、パーク保留ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

- 他の電話機で保留を解除するには
保留にしているパーク保留ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。



お知らせ

- パーク保留ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定できます (αB1 (主装置内蔵電話機) では、パーク保留ボタンは設定できません)。



最後にかけた相手の方に、簡単にかけ直すことができます（再ダイヤル）。
相手の方がお話し中などでかけ直すときに便利です。

1 外線ボタンを押す。

「ツーン」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

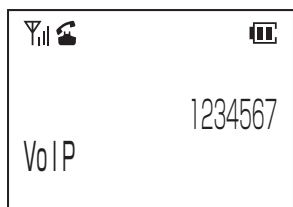


2 F ボタンを押す。



3 発信履歴ボタンを押す。

最後にかけた電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。



発信履歴ボタン
(αB1ではPQRSボタンを押します)

4 相手の方が出たら、お話しする。 通話時間が表示されます。



ワンポイント

●PBXに接続しているときは

発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

●電話番号を確認してから再ダイヤルするには（プリセットダイヤル）

- ① 待ち受け状態で、F ボタンを押す
- ② 発信履歴ボタンを押す
- ③ 上下ボタンでかけたい相手の方を選択して、外線ボタンを押す

●さらに前にかけた相手の方にかけるには（スタッキングダイヤル）（αB1のみ）

- ① 待ち受け状態で、F ボタンを押す
- ② PQRS を押す
- ③ F ボタン、PQRS を繰り返して、かけたい相手の方の電話番号が表示されたら、外線ボタンを押す

●デジタルシステムコードレス電話機でダイヤルを記憶して電話をかけるには（P86）

デジタルシステムコードレス電話機が独自にダイヤルを記憶することもできます。

- ① 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す
- ② 上下ボタンでかけたい相手の方の電話番号を表示させ、外線ボタンを押す



お知らせ

- F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると F ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。

- 記憶されるダイヤルの数は、接続されている主装置により異なります。接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。

- 接続されている主装置が αZXII-S / M / Home、αZX-S / M / Home / LIGHT-S / LIGHT-M、αN1-S / M、αB1の場合は、内線への再ダイヤルはご利用できません。

- αB1（主装置内蔵電話機）では、内線および外線への再ダイヤルはご利用できません。



▶主装置で「プリセクションサービス」のご利用の設定をされているときは（P121）



よくかける相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルを登録する

■ αZXII-L、αZX-L、αA1、αN1-Lの場合

- 1** ボタンを押す。
「ツーツ〜…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2** **F** ボタンを押す。



(「F」が表示されていることを確認してください)

- 3** ボタンを押す。



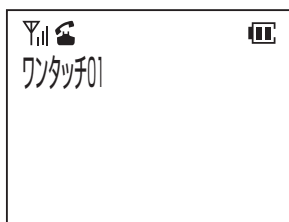
(αA1では「設定」が表示されます)

- 4** **F** ボタンを押す。



(「F」が表示されていることを確認してください)

- 5** ワンタッチダイヤルの番号 **ア 1** ~ **ハ MNO 6** を押す。



(αA1では「登録するボタン?」「ワンタッチ押下で決定」が表示されます)

- 6** 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



- 7** **F** ボタンを押す。



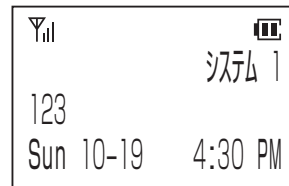
(「F」が表示されていることを確認してください)

- 8** 手順5で押したワンタッチダイヤルの番号 (**ア 1** ~ **ハ MNO 6**) を押す。



(αA1では「ワンタッチダイヤル登録」「ワンタッチを押下してください」が表示されます)

- 9** ボタンを押す。



ワンポイント

- 登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。
- イヤホンマイクスイッチにワンタッチダイヤルを登録するには(☛P93)

お知らせ

- F** ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると**F** ボタンの効果がキャンセルされます(「F」ピクトの表示が消えます)。
- ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

■ αZXII-S、αZX-S、αZX LIGHT-S、αN1-S、αZXII-M、αZX-M、αZX LIGHT-M、αN1-M、αZXII-Home、αZX-Home、αB1の場合

1 ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 **F** ボタンを押す。



(「F」が表示されていることを確認してください)

3 を押す。



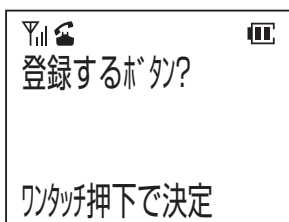
(αB1では「設定」の表示はありません)

4 **F** ボタンを押す。



(「F」が表示されていることを確認してください)

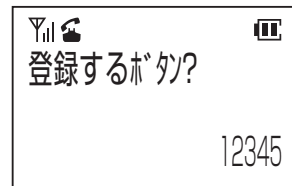
5 ワンタッチダイヤルの番号 **ア 1** ~ **ハ MNO 6** を押す。



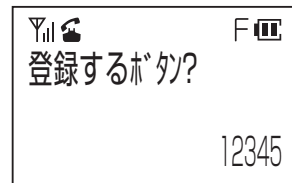
(αB1では「ワンタッチ押下で決定」の表示はありません)

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

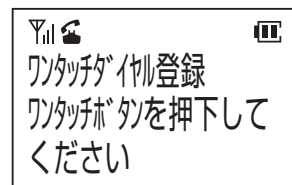


7 **F** ボタンを押す。



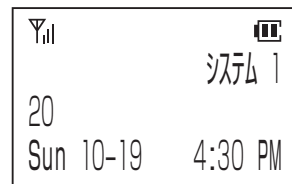
(「F」が表示されていることを確認してください)

8 手順5で押したワンタッチダイヤルの番号 (**ア 1** ~ **ハ MNO 6**) を押す。



(αB1では「ワンタッチボタンを押下してください」の表示はありません)

9 ボタンを押す。



(αB1では「内線番号」と「内線名称」が表示されます)

ワンポイント

- 登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。
- αB1 (主装置内蔵電話機) では、ワンタッチダイヤル (**F** + **ア 1** ~ **ハ MNO 6**) の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。
- イヤホンマイクスイッチにワンタッチダイヤルを登録するには(☛P93)

お知らせ |||

- F** ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると無効となり「F」ピクトの表示が消えます。
- ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

2 電話をかける
受ける

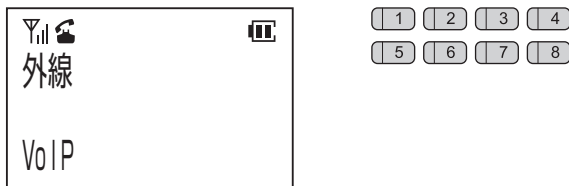
ワンタッチダイヤルを登録するには



ワンタッチダイヤルでかける

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

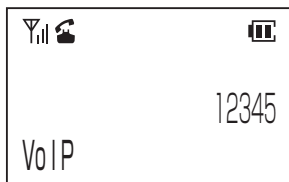


2 F ボタンを押す。



3 ワンタッチダイヤルの番号(ア 1)～(ハ MNO 6)を押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。



4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

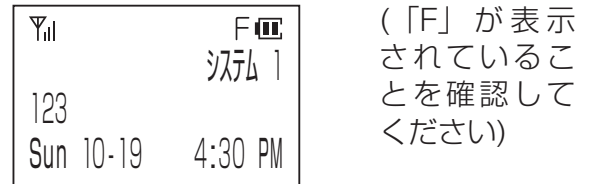


ワンポイント

- αB1 (主装置内蔵電話機) では、ワンタッチダイヤル (F + (ア 1)～(ハ MNO 6)) の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。

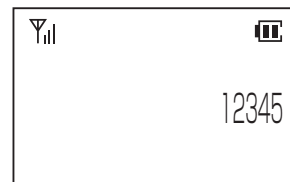
電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)

1 待ち受け状態で、F ボタンを押す。

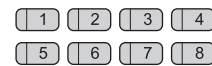


2 ワンタッチダイヤルの番号(ア 1)～(ハ MNO 6)を押す。

登録されている電話番号が表示されます。



3 外線ボタンを押す。



4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



お知らせ

- F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると F ボタンの効果がキャンセルされます (「F」ピクトの表示が消えます)。



- ▶ 主装置で「プリセクションサービス」のご利用の設定をされているときは (P121)

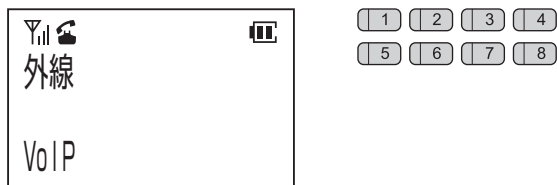


主装置電話帳を利用して、デジタルシステムコードレス電話機から電話をかけることができます。

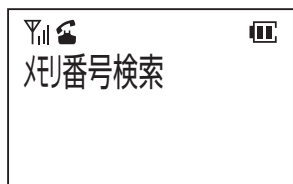
メモリ番号でかける

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



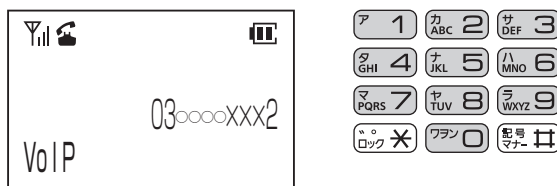
2 短縮ボタンを押す。



(αB1シリーズでは **F** + **ラ WXYZ 9**、αB1 (主装置内蔵電話機) のみ短縮ボタンも可能)

3 メモリ番号を押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

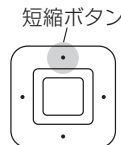
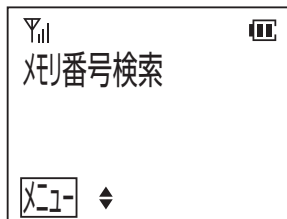


4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

メモリ番号の電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)

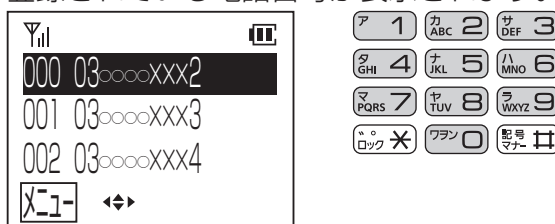
1 待ち受け状態で、短縮ボタンを押す。



(αB1シリーズでは **F** + **ラ WXYZ 9**、αB1 (主装置内蔵電話機) のみ短縮ボタンも可能)

2 メモリ番号を押す。

登録されている電話番号が表示されます。



3 外線ボタンを押す。



お知らせ

- **F** ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると **F** ボタンの効果がキャンセルされます (**F** ピクトの表示が消えます)。
- 接続されている主装置の種類や設定により、ご利用になれるメモリ番号が異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- αZXⅡ / αZX / αA1 / αN1 / αB1 の各シリーズでは、上下ボタンでメモリ番号を選択 (スクロール) できます。αB1 では、短縮ボタンでのメモリ番号検索操作はできません。



▶ 主装置で「プリセクションサービス」のご利用の設定をされているときは (P121)



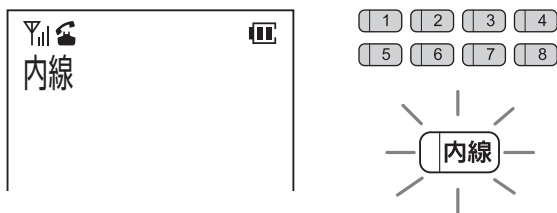
外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

呼び出す方

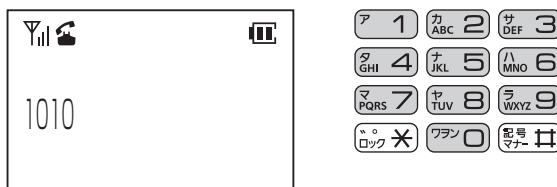
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝ええます。



- 1 保留 ボタンを押す。**
相手の方には保留メロディが流れます。外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。**
呼出音が聞こえます。

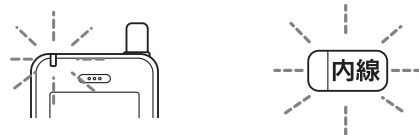


- 3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、**F** ボタン、**番号 11** の順に押す。**
電話が転送され、呼び出された方がお話しできるようになります。

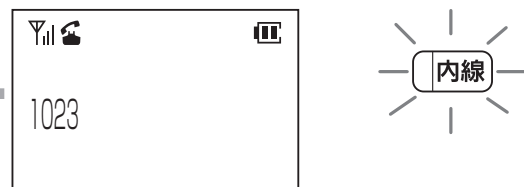
- 4 電源 ボタンを押す。**

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。



- 1 フック ボタンを押す。**
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 呼び出した方が転送操作を行うと電話がつながり、相手の方とお話する。**



ワンポイント

- 呼び出される方が近くにいるときは(口頭転送)「呼び出す方」の手順1の操作のあと、口頭で連絡してください。デジタルシステムコードレス電話機で保留にしている外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。
- 呼び出された方の応答を待たずに転送するには(呼出状態転送)手順2で内線番号をダイヤルボタンで押したあと、**F** ボタン、**番号 11** ボタンを押して、**電源** ボタンを押します。
※αB1(主装置内蔵電話機)では、呼出状態転送はご利用できません。
- 相手の方とのお話しに戻るには呼び出された方が応答しなかったときは、保留にしている外線ボタンを押すと相手の方とのお話しに戻ることができます。
- 別の電話機で応答するには(代理応答)着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。(P58)

お知らせ

- 「呼び出す方」の手順2のあと「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。
- 保留転送の操作を行っても、転送できない場合があります。その場合は接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- αB1(主装置内蔵電話機)では、手順1、2のあと、呼び出された方が応答したら、手順4を操作してください。

内線でお話しするには（内線通話）



他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

呼び出す方

- 1 **フック** ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。
呼出音が聞こえます。



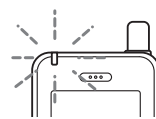
- 3 呼び出された方が応答したら、お話しする。



- 4 お話しが終わったら、**電源** ボタンを押す。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。



- 1 **フック** ボタンを押す。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 電話をかける／
受ける

内線でお話しするには
電話を取りつぐには



ワンポイント

- 別の電話機で応答するには（代理応答）
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（P58）




お知らせ



- 「呼び出す方」の手順2のあと「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。



着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりにデジタルシステムコードレス電話機で応答することができます。

- 1**  ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2** 統合代理応答用の番号 ( ) を押す。
全グループの着信に応答することができます。



- 3** 相手の方とお話する。



ワンポイント

- 代理応答とは
自グループ内の着信に応答したり、他グループの着信に応答したりすることができます。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- αB1 (主装置内蔵電話機) では、代理応答はご利用できません。

プッシュホンサービスを利用するには (DP→PB切替)



ダイヤル回線をご利用の場合でも、プッシュホンサービスをご利用になれます。

1 電話がつながったらPB送出用の

配号 マナー ボタンを押す。

プッシュホンサービスを利用できる状態になります。



2 必要なダイヤルボタンを押す。



ワンポイント

●プッシュホンサービスの種類

- ・フリーダイヤル／ナビダイヤルのガイダンス操作
- ・留守番電話へのリモコン操作など



お知らせ

- フリーダイヤル／ナビダイヤルなどのサービスの一部が利用できない場合があります。
- DP→PB切替のあと、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- ご利用中の回線がプッシュ回線かどうかは状態表示 (P63) で確認できます。「PB」の表示がでなければダイヤル回線です。

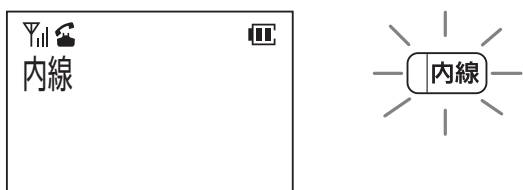
空いている外線を選んで電話をかけるには (空き外線自動捕捉)



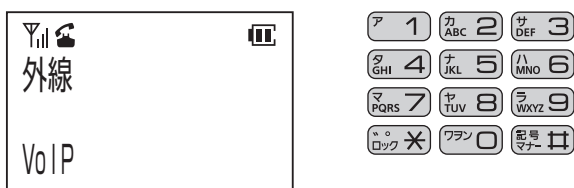
空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。主装置の設定により、外線発信と、自動発信可能な外線の中から選ぶ方法（外線群指定発信）が選択できます。

外線発信

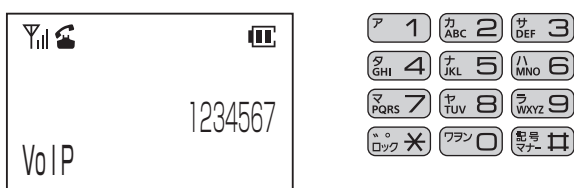
- 1 ボタンを押す。
「ツーツ―…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 外線発信番号 (フワン 0 []) を押す。
「ツー」 という発信音を確認してください。
空いている外線の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



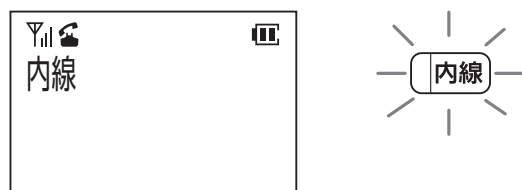
- 3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



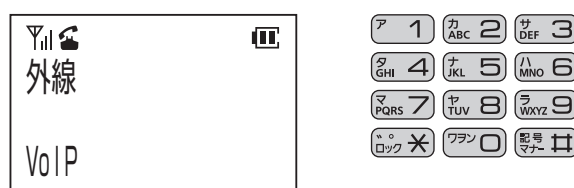
- 4 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。

自動発信可能な外線の中から選ぶ

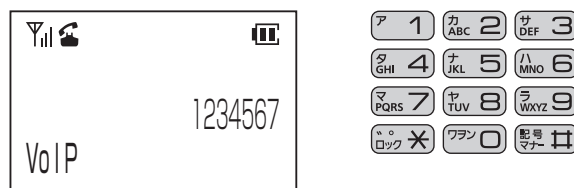
- 1 ボタンを押す。
「ツーツ―…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 外線群指定発信番号 ([] ~ []) をダイヤルボタンで押す。
「ツー」 という発信音を確認してください。
対応する外線の外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



- 4 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。

お知らせ

- 空いている外線がないときは、電話をかけられません。
しばらく待ってからかけ直してください。
- 外線群指定発信番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- αB1（主装置内蔵電話機）では、外線群指定発信はご利用できません。

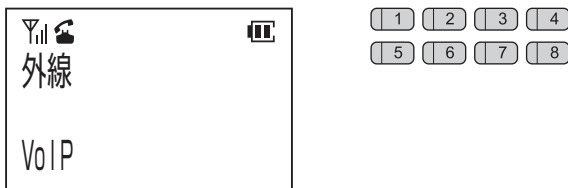


主装置で外線ボタンに索線ボタンを設定しているときは、索線グループ内の空いている外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

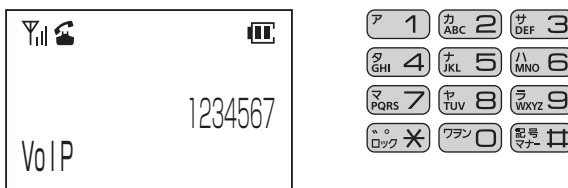
外線発信

1 索線ランプが消えていることを確認し、索線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。索線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 電話番号をダイヤルボタンで押す。 電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しする。 通話時間が表示されます。



ワンポイント

- 索線ランプが赤く点灯しているときは
索線グループ内の外線が全部お話し中のため、
電話をかけることはできません。



お知らせ


- 索線ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定されます。
- αB1（主装置内蔵電話機）では、索線ボタンは設定できません。



- ▶ PBXなどに接続しているときは（☎P121）
- ▶ 主装置で「プリセレクトサービス」のご利用の設定をされているときは（☎P121）



主装置で設定された内線電話機から、構内放送用のスピーカーで音声ページングができます。内線電話機も同時に音声ページングします。

- 1**  ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2** 音声ページング用の番号
(   【  】を押す。



ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PQRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXYZ 9
＊ ロック	ワラン 0	配号 マナー

- 3** お話する。



お知らせ

- 音声ページング用の番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- αB1（主装置内蔵電話機）では、構内放送用のスピーカーでの音声ページングはご利用できません。



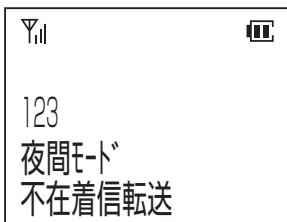
主装置の機能により登録された状態をデジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイに表示することができます。

- ・アラーム
- ・着信拒否
- ・システムモード（昼／夜など）
- ・回線種別
- ・不在転送

また、INSネット64サービスの識別着信サービスも表示することができます。

1 ボタンを押す。

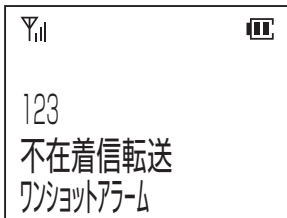
2 ボタンを押す。
登録内容が表示されます。



(αB1シリーズ
では、1、2行目
のみ表示できま
す)

3 3秒以内に ボタンを押す。

4 ボタンを押す。
次の登録内容が表示されます。



お知らせ

- αZXII-S / M / Home、αZX-S / M / Home / LIGHT-S / LIGHT-M、αN1-S / Mでは、手順3、4の操作は無効となります。
- サービス機能の登録状態の表示については、主装置取扱説明書を参照ください。

話中着信音を設定するには



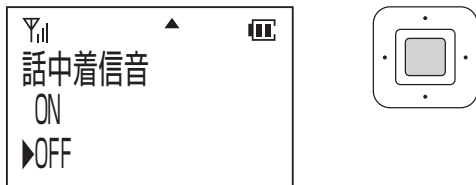
通話中の着信音は、主装置の設定が「通話中の着信あり」になっている場合でも、デジタルシステムコードレス電話機で、着信音の有無を設定できます。

話中着信音を設定する

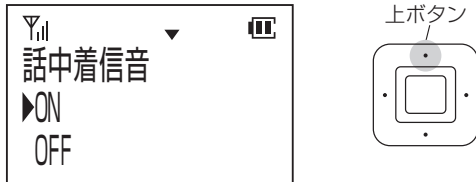
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**3** の順に押す。
「話中着信音」が表示されます。



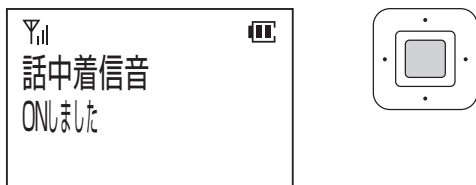
- 2** 決定ボタンを押す。
「話中着信音 ON / OFF」が表示されます。



- 3** 上ボタンで「ON」を選択する。

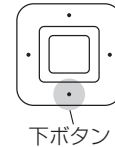


- 4** 決定ボタンを押す。
話中着信音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

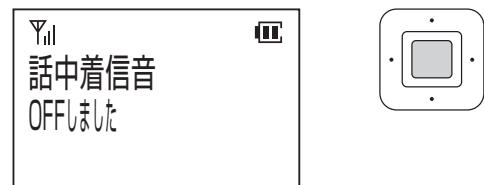


話中着信音を解除する

- 3** 下ボタンで「OFF」を選択する。



- 4** 決定ボタンを押す。
話中着信音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。





トランシーバーモードでは、同一の主装置に収容されたデジタルシステムコードレス電話機どうしで、接続装置や主装置を介さないで通話ができます。また、トランシーバークループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないデジタルシステムコードレス電話機どうしでも通話ができるようになります。例えば、接続装置の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも接続装置の無線チャンネルが一杯で普通には通話のできない場合でも、デジタルシステムコードレス電話機どうしで通話をすることができます。



2 電話をかける
受ける

3 トランシーバー
通話をする

トランシーバーモードの使いかた
話中着信音を設定するには

お知らせ

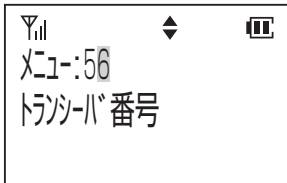
- トランシーバーモードで通話ができるのは2台1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバーモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャンネルが一杯で新たに通話できない場合もあります。
- トランシーバーモードで通話ができるのは、半径約100 mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の環境によってはもっと短くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約7秒間通話がとぎれますが異常ではありません。通話がとぎれる約20秒前に「プー」という予告音が受話口から聞こえます。また通話がとぎれている間は「ププ、ププ…」という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話の途中で切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

トランシーバーモードの番号を 設定するには

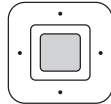
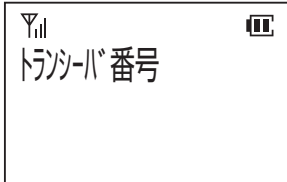


トランシーバーモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つをこの電話機で設定することができます（8000から9999までの数字は使えません）。

- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**5** の順に押す。
「トランシーバ番号」が表示されます。



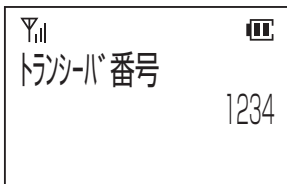
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 設定したいトランシーバーモードの電話番号を入力する。

必ず1から7999までの数字を入力してください。

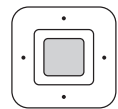
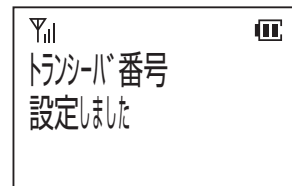
<例> 1234の番号を設定するとき



- 4** 決定ボタンを押す。

正常に設定されたときは「ピピ」という音がして待ち受け状態に戻ります。

8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには「ピピピピピ」という音がして番号入力待ちの状態に戻ります。このときは手順3から操作をやり直してください。



ワンポイント

- 設定されたトランシーバーモードの電話番号は「電話番号を確認する」(P33)で確認できます。
- 使用者名表示が登録されていない場合、待ち受け状態のときにトランシーバー番号が表示されます。



お知らせ

- 2つ以上のデジタルシステムコードレス電話機に同じ番号を設定すると、正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
- 当社製のデジタルシステムコードレス電話機以外の電話機とは通話できません。

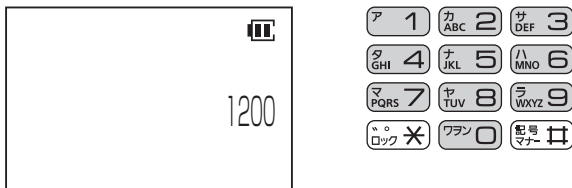


トランシーバーモードの電話番号で呼び出して、トランシーバー通話をすることができます。

電話をかける

1 待ち受け状態から、相手の方のトランシーバーモードの電話番号をダイヤルする。

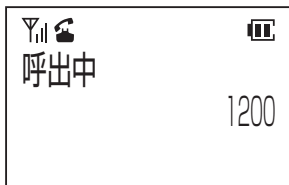
<例> 1200番の人に電話するとき



2 フック ボタンを押す。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。



3 相手の方が応答したらお話しする。



4 お話しが終わったら、 電源 ボタンを押す。

ワンポイント

- 前に電話をかけた相手に再びかけるには (☛P86)
- トランシーバーモードで電話をかける前にトランシーバーモードに切り替えてお使いください。(☛P32)

お知らせ

- 待ち受け状態で フック ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

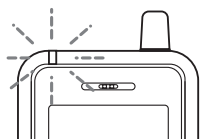


トランシーバーモードを利用して電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが赤く点滅します。

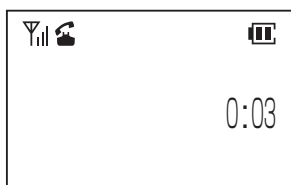
電話を受ける

相手の方から呼び出しを受けると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

<例> 1200番の人から電話がかかってきたとき




1  フック ボタンを押す。



2 相手の方とお話する。



3 お話が終わったら、 電源 ボタンを押す。

トランシーバーグループを 登録するには



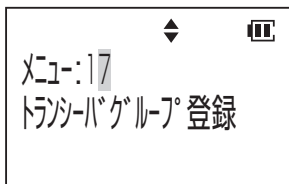
トランシーバーグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないデジタルシステムコードレス電話機どうしてもトランシーバー通話ができるようになります。

トランシーバーグループ登録では、送信側の電話機から受信側の電話機にトランシーバーグループのデータが転送されます。

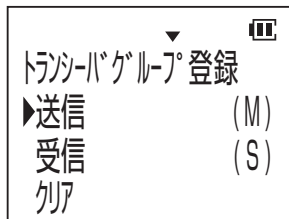
また、以下の操作ではあらかじめトランシーバーモードにしておき、登録開始の操作（手順6）を送信側と受信側でほぼ同時に行う必要があります。

トランシーバーグループ登録を行う

- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**1** **マ** **PQRS** **7** の順に押す。
「トランシーバグループ登録」が表示されます。



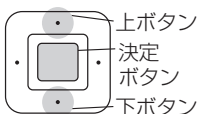
- 2** 決定ボタンを押す。



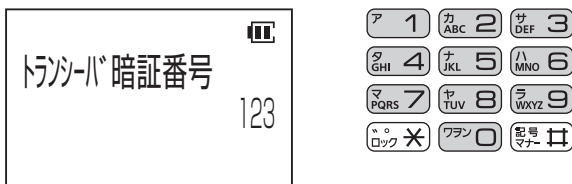
送信側

受信側

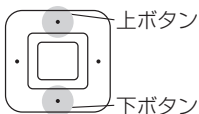
- 3** 上下ボタンで「送信」を選択して、決定ボタンを押す。



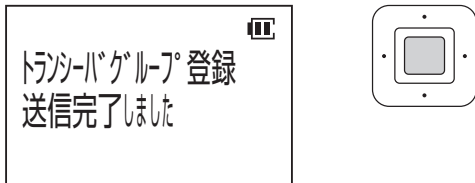
- 4** 受信側と同じ暗証番号4桁（0000～9999）を入力する。



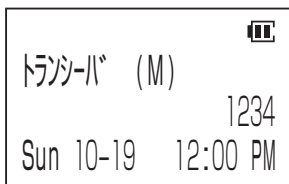
- 5** 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。



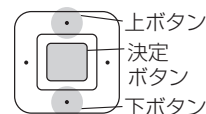
- 6** 決定ボタンを押す。同時（5秒以内）



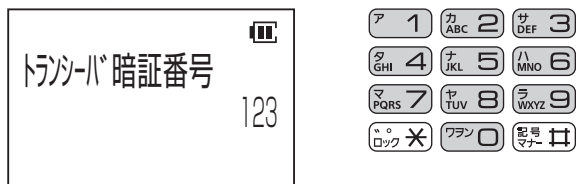
- 7** 登録が完了したら **電源** ボタンを押す。待ち受け状態に戻ります。



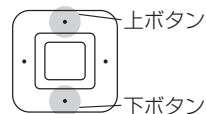
- 3** 上下ボタンで「受信」を選択して、決定ボタンを押す。



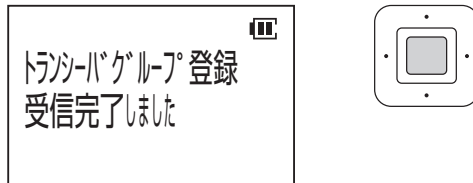
- 4** 送信側と同じ暗証番号4桁（0000～9999）を入力する。



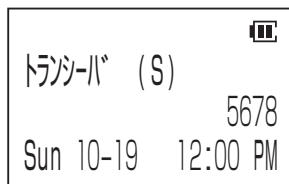
- 5** 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。



- 6** 決定ボタンを押す。



- 7** 登録が完了したら **電源** ボタンを押す。待ち受け状態に戻ります。



3 トランシーバー
通話をする

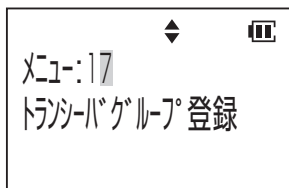
トランシーバーグループを登録するには
トランシーバーモードで電話を受けるには



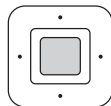
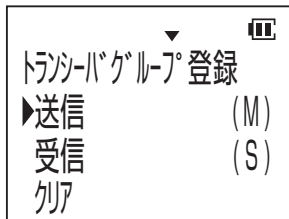
トランシーバーグループ登録を解除することができます。

トランシーバーグループ登録を解除する

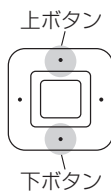
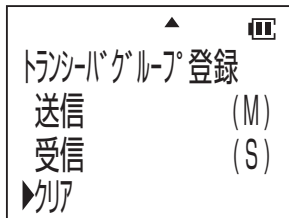
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**1** **1** **PQRS** **7** の順に押す。
「トランシーバグループ登録」が表示されます。



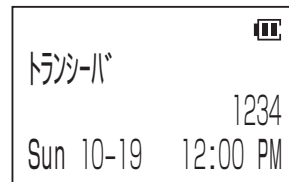
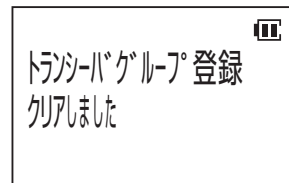
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 上下ボタンで「クリア」を選択する。



- 4** 決定ボタンを押す。
トランシーバグループ登録が解除され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 登録に失敗したときは、手順1からやり直してください。



お知らせ

- トランシーバグループ登録を行うと、同一のグループ以外のデジタルシステムコードレス電話機とはトランシーバ通話ができなくなります。
- 3台以上でグループ登録を行うときは、送信側を特定の1台にして、残りを受信側にして登録してください。

文字を入力するには

文字入力時には「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。**F** ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

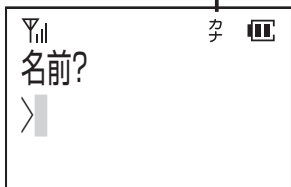
カタカナモード

<例> 「佐藤」と入力する場合

漢字、ひらがなおよびカタカナを入力することができます。

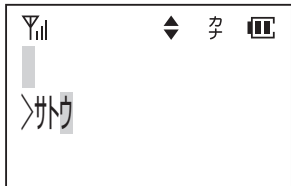
1 **F** ボタンを押して入力モードを選択する。

カタカナモード



2 **サ** **DEF** **3** を1回、**タ** **GHI** **4** を5回、**ア** **1** を3回押す。

カタカナを入力したい場合は決定ボタンを押します。

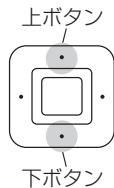
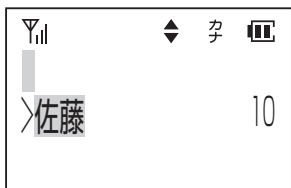


3 上下ボタンで文字を変換する。

漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。

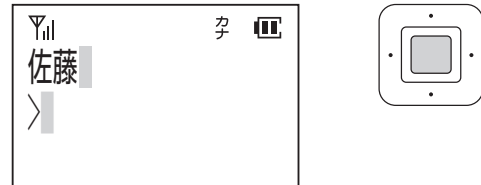
残り候補数が右端に表示されます。

入力したい文字に変換できない場合は、左右ボタンで変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読みかたを変えて（音読み／訓読み）入力し直してください。



4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。



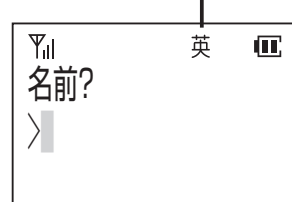
英字モード

<例> 「NTT」と入力する場合

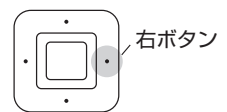
英字、絵文字および記号を入力することができます。

1 **F** ボタンを押して入力モードを選択する。

英字モード

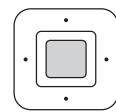


2 **ハ** **MNO** **6** を2回、**エ** **TUV** **8** を1回、右ボタンを1回、**エ** **TUV** **8** を1回押す。



3 決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。



3 トランシーバー
通話をする

4 より便利に使う

文字を入力するには
トランシーバーグループ登録を解除するには

文字を入力するには

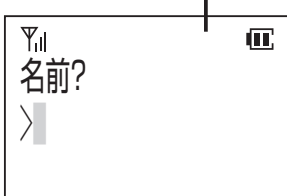
数字モード

<例> 「123」と入力する場合

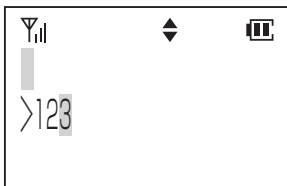
数字を入力することができます。

1 **F** ボタンを押して入力モードを選択する。

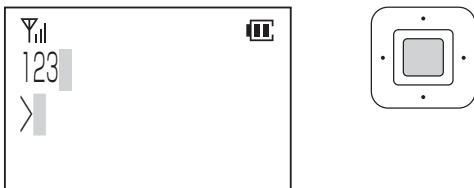
数字モードのときはピクトが消えます。



2 **ア** **1** **カ** **ABC** **2** **サ** **DEF** **3** の順に押す。



3 決定ボタンを押す。
確定した文字が上段に移動します。



ワンポイント

- 文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか右ボタンを押してください。
続けて同じボタン上の文字を入力するときは、右ボタンを押してカーソルを移動させてください。

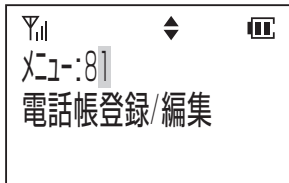
- 文字入力を間違えたときは、**クリア** ボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、**クリア** ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 入力文字を修正したいときは、左右ボタンでカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
- 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を越えた場合は最後尾から削除されます。
- 文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下のとおりです。**F** ボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。

ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
ア 1	アイウエオ アイウエオ		1
カ ABC 2	カキクケコ	ABCabc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEFdef	3
タ GHI 4	タチツテトツ	GHIghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKLjkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNOmno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRSpqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
フワン 0	ワワン ー (空白)	ー (空白)	0
(左ボタン)	カーソルを左に		
(右ボタン)	カーソルを右に		
F	英字モード にシフト	数字モード にシフト	カタカナモード にシフト
クリア	1文字削除		
クリア 1秒	全文字削除		
ロック	ゝ 。	*	*
番号 マネ	ー ! ?	ー ・ & / [] # *	#

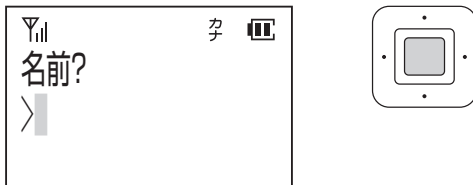
電話帳ダイヤルに登録するには

電話帳ダイヤルには500件の電話番号が登録できます。1件あたり、名前16文字（漢字8文字）、読み仮名6文字、ダイヤル24桁まで入力することができます。また、グループを選択することによりグループ登録を行うことができます。電話帳ダイヤルは、主装置電話帳（共通電話帳、個別電話帳）とは別の電話帳です。

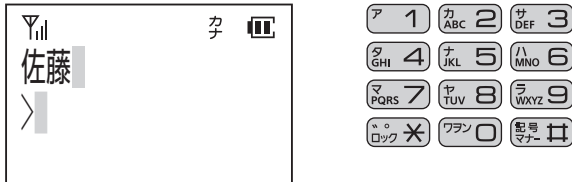
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ヤ** **ア** **1** の順に押す。
「電話帳登録／編集」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。
名前入力画面が表示されます。



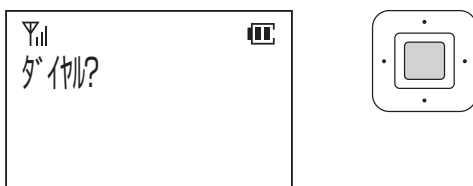
- 3** 登録する相手の名前を入力する。



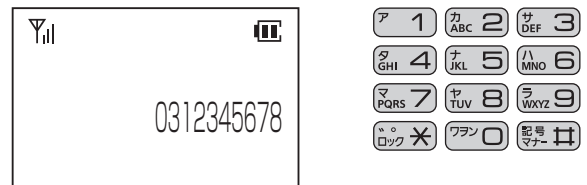
- 4** 決定ボタンを押す。
読み仮名入力画面が表示されます。
読み仮名は名前入力時に入力された6文字までがそのまま表示されます。



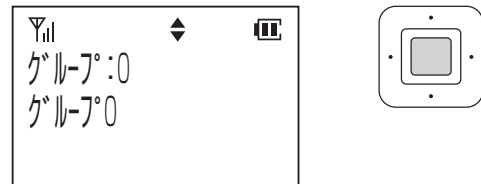
- 5** 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。
電話番号入力画面が表示されます。



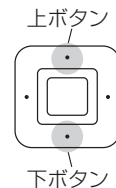
- 6** 登録する相手の電話番号を入力する。
入力された電話番号が表示されます。



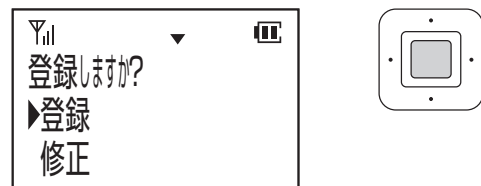
- 7** 決定ボタンを押す。
グループ選択画面が表示されます。



- 8** 上下ボタンでグループを選択する。

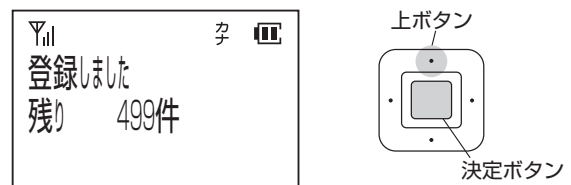


- 9** 決定ボタンを押す。
登録確認画面が表示されます。



- 10** 上ボタンで「登録」を選択し、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。





ワンポイント

- 文字を入力するには
文字の入力、読み仮名の修正が行えます。
(☛P71)
- 電話帳ダイヤルを修正する場合は、手順9で「修正」を選択します。
- 読み仮名には「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。
- 電話番号の入力を間違えたときは、**クリア** ボタンを押してください。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、**クリア** ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 入力データ（下段）が何も無いときに**クリア** ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。
- 電話番号にポーズに登録するには
 - ① **F** ボタン、**保留** ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁（1～9）で入力する。
ただし、先頭にポーズに登録することはできません。
 - ② 複数のポーズを続けて登録することができます。
 - ③ ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- 電話番号にリモートダイヤルに登録するには
 - ① **F** ボタン、**保留** ボタンに続けて数字「0」（ポーズ0）を入力します。
 - ② リモートダイヤルの操作は、電話帳ダイヤルで電話をかけたあと、**フック** ボタンを押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。
- 電話帳ダイヤルには読み仮名または電話番号のどちらかを入力しないと登録できません。
- 電話帳グループの名前を登録するには (☛P82)
- すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません 残り0件」と表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。



▶PBXなどに接続しているときは
(☛P121)



お知らせ

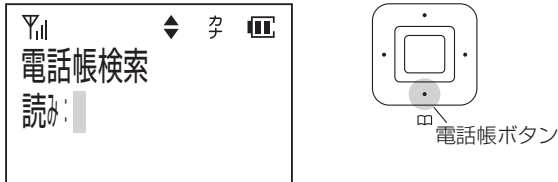
- 手順8で**ワラン** **0** ～ **ワxyz** **9** を押しても、グループが選択できません。
- 自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、外線発信番号と相手の方の電話番号を登録しておく必要があります。
- 操作中に電話がかかってくると、登録操作は無効になります。

電話帳ダイヤルでかけるには

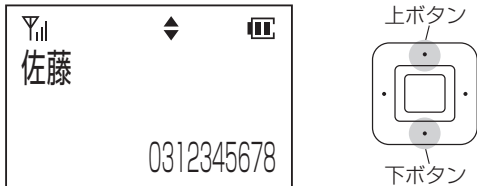
電話帳ダイヤルには500件の電話番号が登録できます。登録されている電話番号を50音順、読み仮名、電話帳グループのいずれかで検索してから電話をかけることができます。

50音順で検索してかける

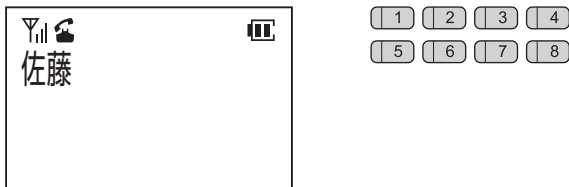
1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。



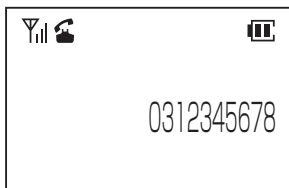
2 上下ボタンで目的の電話帳ダイヤルを表示させる。



3 外線ボタンを押す。
検索した電話番号がダイヤルされます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。



4 相手の方が応答してから、お話しする。



ワンポイント

● 検索順序は次のとおりです。

- ① 読み仮名なし
- ② 絵文字 (☺☹☺☹☺☹)
- ③ 空白 (スペース)
- ④ 記号 (!, #, &, *, -, /)
- ⑤ 数字 (0 ~ 9, ?)
- ⑥ 英字 (A ~ Z, [,], a ~ z)
- ⑦ カタカナ (・, ヲ, ア〜ツ, ー, ア〜ン, っ, °)

● 電話帳ダイヤル検索中に **ワ**0 ~ **ラ**WXYZ9 を押すことで、ア行〜ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

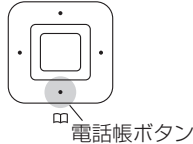
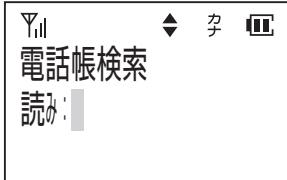
● 待ち受け状態でメニューボタン、**ヤ**TUV 8 **カ**ABC 2、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示されます。

検索モードが「グループ」になっている場合は、決定ボタンをもう一度押してください。検索モードが「読み」になります。

電話帳ダイヤルでかけるには

読み仮名を検索してかける

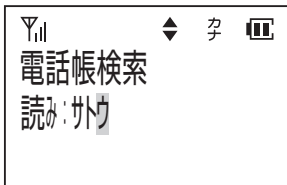
1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。



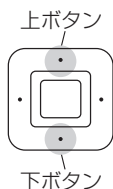
2 検索したい読み仮名を入力する。

F ボタンを押して入力モードを選択してください。

入力できる読み仮名は6文字までです。



3 上下ボタンを押して選択する。

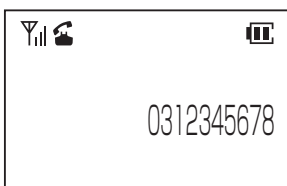


4 外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。



5 相手の方が応答してから、お話しする。



ワンポイント

- トランシーバーモードで電話をかけるときは、**フック** ボタンを押してください。
- どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押し続けている間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。
- 読み仮名の入力を間違えたときは、**クリア** ボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、**クリア** ボタンを1秒以上押し続けることで、全桁削除することができます。
- 読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録がない場合は、その近くのデータを表示します。
- 電話帳ロックを設定しているときは電話帳ダイヤルは使えません。〈電話帳ロック〉(P108)
- 電話帳ダイヤルに登録された番号が内線番号の場合は、手順4で外線ボタンの代わりに内線ボタンを押してください。

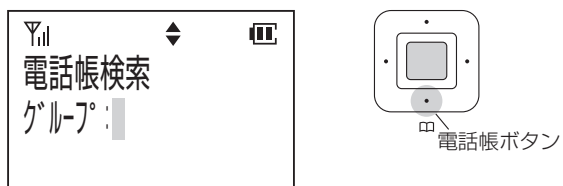


お知らせ

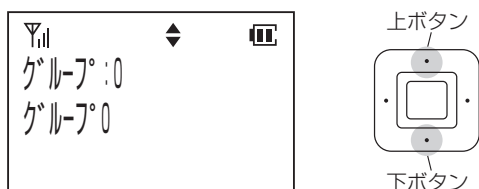
- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で**フック** ボタンを押しても操作は無効になります。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、電話帳ボタンを押しても操作は無効になります。

電話帳グループの電話番号を検索してかける

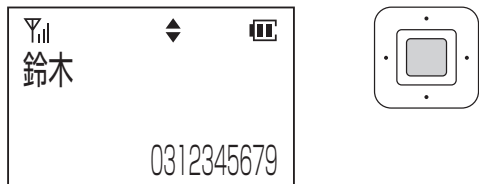
- 1** 待ち受け状態で、電話帳ボタン、決定ボタンの順に押す。



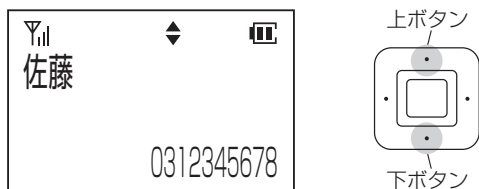
- 2** 上下ボタンで目的のグループを表示させる。



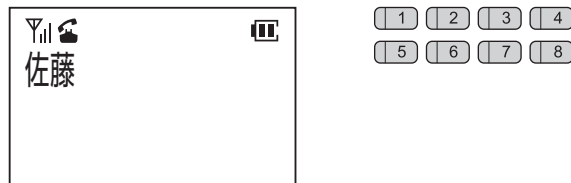
- 3** 決定ボタンを押す。



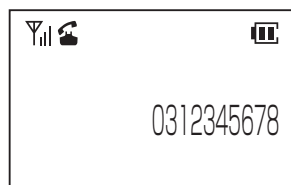
- 4** 上下ボタンを押して選択する。
選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。



- 5** 外線ボタンを押す。
検索した電話番号がダイヤルされます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。



- 6** 相手の方が応答してから、お話しする。



4 より便利に使う

電話帳ダイヤルでかけるには



ワンポイント

- 検索順序は次のとおりです。
 - ① 読み仮名なし
 - ② 絵文字 (👁️👁️👁️👁️)
 - ③ 空白 (スペース)
 - ④ 記号 (!、#、&、*、-、/)
 - ⑤ 数字 (0～9、?)
 - ⑥ 英字 (A～Z、[.], a～z)
 - ⑦ カタカナ (・、ヲ、ア～ツ、ー、ア～ン、ゝ、°)
- 手順4で電話帳ダイヤル検索中に **ワ** ～ **ヲ** を押すことで、ア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。
- トランシーバーモードで電話をかけるときは、**フック** ボタンを押してください。
- どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押し続けている間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。
- 電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。
- 電話帳ロックを設定しているときは電話帳ダイヤルは使えません。〈電話帳ロック〉 (P108)
- 待ち受け状態でメニューボタン、**ヤ** **カ** 、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示されます。
検索モードが「読み」になっている場合は、決定ボタンをもう一度押してください。検索モードが「グループ」になります。



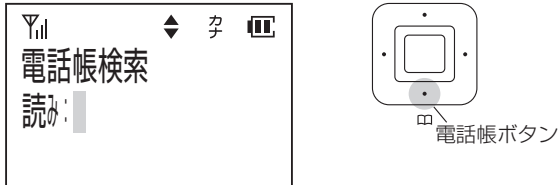
お知らせ

- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で **フック** ボタンを押しても操作は無効になります。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、電話帳ボタンを押しても操作は無効になります。

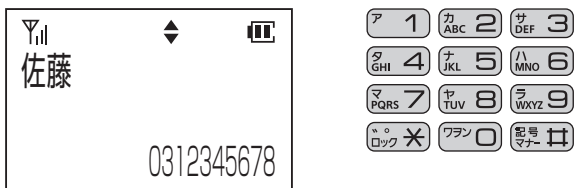
電話帳ダイヤルを修正するには

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを修正することができます。

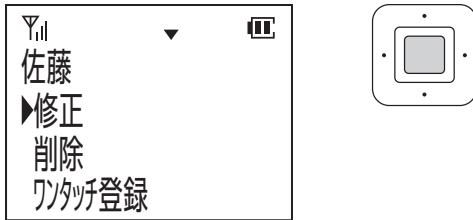
- 1** 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。
読み仮名入力画面が表示されます。



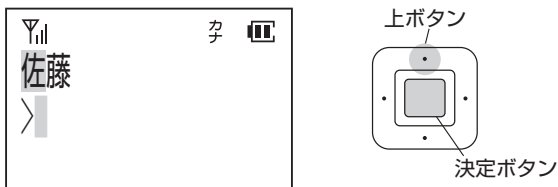
- 2** 読みを入力して、修正する電話帳ダイヤルを選択する。



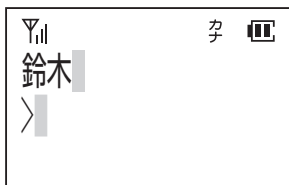
- 3** 決定ボタンを押す。



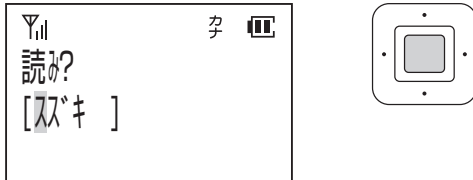
- 4** 上ボタンで「修正」を選択し、決定ボタンを押す。
名前修正画面が表示されます。



- 5** 名前を修正する。
<例> 「佐藤」を「鈴木」に修正する場合



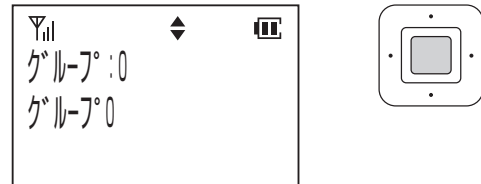
- 6** 決定ボタンを押す。



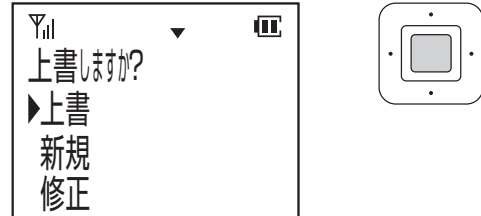
- 7** 読み仮名を修正し、決定ボタンを押す。



- 8** 電話番号を修正し、決定ボタンを押す。

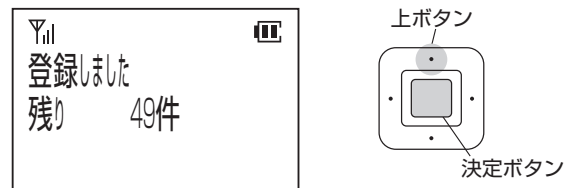


- 9** グループを選択し、決定ボタンを押す。



- 10** 上ボタンで「上書」を選択し、決定ボタンを押す。

元の電話帳ダイヤルデータが上書きされます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

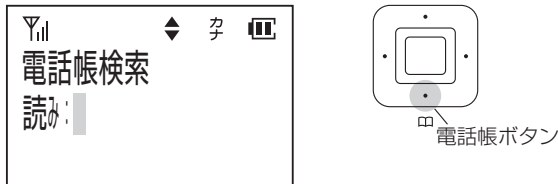
- 電話番号を修正するには (●P74)
- 文字を修正するには (●P72)
- 「新規」を選択した場合は、元の電話帳ダイヤルデータは修正せずに新規の登録になります。
- 「新規」を選択した場合で、すでに500件登録されているときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されます。そして、約2秒後に「上書しますか?」の表示に戻ります。
- 手順9で「修正」を選択した場合は、登録は行わず名前修正画面に戻ります。

電話帳ダイヤルを削除するには

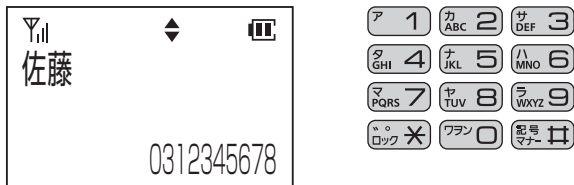
50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録データを削除する

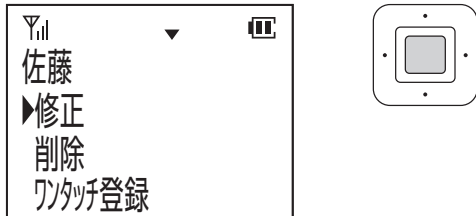
- 1** 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。
読み仮名入力画面が表示されます。



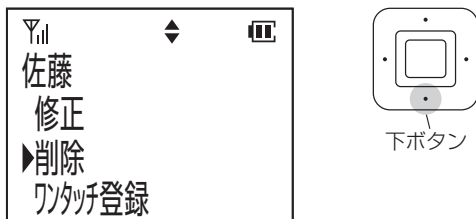
- 2** 読みを入力して、削除する電話帳ダイヤルを選択する。



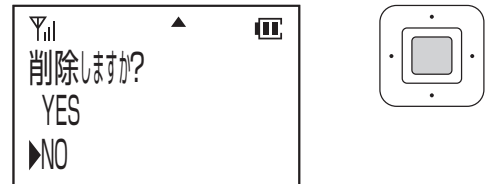
- 3** 決定ボタンを押す。



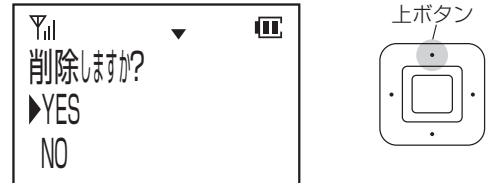
- 4** 下ボタンで「削除」を選択する。



- 5** 決定ボタンを押す。
「削除しますか?」が表示されます。



- 6** 上ボタンで「YES」を選択する。



- 7** 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。

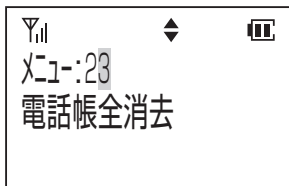


ワンポイント

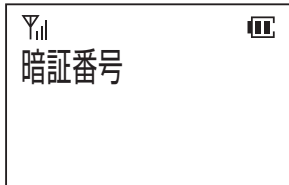
- 手順6で「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

全登録データを消去する

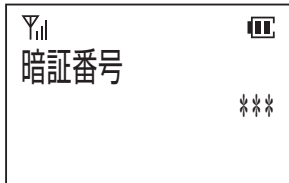
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**カ** **2** **サ** **3** の順に押す。
「電話帳全消去」が表示されます。



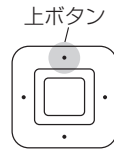
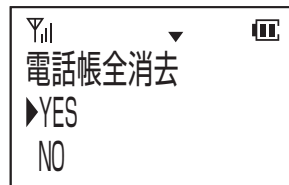
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 登録している暗証番号（4桁）を入力する。

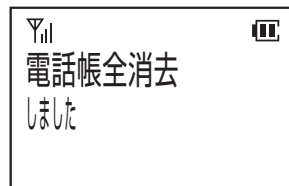
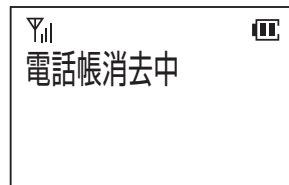


- 4** 上ボタンで「YES」を選択する。



- 5** 決定ボタンを押す。

「電話帳消去中」が表示されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



4
より便利に使う

電話帳ダイヤルを削除するには



ワンポイント

- 暗証番号が登録されていないときは〈暗証番号を新規に登録する〉(P105)
「暗証番号未登録です」と表示され「ピピピピ」という警告音が鳴ります。電話帳全消去は行えません。
- 手順4で「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止され、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

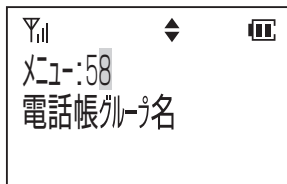
- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。

電話帳グループの名前をつけるには

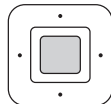
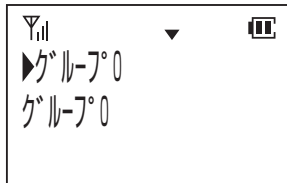
電話帳グループに「得意先」「友人」などグループの名前を設定することができます。

グループ名をつける

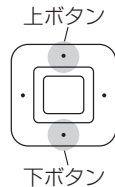
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**5** **8** の順に押す。
「電話帳グループ名」が表示されます。



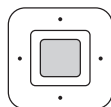
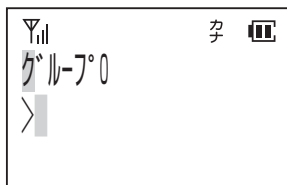
- 2** 決定ボタンを押す。



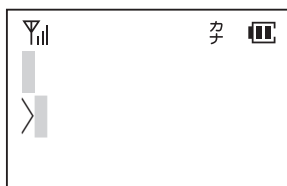
- 3** 上下ボタンでグループを選択する。



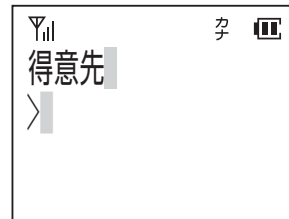
- 4** 決定ボタンを押す。



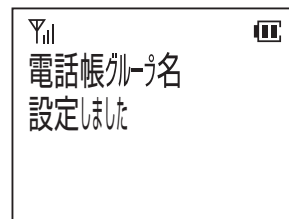
- 5** **クリア** ボタンを1秒以上押す。
現在のグループ名を消去します。



- 6** グループ名を入力する。
<例> 「得意先」と入力した場合



- 7** 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

●文字を入力するには (P71)



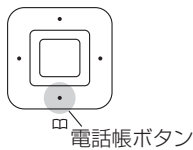
主装置電話帳（共通電話帳、個別電話帳）を利用できます。

主装置電話帳を読み出す

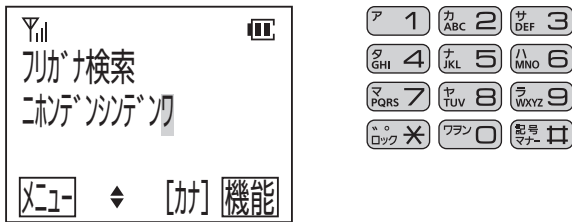
1 **F** ボタンを押す。



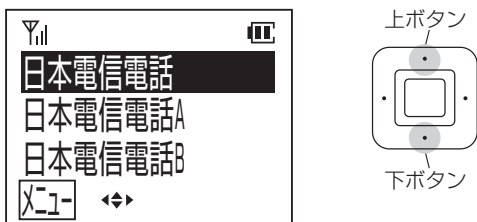
2 電話帳ボタンを押す。



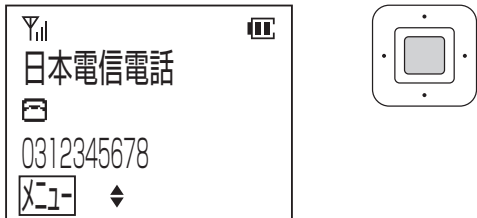
3 検索するフリガナを入力する。



4 上下ボタンを押し、検索された名称から該当する名称を選択する。

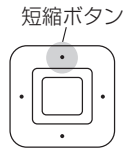
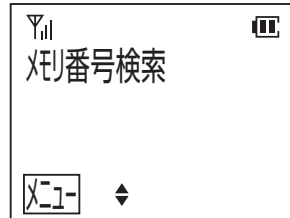


5 決定ボタンを押す。



メモリ番号検索

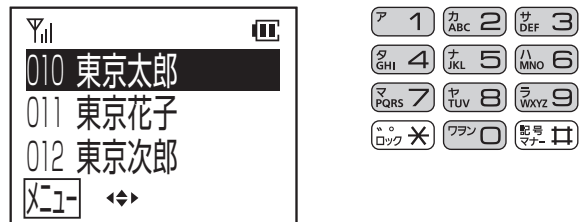
1 短縮ボタンを押す。



(αB1シリーズでは **F** + **ワXYZ 9**、αB1（主装置内蔵電話機）のみ短縮ボタンも可能）

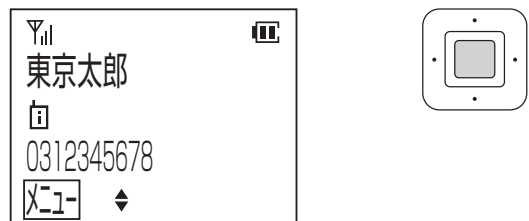
2 メモリ番号を入力する。

入力されたメモリ番号順に表示されます。



3 該当するメモリ番号を選択し、決定ボタンを押す。

詳細情報が表示されます。



4 より便利に使う

主装置電話帳を利用するには
電話帳グループの名前をつけるには

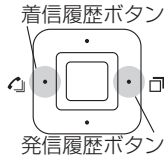
お知らせ

- 主装置電話帳利用については、主装置取扱説明書を参照ください。
- αB1シリーズでは、主装置電話帳読み出しはご利用できません。また、αB1シリーズではメモリ番号検索には、短縮ボタンではなく、**F** + **ワXYZ 9**を使用してください。αB1（主装置内蔵電話機）のみ短縮ボタンも使用できます。

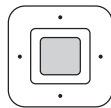
発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

発信履歴や着信履歴の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。

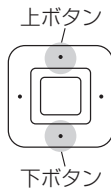
1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押して、登録する発信履歴または着信履歴を選択する。



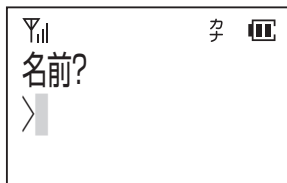
2 決定ボタンを押す。



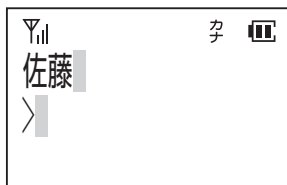
3 上下ボタンで「電話帳登録」を選択する。



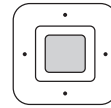
4 決定ボタンを押す。
名前入力画面が表示されます。



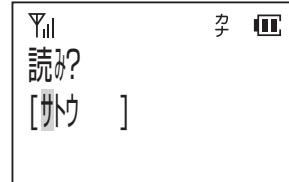
5 名前を入力する。



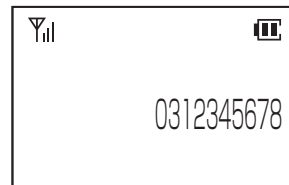
6 決定ボタンを押す。



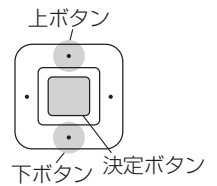
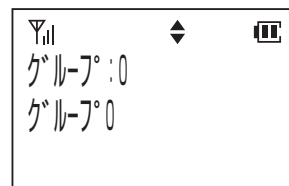
7 読み仮名を修正する。



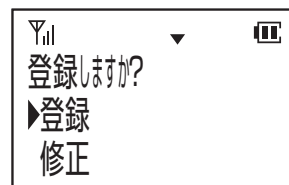
8 決定ボタンを押す。
登録する相手の電話番号が表示されます。



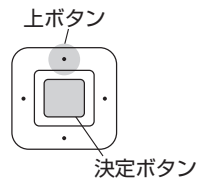
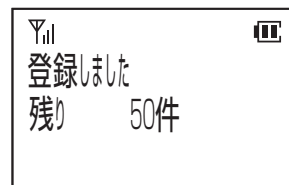
9 決定ボタンを押し、上下ボタンでグループを選択する。



10 決定ボタンを押す。
登録確認画面が表示されます。



11 上ボタンで「登録」を選択し、決定ボタンを押す。



「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- 文字を入力するには (P71)
- すでに500件登録されているときは (P74)
- 発信者名が通知されているときは、手順4で決定ボタンを押したあとに、発信者名が入力済みになっています。

電話番号を組み合わせてかけるには

外線発信特番などと電話帳ダイヤルを組み合わせて発信することができます。

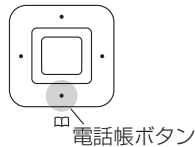
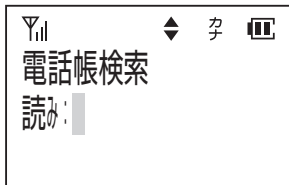
電話番号を組み合わせて発信する

<例>外線発信番号“0”と電話帳ダイヤルの組み合わせ

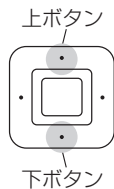
1 **ワフン** ボタンを押す。



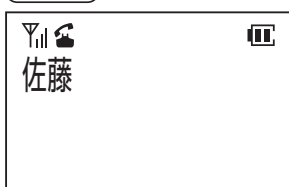
2 電話帳ボタンを押す。



3 上下ボタンで組み合わせる電話帳ダイヤルデータを検索する。



4 **フック** ボタンを押す。



ワンポイント

● 電話帳ダイヤルを検索するには (P75)

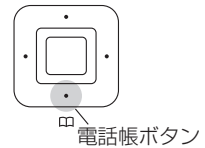
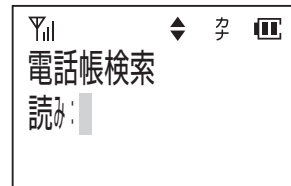
お知らせ

● αB1 (主装置内蔵電話機) では、電話帳ダイヤルと外線発信特番などを組み合わせて発信することはできません。

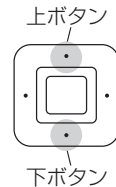
追加ダイヤルを組み合わせて発信する

<例>電話帳ダイヤルのあとにサブアドレスダイヤル“*201”を追加する

1 電話帳ボタンを押す。



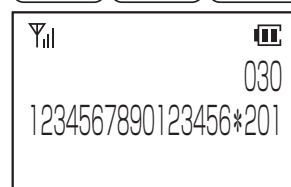
2 上下ボタンで組み合わせる電話帳ダイヤルデータを検索する。



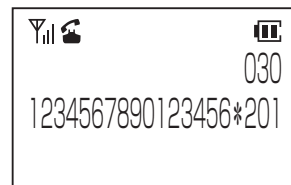
3 **ロック *** ボタンを押す。



4 **ロック *** **カ ABC 2** **ワフン 0** **ア 1** の順に押す。



5 外線ボタンを押す。



電話番号を組み合わせてかけるには
発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

前に電話をかけた相手に再び かけるには

(発信履歴)

こちらからかけた電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を読み出して、電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

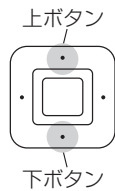
かけた相手に再びかける

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

発信履歴が新しい順に表示されます。

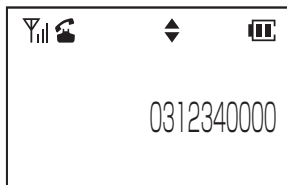


2 上下ボタンでかけたい相手を選択する。



3 外線ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



電話帳ダイヤルに名前情報が登録されているとき




1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

発信履歴が新しい順に表示されます。

電話帳ダイヤルの名前情報が表示されます。



ワンポイント

- 相手の方の電話番号が電話帳ダイヤルに登録されている場合は名前が表示されます。
- トランシーバーモードで電話をかけるときは、 ボタンを押してください。
- 待ち受け状態でメニューボタン、 、決定ボタンの順に押し、手順1の画面が表示されます。



お知らせ

- 発信履歴は電源を切っても保持されます。

発信履歴を削除するには

発信履歴を検索したあとに削除することができます。また、発信履歴の全データを一度に削除することもできます。

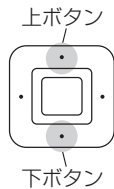
記録されたデータの削除

- 1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

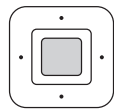
発信履歴が新しい順に表示されます。



- 2 上下ボタンで削除する発信履歴を選択する。

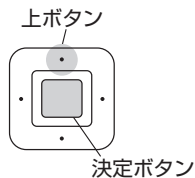
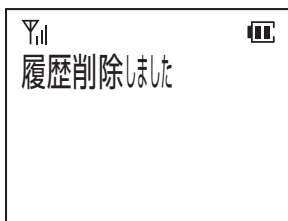


- 3 決定ボタンを押す。



- 4 上ボタンで「削除」を選択して、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。
発信履歴が削除され、待ち受け状態に戻ります。



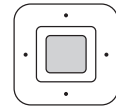
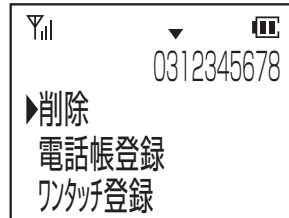
記録された全データの削除

- 1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

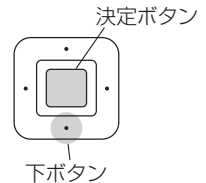
発信履歴が新しい順に表示されます。



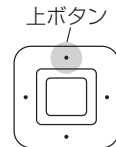
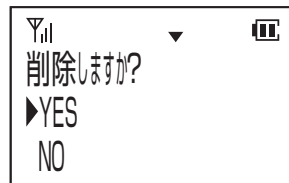
- 2 決定ボタンを押す。



- 3 下ボタンで「全体削除」を選択して、決定ボタンを押す。

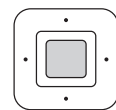
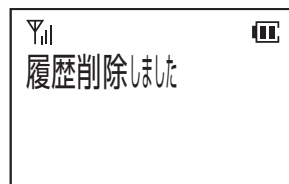


- 4 上ボタンで「YES」を選択する。



- 5 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。
発信履歴の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

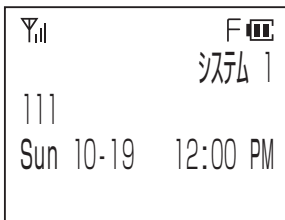
- 全データの削除で「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。



こちらからかけた電話番号を主装置に最大60件記録することができます。その電話番号を読み出して、電話をかけることができます。電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

発信履歴を読み出す

1 **F** ボタンを押す。



2 発信履歴ボタンを押す。



3 発信履歴より該当する番号／名称を選択し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

●主装置発信履歴表示中に、メニューボタンを押し、電話帳登録、1件削除、全体削除を選択操作することができます。



お知らせ

- 主装置発信履歴利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
- αB1シリーズでは、主装置発信履歴はご利用できません。

電話をかけてきた相手にこちらからかけるには (着信履歴)

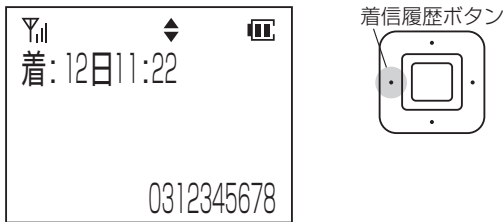
電話がかかってきたときに、発信番号が通知されている場合は、その電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を読み出して、電話をかけることができます。

電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

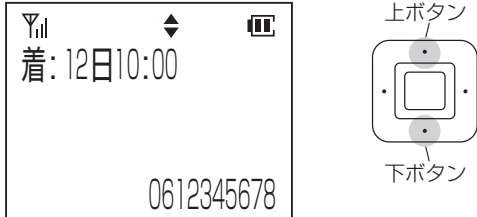
かけてきた相手にこちらからかける

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

着信履歴が新しい順に表示されます。



2 上下ボタンでかけたい相手を選択する。



3 外線ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

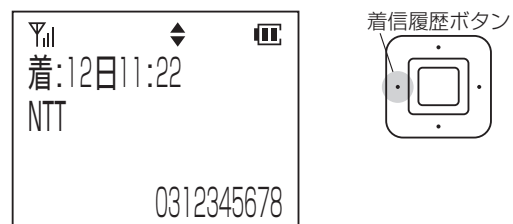


電話帳ダイヤルにネーム情報が登録されているとき

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

着信履歴が新しい順に表示されます。

電話帳ダイヤルのネーム情報が表示されます。



ワンポイント

●発信者番号が通知されている電話に出られなかったときは、待ち受け状態で**不在**が表示されます。

不在表示は本装置のメニュー設定で表示する／しないを変更することができます。

待ち受け状態でメニューボタン、**1**、決定ボタンの順に押す。表示する場合には、ONを、表示しない場合には、OFFを選択し、決定ボタンを押す。

●電話に出られなかった着信履歴の表示は、時刻の右側に「不在」が表示されます。

●発サブアドレスが通知されている場合には、発サブアドレスも記録されます（区切り文字は「*」です）。

●かけてきた相手の方の電話番号が、電話帳ダイヤルに登録されている場合は名前が表示されます。

●トランシーバーモードで電話をかけるときは**フック**ボタンを押してください。

●待ち受け状態でメニューボタン、**8**、**4**、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示されます。



お知らせ

●着信履歴は電源を切っても保持されます。

着信履歴を削除するには

着信履歴を検索したあとに削除することができます。また、着信履歴の全データを一度に削除することもできます。

記録されたデータの削除

- 1** 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

着信履歴が新しい順に表示されます。



- 2** 上下ボタンで削除する着信履歴を選択する。

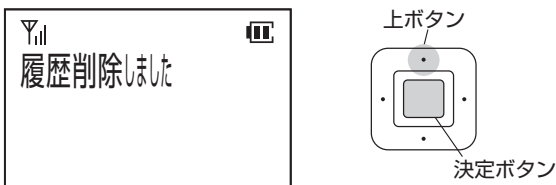


- 3** 決定ボタンを押す。



- 4** 上ボタンで「削除」を選択して、決定ボタンを押す。

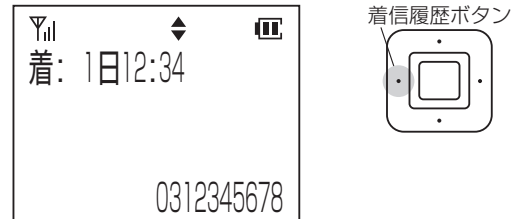
「ピピ」という確認音が鳴ります。着信履歴が削除され、待ち受け状態に戻ります。



記録された全データの削除

- 1** 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

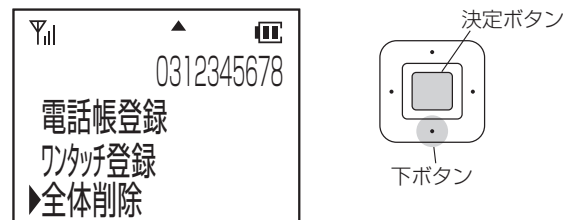
着信履歴が新しい順に表示されます。



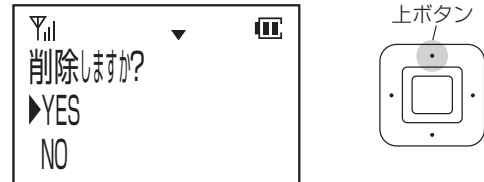
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 下ボタンで「全体削除」を選択して、決定ボタンを押す。

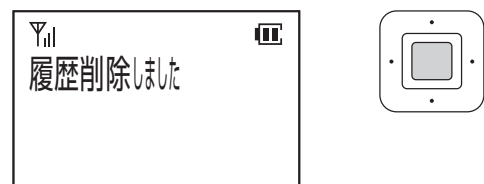


- 4** 上ボタンで「YES」を選択する。



- 5** 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。着信履歴の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 全データの削除で「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。



電話がかかってきたときに、発信番号が通知されている場合は、その電話番号を主装置に最大60件記録することができます。その電話番号を読み出して、電話をかけることができます。電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

着信履歴を読み出す

1 **F** ボタンを押す。



2 着信履歴ボタンを押す。



着信履歴ボタン



3 決定ボタンを押す。



ワンポイント

- 主装置着信履歴表示中に、メニューボタンを押し、電話帳登録、1件削除、全体削除を選択操作することができます。



お知らせ

- 主装置着信履歴利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
- αB1シリーズでは、主装置着信履歴はご利用できません。

スイッチ付イヤホンマイクを使うには

イヤホンマイク差込口に市販のスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

- 1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する。
イヤホンマイク差込口にスイッチ付イヤホンマイクを接続します。
- 2 スイッチを押したまま（約1.5秒）にし、
ピピと鳴ったら離す。
しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。
- 3 相手の方が応答してから、お話しする。
- 4 スイッチをピーと鳴る（約1.5秒）まで押したままにする。
通話が切れます。

電話を受ける

- 1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する。
イヤホンマイク差込口にスイッチ付イヤホンマイクを接続します。
- 2 電話がかかってくると、着信音が鳴る。
- 3 スイッチをピピと鳴る（約1.5秒）まで押したままにする。
- 4 相手の方とお話しする。
- 5 スイッチをピーと鳴る（約1.5秒）まで押したままにする。
通話が切れます。



ワンポイント

- ワンタッチダイヤルに登録するには（P93）
- 着信音は本体のスピーカー口から聞こえます。
- 本体の フック ボタンを押しても電話を受けることができます。
- 本体の 電源 ボタンを押しても通話を切ることができます。



お知らせ

- 3.5φ4極プラグタイプ（CTIA規格）のイヤホンマイクに対応しています。
- 市販のiPhoneまたはAndroidスマートフォン用のイヤホンマイクがご使用できます。
- 両耳タイプ、片耳タイプのいずれもご利用できます。
- 市販のイヤホンマイクによっては、送話音量や受話音量が小さい場合があります。
- スイッチとして使用できるのは着信応答ボタンとなります。

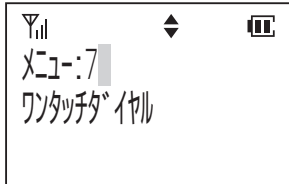
お願い

- イヤホンマイクのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。

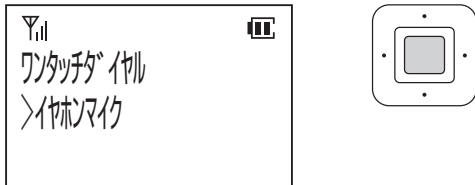
イヤホンマイクスイッチにワンタッチ ダイヤルを登録するには

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチにカタカナ16文字または漢字8文字、ダイヤル24桁まで登録することができます。

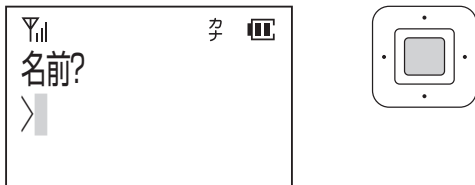
1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**マ PQRS 7** の順に押す。



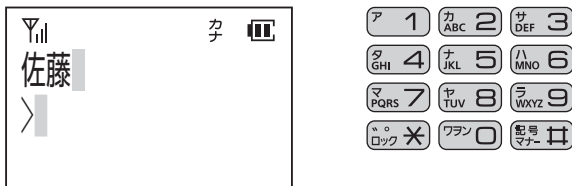
2 決定ボタンを押す。
イヤホンマイクが表示されます。
すでに電話番号が登録されている場合は右側に*が表示されます。



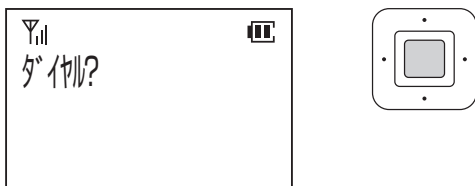
3 決定ボタンを押す。
名前入力画面が表示されます。



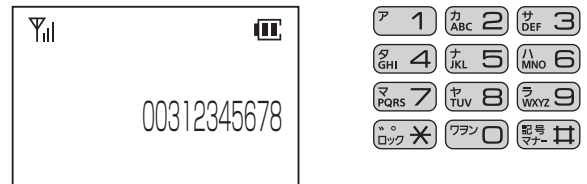
4 登録する相手の名前を入力する。



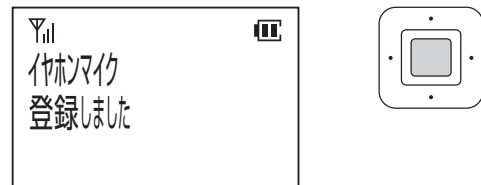
5 決定ボタンを押す。
電話番号入力画面が表示されます。



6 登録する相手の電話番号を入力する。
入力された電話番号が表示されます。



7 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。





ワンポイント

- 文字を入力するには (☛P71)
- 電話番号の入力を間違えたときは、**クリア** ボタンを押してください。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、**クリア** ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 電話番号にポーズを登録するには
 - ① **F** ボタン、**保留** ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁 (1 ~ 9) で入力する。ただし、先頭にポーズを登録することはできません。
 - ② 複数のポーズを続けて登録することができます。
 - ③ ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- 電話番号にリモートダイヤルを登録するには
 - ① **F** ボタン、**保留** ボタンに続けて数字「0」(ポーズ0) を入力します。
 - ② リモートダイヤルの操作は、ワンタッチダイヤルで電話をかけたあと、**フック** ボタンを押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。



▶ PBXなどに接続しているときは
(☛P121)



お知らせ

- 自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、外線発信番号と相手の方の電話番号を登録しておく必要があります。
- 操作中に電話がかかってくると、登録操作は無効になります。

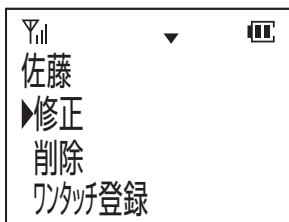
イヤホンマイクスイッチのワンタッチダイヤル に電話帳ダイヤルの電話番号を登録するには

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチに電話帳ダイヤルの電話番号を登録することができます。

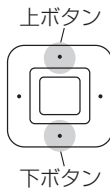
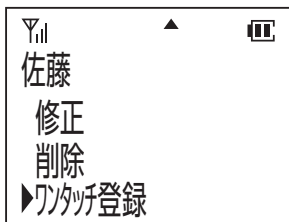
1 目的の電話帳ダイヤルを表示させる。



2 決定ボタンを押す。

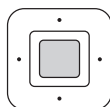
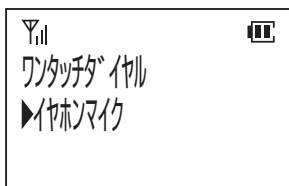


3 上下ボタンで「ワンタッチ登録」を選択する。



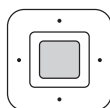
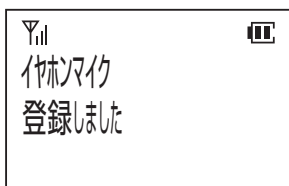
4 決定ボタンを押す。

イヤホンマイクが表示されます。
すでに電話番号が登録されている場合は右側に*が表示されます。



5 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。



ワンポイント

- 電話帳ダイヤルでかけるには (P75)
- すでに電話番号が登録されている場合は「イヤホンマイク 使用中です」と表示され、決定ボタンを押す前の表示に戻ります。
- 電話帳ダイヤルに名前が登録されているときは、名前も登録されます。



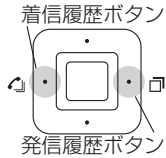
お知らせ

- 自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、電話帳ダイヤルの電話番号に外線発信番号と相手の方の電話番号を登録しておく必要があります。

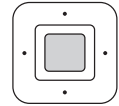
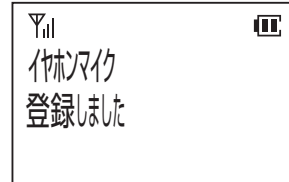
イヤホンマイクスイッチのワンタッチダイヤルに 発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチに発信履歴や着信履歴の電話番号を登録することができます。

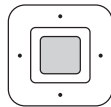
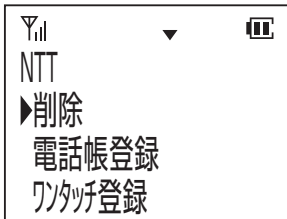
1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押して、登録する発信履歴または着信履歴を選択する。



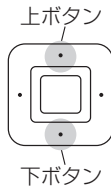
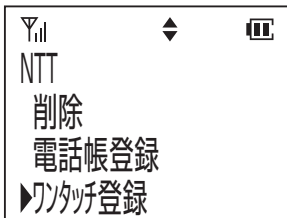
5 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。



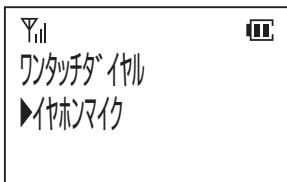
2 決定ボタンを押す。



3 上下ボタンで「ワンタッチ登録」を選択する。



4 決定ボタンを押す。
イヤホンマイクが表示されます。
すでに電話番号が登録されている場合は右側に*が表示されます。



ワンポイント

- すでに電話番号が登録されている場合は「イヤホンマイク 使用中です」と表示され、決定ボタンを押す前の表示に戻ります。
- 電話帳ダイヤルに名前が登録されているときは、名前も登録されます。



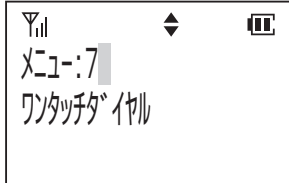
お知らせ

- 自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、発信履歴や着信履歴の電話番号に外線発信番号と相手の方の電話番号が登録されている必要があります。

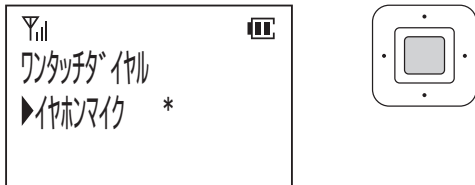
イヤホンマイクスイッチのワンタッチ ダイヤルを修正するには

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチに登録した内容を修正することができます。

1 待ち受け状態で、**メニュー**、**マ P Q R S 7**の順に
押す。



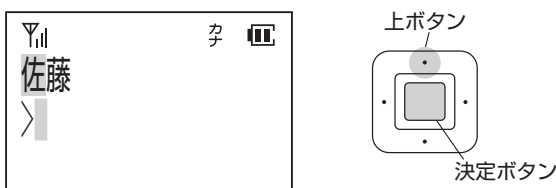
2 決定ボタンを押す。
イヤホンマイクが表示されます。
すでに電話番号が登録されている場合は右
側に*が表示されます。



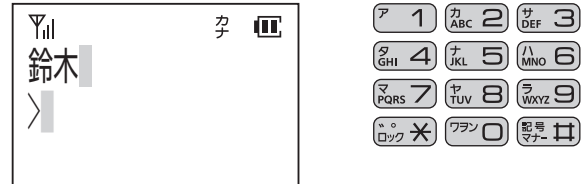
3 決定ボタンを押す。
登録されている名前と電話番号が表示され
ます。
2秒経過後または決定ボタンを押すと表示
が切り替わります。



4 上ボタンで「修正」を選択し、決定ボ
タンを押す。
名前修正画面が表示されます。



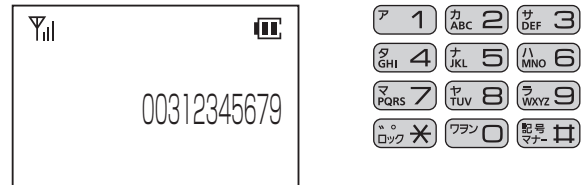
5 名前を修正する。
＜例＞「佐藤」を「鈴木」に修正する場合



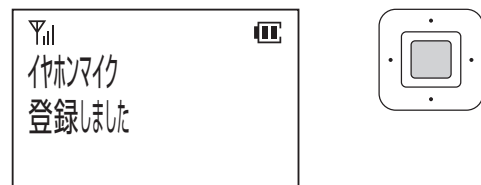
6 決定ボタンを押す。



7 電話番号を修正する。



8 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了
します。



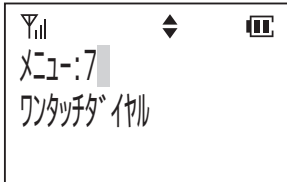
4
より便利に使う

イヤホンマイクスイッチのワンタッチダイヤルを修正するには
イヤホンマイクスイッチのワンタッチダイヤルに発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

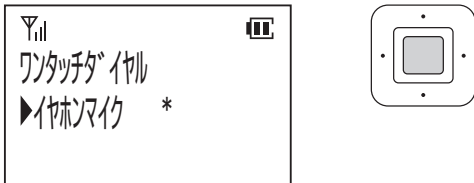
イヤホンマイクスイッチのワンタッチダイヤルを削除するには

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチに登録した内容を削除することができます。

- 1** 待ち受け状態で、**メニュー**、**マ P Q R S 7**の順に押す。



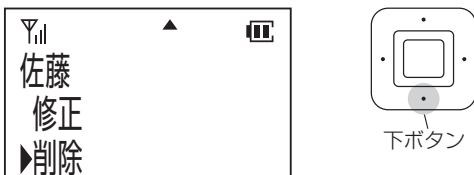
- 2** 決定ボタンを押す。
イヤホンマイクが表示されます。
すでに電話番号が登録されている場合は右側に*が表示されます。



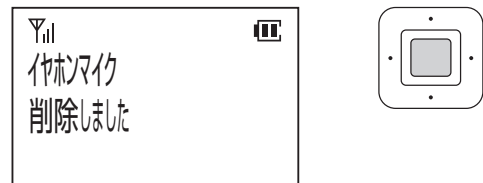
- 3** 決定ボタンを押す。
登録されている名前と電話番号が表示されます。
2秒経過後または決定ボタンを押すと表示が切り替わります。



- 4** 下ボタンで「削除」を選択する。



- 5** 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、削除が完了します。





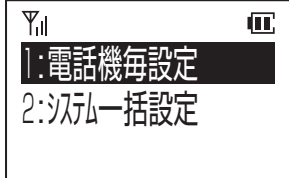
システム一括設定を利用する際は、主装置の設定の変更が必要になります。

主装置メニュー操作

1 **F** ボタンを押す。



2 **メニュー** ボタンを押す。



お知らせ

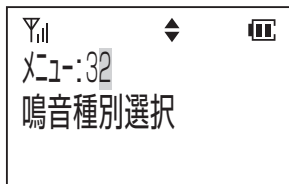
- 主装置メニュー機能利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
- αB1シリーズでは、主装置メニューはご利用できません。

着信の種類ごとに音を変えるには

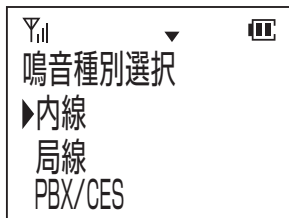
音を変えることのできる着信の種類は、内線着信、局線着信（外線着信）、PBX / CES着信、時計アラーム、トランシーバー着信、ドアホン着信、鳴分1～鳴分7着信です。それぞれの着信の種類に対応する着信音を設定できます。

内線着信の着信音を変更する

- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**サ DEF 3** **カ ABC 2** の順に押す。
「鳴音種別選択」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。

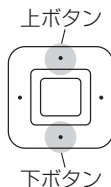
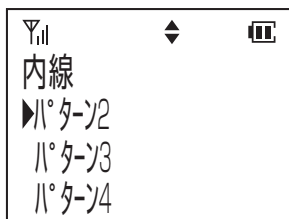


- 3** 設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。

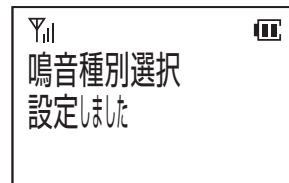
現在設定している着信音が鳴ります。



- 4** 上下ボタンで音の種類を選択する。
上下ボタンを押すたびに選択された着信音が鳴ります。



- 5** 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 選択できる着信音は以下のとおりです。
 - パターン1～10
 - ドアホン1～2
 - メロディ 1：エンターテナー／ジョプリン
 - メロディ 2：四季～春～／ビバルディ
 - メロディ 3：軍隊行進曲／シューベルト
 - メロディ 4：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
 - メロディ 5：故郷の空／スコットランド民謡



お知らせ

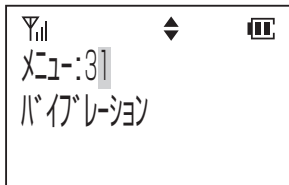
- 鳴分1～鳴分7着信をご利用の場合、回線ボタンごとに着信音を鳴り分けることができます。ご利用については、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 鳴分1～鳴分7着信は、αZX II-L、αZX-Lでのみご利用できます。

着信を振動で知らせるには (バイブレーション着信)

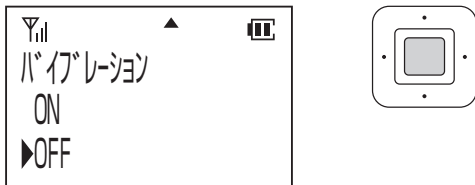
バイブレーション着信を設定すると、着信音量に関係なく着信を振動でお知らせします。また、着信音を鳴らす設定にしているときは、着信音とバイブレーション着信が同時に行われます。

バイブレーション着信を設定する

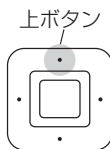
- 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**サ DEF 3** **ア 1** の順に押す。
「バイブレーション」が表示されます。



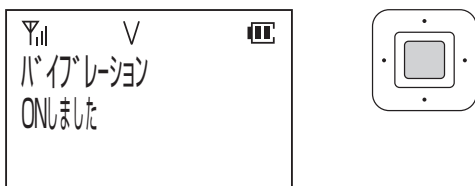
- 決定ボタンを押す。



- 上ボタンで「ON」を選択する。



- 決定ボタンを押す。
バイブレーション着信が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

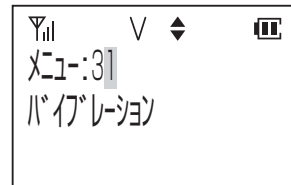


ワンポイント

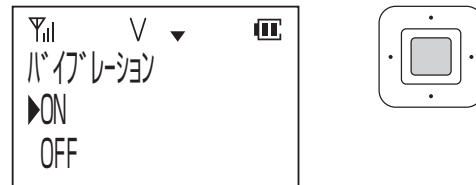
- バイブレーション着信を設定すると「V」ピクトが点灯します。
- 着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
- マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。(P102)

バイブレーション着信を解除する

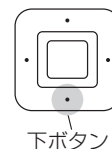
- 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**サ DEF 3** **ア 1** の順に押す。
「バイブレーション」が表示されます。



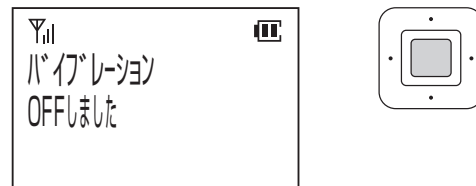
- 決定ボタンを押す。



- 下ボタンで「OFF」を選択する。



- 決定ボタンを押す。
バイブレーション着信が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- 充電中はバイブレーションになりません。このとき充電台から取りあげても、バイブレーションとはなりません。

マナーモードを設定するには

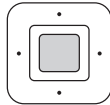
周囲の迷惑にならないように、あらかじめ着信音、確認／警告音、バイブレーションのON / OFFなどのマナーモードの機能をそれぞれ設定しておくことができます。マナーボタンを押すと、設定した内容に一時的に変更できます。

マナーモードの機能を設定する

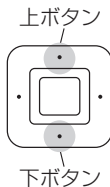
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**1** **4** の順に押す。
「マナー設定」が表示されます。



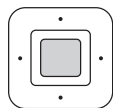
- 2** 決定ボタンを押す。



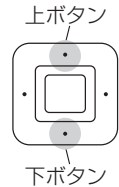
- 3** 上下ボタンで着信音の「ON / OFF / オートオフ」を選択する。



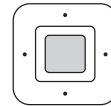
- 4** 決定ボタンを押す。



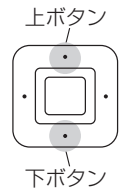
- 5** 上下ボタンで確認／警告音の「ON / OFF」を選択する。



- 6** 決定ボタンを押す。

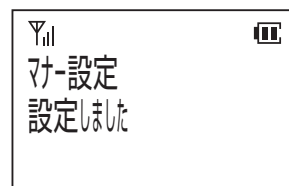


- 7** 上下ボタンでバイブレーションの「ON / OFF」を選択する。



- 8** 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- マナーモードの設定は、電源を切っても保持されます。
- 着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに、マナー設定の着信音をONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
- 着信音をオートオフに設定すると、着信音が約30秒間鳴ったあとに停止します。そのあと、新たな着信（優先度の高い着信）があると、再び着信音が約30秒間鳴ります。



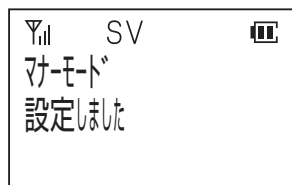
お知らせ

- 充電中はバイブレーションになりません。

マナーモードを設定する

- 1 待ち受け状態で、 ボタンを1秒以上押す。

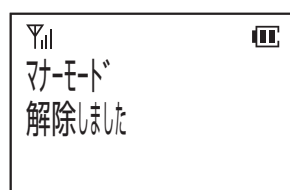
マナーモードに設定されます。
待ち受け状態に戻ります。



マナーモードを解除する

- 1 マナーモード状態で、 ボタンを1秒以上押す。

マナーモードが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- マナーモードを設定すると、待ち受け状態で **マナー** が表示されます。
- マナーモードを設定すると、マナーモードの機能の設定に従って「S」「V」ピクトが点灯します。




お知らせ

- キーロック中はマナーモードの設定操作および解除操作は無効となります。
- マナーモードを設定したときの確認音はマナーモードの機能の設定に従います。

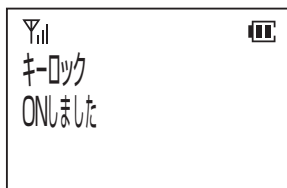
誤操作を防止するには (キーロック)

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。

キーロックを設定する

1 待ち受け状態で、 ボタンを1秒以上押す。

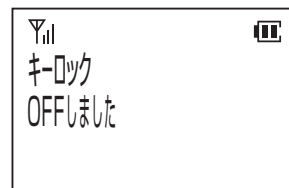
キーロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。





キーロックを解除する

1 キーロック状態で、 ボタンを1秒以上秒押す。

キーロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- キーロックの設定は電源を切っても保持されます。
- 電話がかかってきたときに、 ボタンを1秒以上押すと電話を受けることができ、通話中は一時解除されます。通話を切ると再びキーロックが設定されます。
- エニーキー応答設定がONのときも、キーロックが優先されます。
- 通話中にはキーロックの設定操作、解除操作はできません。
- キーロック中であっても時刻のアラーム鳴音停止、着信中の鳴音停止(クイックサイレント)を  ボタンを押して行うことができます。



お知らせ

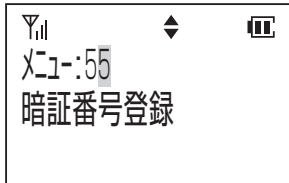
- キーロック中にボタンを押すと、液晶ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。このとき、液晶バックライト、ダイヤルライトは点灯しません。

暗証番号を登録／変更するには

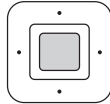
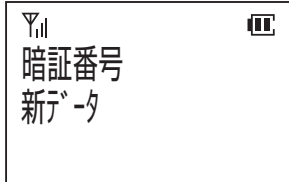
暗証番号（4桁）は、ダイヤルロックや電話帳ロックを設定したり解除したりするために必要です。暗証番号は4桁の数字を使って登録します。

暗証番号を新規に登録する

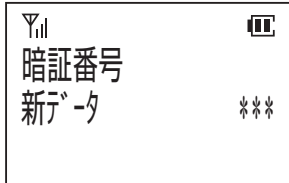
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **ナ** **5** の順に押す。
「暗証番号登録」が表示されます。



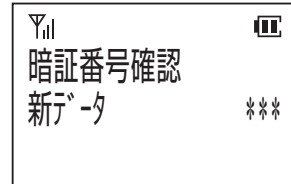
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 暗証番号4桁を入力する。



- 4** 暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。



暗証番号が登録されます。



「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

暗証番号を登録／変更するには
誤操作を防止するには



ワンポイント

- 登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違えて入力すると「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。



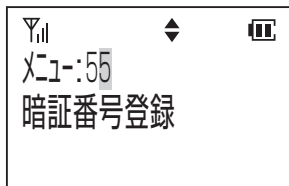
お知らせ

- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときには必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。
- 登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
- 入力した番号は「*」で表示されます。

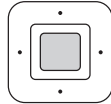
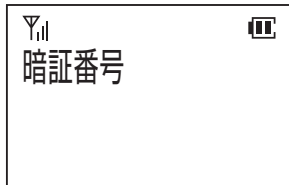
暗証番号を登録／変更するには

暗証番号を変更する

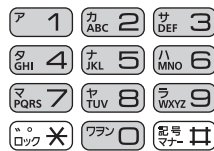
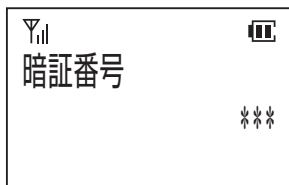
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **ナ** **5** の順に押す。
「暗証番号登録」が表示されます。



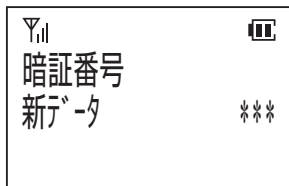
- 2** 決定ボタンを押す。



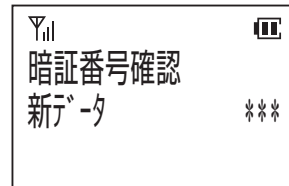
- 3** 登録済みの暗証番号4桁（0000～9999）を入力する。



- 4** 新しい暗証番号4桁を入力する。



- 5** 新しい暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。



暗証番号が変更されます。



「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違えて入力すると「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。



お知らせ

- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときには必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。
- 登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
- 入力した番号は「*」で表示されます。

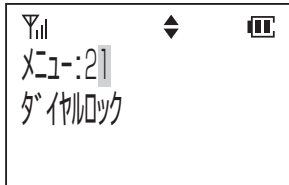
電話をかけられないようにするには (ダイヤルロック)

登録した暗証番号を入力してダイヤルロックを設定することができます。ダイヤルロックを設定すると、自営モード、トランシーバーモードの各モードでは電話をかけることができません。

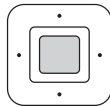
また、電話を受けること、電源のON / OFFは行えますが、キーロック以外の登録操作は行えません。

ダイヤルロックの設定

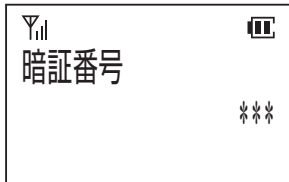
- 1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**カ ABC 2** **ア 1** の順に押す。
「ダイヤルロック」が表示されます。



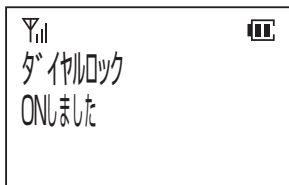
- 2 決定ボタンを押す。



- 3 暗証番号4桁を入力する。

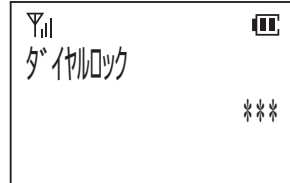


ダイヤルロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



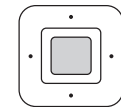
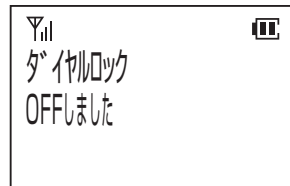
ダイヤルロックの解除

- 1 暗証番号4桁を入力する。



- 2 決定ボタンを押す。

ダイヤルロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 暗証番号が登録されていないときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。<暗証番号を新規に登録する> (P105)
- ダイヤルロックの設定 / 解除を途中でやめたいときは、**電源** ボタンを押してください。



お知らせ

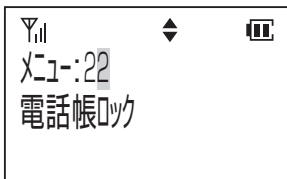
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、液晶ディスプレイに「ダイヤルロック」と表示され「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。
- キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除したあとでダイヤルロックを解除してください。
- ダイヤルロック解除の操作の途中で6秒以上ボタンを押さないと、液晶ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

電話帳ダイヤルを開けないようにするには (電話帳ロック)

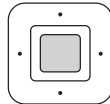
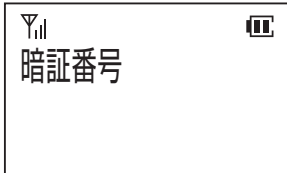
登録した暗証番号を入力して電話帳ロックを設定することができます。
電話帳ロックを設定すると、電話帳ダイヤルを開くことができません。
電話をかけたり受けたりすることや、電源のON / OFFは行えます。

電話帳ロックを設定する

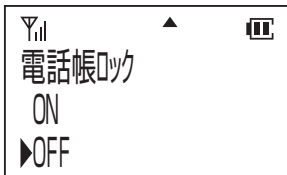
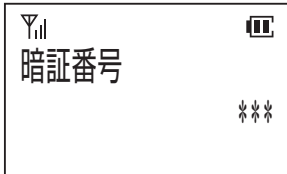
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**カ ABC 2** **カ ABC 2** の順に押す。
「電話帳ロック」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。

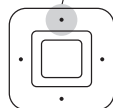


- 3** 暗証番号4桁を入力する。

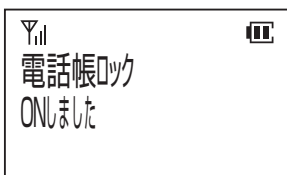


- 4** 上ボタンで「ON」を選択する。

上ボタン

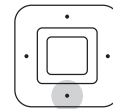


- 5** 決定ボタンを押す。
電話帳ロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



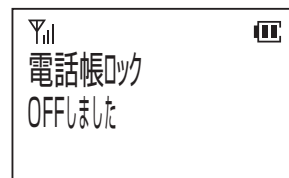
電話帳ロックを解除する

- 4** 下ボタンで「OFF」を選択する。



下ボタン

- 5** 決定ボタンを押す。
電話帳ロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 電話帳ロックの設定解除を途中でやめたいときは、**電源** ボタンを押します。



お知らせ

- 電話帳ロック中に電話帳ボタンを押すと、液晶ディスプレイに「電話帳ロック」と表示されます。
- 電話帳ロックの設定は、電源を切っても保持されます。
- キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除したあとで電話帳ロックを解除してください。
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

アラーム時刻を設定するには

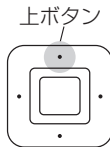
アラーム時刻を設定して、一度だけアラームを鳴らしたり、毎日同じ時刻にアラームを鳴らすことができます。アラームは設定した着信音と着信音量で1分間鳴ります。

アラームを設定する

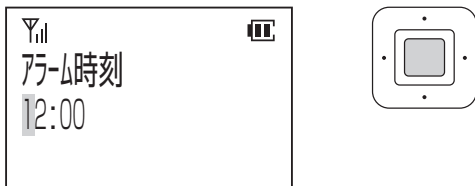
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ア 1** **ア 1**、決定ボタンの順に押す。「時計アラーム設定」の設定画面が表示されます。



- 2** 上ボタンで「ON」を選択する。



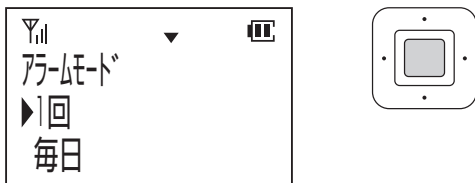
- 3** 決定ボタンを押す。「アラーム時刻」が表示されます。



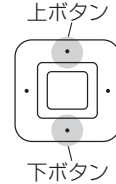
- 4** アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する。



- 5** 決定ボタンを押す。「アラームモード」が表示されます。



- 6** 上下ボタンで「1回/毎日」を選択する。

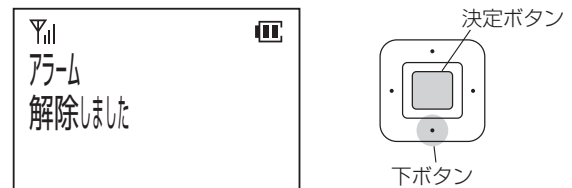


- 7** 決定ボタンを押す。アラームが設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



アラームを解除する

- 2** 下ボタンで「OFF」を選択して、決定ボタンを押す。アラームが解除されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- アラームが設定されているときは「A」ピクトが点灯します。
- アラーム鳴音はマナーモード時はマナー設定に従います。
- アラーム鳴音を停止するときは**電源** ボタンを押します。キーロック中でも**電源** ボタンを押すと、アラーム鳴音は停止します。
- アラーム時刻の設定は、電源を切っても保持されます。

電池使用期間を確認するには

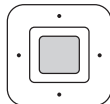
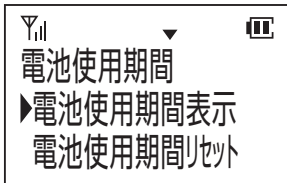
電池パックの交換時に使用開始日を設定することにより、電池パックの使用日数を確認することができます。

使用開始日を設定する

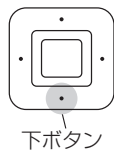
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**1** **9** の順に押す。
「電池使用期間」が表示されます。



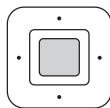
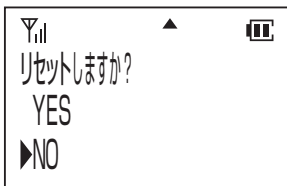
- 2** 決定ボタンを押す。



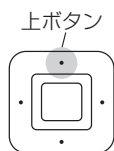
- 3** 下ボタンで「電池使用期間リセット」を選択する。



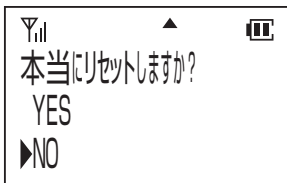
- 4** 決定ボタンを押す。



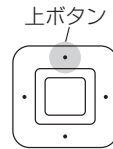
- 5** 上ボタンで「YES」を選択する。



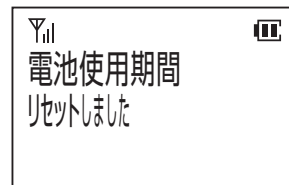
- 6** 決定ボタンを押す。



- 7** 上ボタンで「YES」を選択する。



- 8** 決定ボタンを押す。
現在の年月日が使用開始日に設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

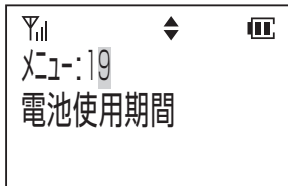
- 本商品をはじめてお使いのときは、「電池使用期間リセット」を行わなくても最初の時刻設定時に設定された年月日が自動的に使用開始日に設定されます。
- 手順5、手順7で「NO」を選択した場合は、使用開始日の設定は中止され、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

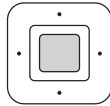
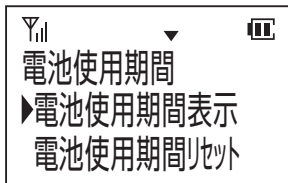
- 電池パックを交換したときは、必ず時刻の設定(●P35)を行ってから使用開始日の設定を行ってください。
- 電池パックを交換したときに、時刻の設定を行わずに使用開始日の設定を行ったときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り「時刻設定後リセットしてください」と表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。
- 使用開始日は、電源を切っても保持されます。

電池使用期間を表示する

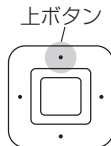
- 1** 待ち受け状態で、**[メニュー]** ボタン、**[1]** **[WXYZ9]** の順に押す。
「電池使用期間」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 上ボタンで「電池使用期間表示」を選択する。

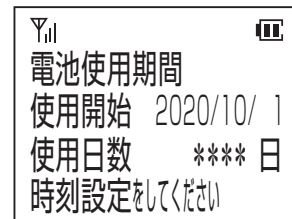


- 4** 決定ボタンを押す。
電池パックの使用開始日と使用日数が表示されます。約2秒後に待ち受け状態に戻ります。



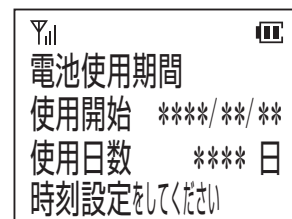
ワンポイント

- 使用日数の表示は最大9999日となります。また、1日未満の場合は0日となります。
- 電池パック抜き差し後に時刻設定が行われていない場合は、使用日数は「****日」と表示されます。



この場合は、時刻の設定(●P35)を行ってください。



また、使用開始日の設定が行われていない場合は、使用開始は「****/**/**」と表示されます。






この場合は、時刻の設定(●P35)と使用開始日の設定(●P110)を行ってください。

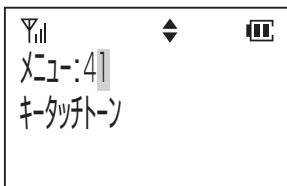
いろいろな機能を設定するには

ご使用方法にあわせて、デジタルシステムコードレス電話機のいろいろな機能を設定することができます。

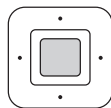
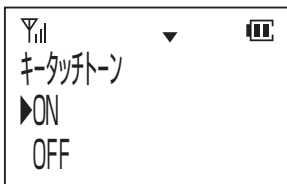
- 決定ボタンを押したときに表示されるメニュー項目は「設定できる機能の一覧」(P122)でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは  ボタンを押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。  ボタンを押すと前の画面に戻ることができます。
- 登録操作中に電話がかかってくると登録は無効となり、着信音が鳴ります。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。

操作するときの音を消す (キータッチトーン)

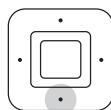
- 1** 待ち受け状態で、 ボタン、  の順に押す。
「キータッチトーン」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。
「キータッチトーンON / OFF」が表示されます。

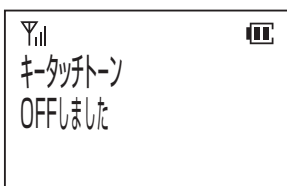


- 3** 下ボタンでキータッチトーンの「OFF」を選択する。



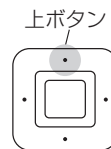
下ボタン

- 4** 決定ボタンを押す。
キータッチトーンがOFFに設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



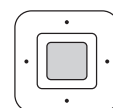
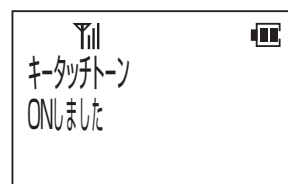
操作するときの音を出す (キータッチトーン)

- 3** 上ボタンでキータッチトーンの「ON」を選択する。



上ボタン

- 4** 決定ボタンを押す。
キータッチトーンがONに設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

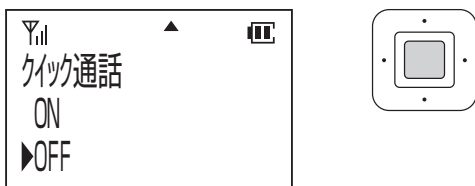


クイック通話を設定する

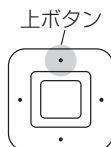
- 1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **カ** **2** の順に押す。
「クイック通話」が表示されます。



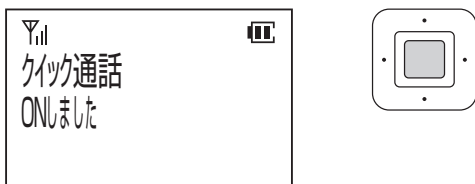
- 2 決定ボタンを押す。
「クイック通話ON / OFF」が表示されます。



- 3 上ボタンで「ON」を選択する。

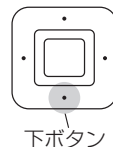


- 4 決定ボタンを押す。
クイック通話が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

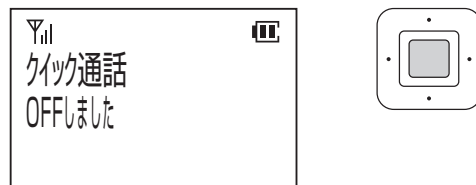


クイック通話を解除する

- 3 下ボタンで「OFF」を選択する。



- 4 決定ボタンを押す。
クイック通話が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- クイック通話を設定すると、電話をかけるとき、受けるとき、切るときの操作が次のようになります。
 - ・待ち受け中に充電台から取りあげるだけで発信状態になります。
 - ・電話がかかってきたときは、充電台から取りあげたあとそのまま相手の方と通話できます。
 - ・通話が終わったらそのままデジタルシステムコードレス電話機を充電台に戻すと、自動的に通話が切れます。

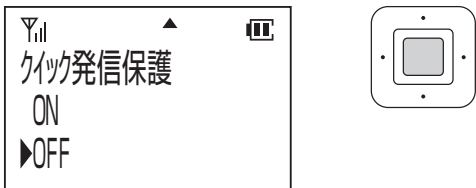
いろいろな機能を設定するには

クイック発信保護を設定する

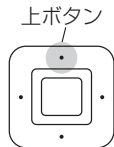
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**5** の順に押す。
「クイック発信保護」が表示されます。



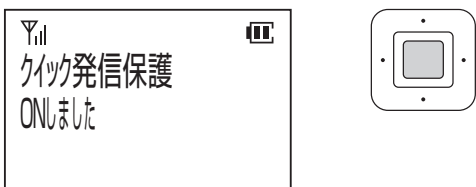
- 2** **決定ボタン**を押す。
「クイック発信保護ON / OFF」が表示されます。



- 3** **上ボタン**で「ON」を選択する。

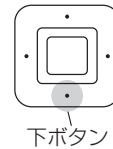


- 4** **決定ボタン**を押す。
クイック発信保護が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

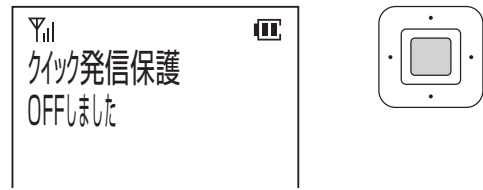


クイック発信保護を解除する

- 3** **下ボタン**で「OFF」を選択する。



- 4** **決定ボタン**を押す。
クイック発信保護が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



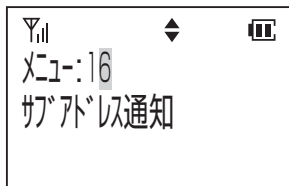
ワンポイント

- クイック発信保護をONにすると、デジタルシステムコードレス電話機を充電台から取りあげたときにクイック通話による自動発信が行われた場合、その後約30秒間ボタンを押さないと自動的に回線が切れます。

いろいろな機能を設定するには

サブアドレス通知を設定する

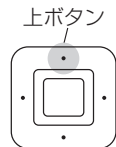
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ア 1** **MNO 6** の順に押す。
「サブアドレス通知」が表示されます。



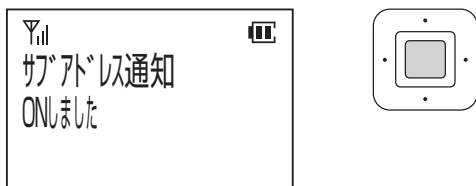
- 2** **決定ボタン**を押す。
「サブアドレス通知ON / OFF」が表示されます。



- 3** **上ボタン**で「ON」を選択する。

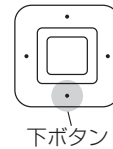


- 4** **決定ボタン**を押す。
サブアドレス通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

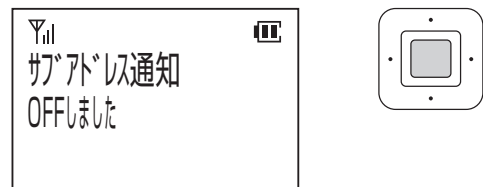


サブアドレス通知を解除する

- 3** **下ボタン**で「OFF」を選択する。



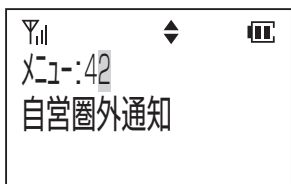
- 4** **決定ボタン**を押す。
サブアドレス通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



●内線電話機としてお使いのときは、OFFに設定してください。

自営圏外通知を設定する

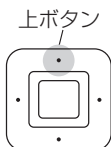
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**タ** **カ** の順に押す。
「自営圏外通知」が表示されます。



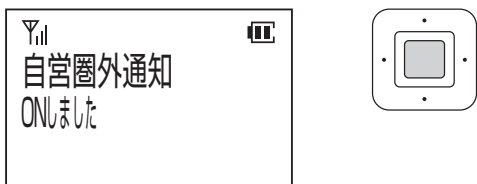
- 2** 決定ボタンを押す。
「自営圏外通知ON / OFF」が表示されます。



- 3** 上ボタンで「ON」を選択する。

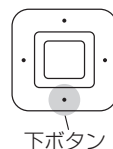


- 4** 決定ボタンを押す。
自営圏外通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

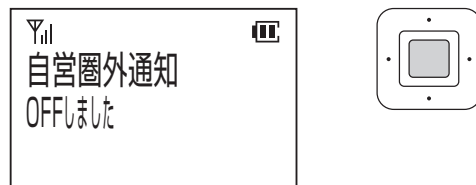


自営圏外通知を解除する

- 3** 下ボタンで「OFF」を選択する。



- 4** 決定ボタンを押す。
自営圏外通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



4
より便利に使う

いろいろな機能を設定するには



ワンポイント

- 自営圏外通知を設定すると、自営モードで圏外へ移動した場合に「ピー…ピー…ピー…」という音で通知します。

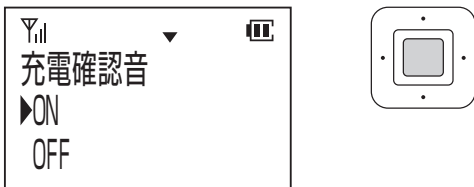
いろいろな機能を設定するには

充電確認音を設定する

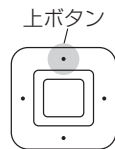
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**GH1 4** **DEF 3** の順に押す。
「充電確認音」が表示されます。



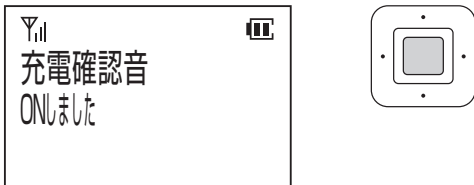
- 2** 決定ボタンを押す。
「充電確認音ON / OFF」が表示されます。



- 3** 上ボタンで「ON」を選択する。

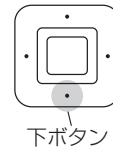


- 4** 決定ボタンを押す。
充電確認音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

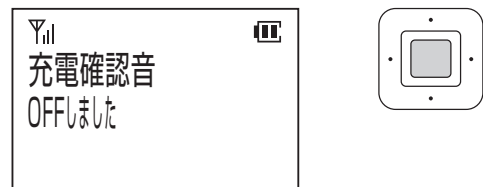


充電確認音を解除する

- 3** 下ボタンで「OFF」を選択する。



- 4** 決定ボタンを押す。
充電確認音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

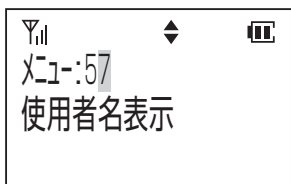


ワンポイント

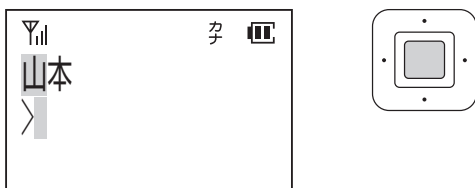
- 充電確認音は、デジタルシステムコードレス電話機が充電台に正しく置かれたことをお知らせするものです。

使用者名を登録する

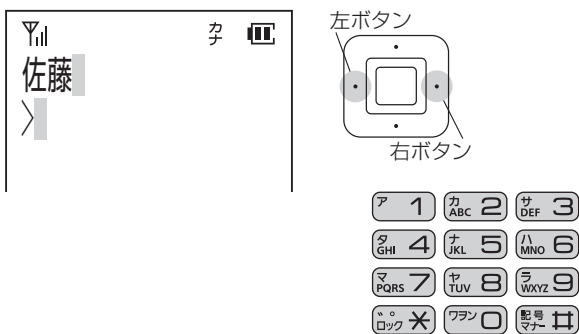
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**ナ** **5** **マ** **7** の順に押す。
「使用者名表示」が表示されます。



- 2** 決定ボタンを押す。
現在登録されている名称が上段に表示されます。



- 3** 左右ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力する。



- 4** 決定ボタンを押す。
使用者名が登録されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 使用者名を登録すると、待ち受け状態のとき、液晶ディスプレイに使用者名が表示されます。
- 文字を入力するには (P71)



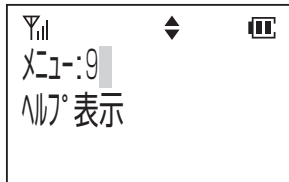
お知らせ

- 自営モードのときは接続されている主装置の表示機能が優先されます。

操作が分からないときは (ヘルプ表示)

操作が分からないときや、使いかたを忘れたときにご利用ください。ヘルプを表示していろいろな機能を設定できます。

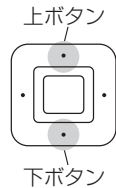
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**WXYZ** の順に押す。
「ヘルプ表示」が表示されます。



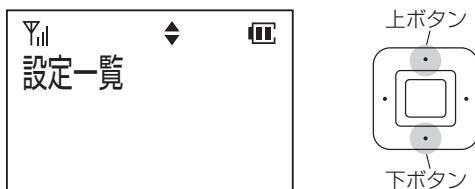
- 2** 決定ボタンを押す。



- 3** 上下ボタンでヘルプ表示を切り替える。



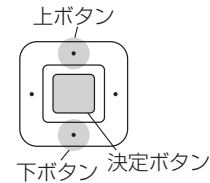
- 4** 設定一覧を見たいときは上下ボタンで「設定一覧」を選択する。



- 5** 決定ボタンを押す。



- 6** 上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す。
選択した設定の操作ができます。



この取扱説明書で説明している操作方法に関して、共通して役に立つ便利な操作や操作上の注意点などをまとめています。アイコンを目印にして、本文中から簡単に参照できるようになっています。

電話をかける／受ける



通 話

クイック通話が設定されているときは？

- デジタルシステムコードレス電話機を充電台から取りあげると、内線の発信ができます。また、液晶ディスプレイには「内線」と表示されます。



- スピーカー受話中に充電台に戻すと、通話は切れます。

PBXなどに接続しているときは？

- 外線発信番号と相手の方の電話番号を押して電話をかけます。

主装置で「プリセクションサービス」のご利用の設定をされているときは？

- 外線ボタンを押したあとに、 ボタンを押します。
- αB1 (主装置内蔵電話機) では、プリセクションサービスはご利用できません。



表 示

液晶ディスプレイに表示される通話時間は？

- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。

設定できる機能の一覧

登録操作は **メニュー** ボタンを押し、メニュー番号を入力して行います。また、**メニュー** ボタンを押しただと、上下ボタンで目的のメニューを表示することもできます。

表示	メニュー番号	機能の説明	初期値	参照ページ
自番号表示	0	内線番号の確認をします	—	☛P33
時計アラーム設定	11	アラーム時刻を設定します	—	☛P109
システム選択	12	システムを手動で切り替えます	—	☛P42
モード切替	13	動作モードを切り替えます	自営	☛P32
マナー設定	14	マナーモード時の動作を設定します	(注1)	☛P102
サブアドレス通知	16	サブアドレス通知を設定／解除します	OFF	☛P116
トランシーバグループ登録(注2)	17	トランシーバグループを登録します	—	☛P69
不在着信表示	18	「不在」表示する／しないを設定します	ON	☛P89
電池使用期間	19	電池パックの使用日数の確認をします	—	☛P110
ダイヤルロック	21	ダイヤルロックを設定／解除します	OFF	☛P107
電話帳ロック	22	電話帳ロックを設定／解除します	OFF	☛P108
電話帳全消去	23	電話帳ダイヤルの登録データをすべて消去します	—	☛P81
バイブレーション	31	バイブレーション着信を設定／解除します	OFF	☛P101
鳴音種別選択	32	着信音のパターンを切り替えます	—	☛P100
話中着信音	35	自営モードで通話中の着信音を設定／解除します	ON	☛P64
着信音量	36	着信音量の設定をします	—	☛P39
受話音量	37	通話中の受話音量を設定します	—	☛P36
スピーカ音量	38	スピーカ受話の音量を設定します	—	☛P38
キータッチトーン	41	キータッチトーンを設定／解除します	ON	☛P112
自営圏外通知	42	自営圏外通知を設定／解除します	OFF	☛P117
充電確認音	43	充電確認音を設定／解除します	ON	☛P118
時刻設定	51	時刻を設定します	—	☛P35
クイック通話	52	クイック通話を設定／解除します	OFF	☛P113
クイック発信保護	53	クイック発信保護を設定／解除します	OFF	☛P114
エニーキー応答	54	エニーキー応答を設定／解除します	OFF	☛P115
暗証番号登録	55	暗証番号を登録します	—	☛P105
トランシーバ番号	56	トランシーバ番号を設定します	—	☛P66
使用者名表示	57	使用者名を設定します	—	☛P119
電話帳グループ名	58	電話帳グループ名を設定します	—	☛P82
液晶バックライト	59	省電力のために液晶バックライト点灯を設定／解除します	ON	☛P25
ワンタッチダイヤル	7	ワンタッチダイヤルを登録／修正／削除します	—	☛P93
電話帳登録／編集	81	電話帳ダイヤルの登録編集をします	—	☛P73
電話帳検索	82	電話帳ダイヤルの検索をします	—	☛P75
発信履歴	83	発信履歴の検索／削除をします	—	☛P86
着信履歴	84	着信履歴の検索／削除をします	—	☛P89
ヘルプ表示	9	ヘルプを表示します	—	☛P120

(注1) 着信音 OFF 確認／警告音 OFF バイブレーション ON

(注2) 「トランシーバグループ登録」はトランシーバモード時のみ表示されます。

電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。デジタルシステムコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、1年程度ご使用になれます。ただし、以下のような場合は、電池パックが消耗しており寿命が近づいている可能性があります。新しい電池パック（カナ品名『ZX-DCL-デンチパック-<1>』）に交換してください。

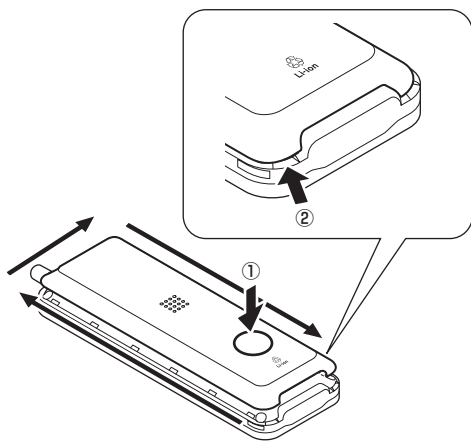
- ・長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる。
- ・電池が膨れる。

なお、ご購入についてはサプライセンタ ☎0120-868289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

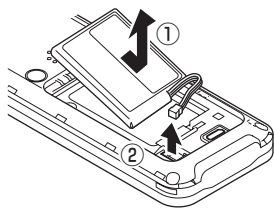
■電池パックを交換する

1 電源が入っているときは、電源ボタンを2秒以上押す。
電源が切れます。

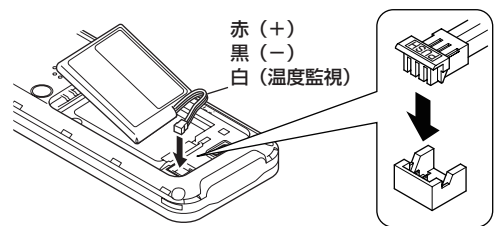
2 電池カバーを取り外す。
電池カバーの図示部を押し(①)、凹部に爪をかけ(②)、電池カバーと本体の間にすき間を作ります。
凹部のすき間から本体の外周(下図矢印方向)に沿って、指で少しずつ電池カバーを浮かせるようにして取り外します。
反対側の凹部からも同様の手順で取り外せます。



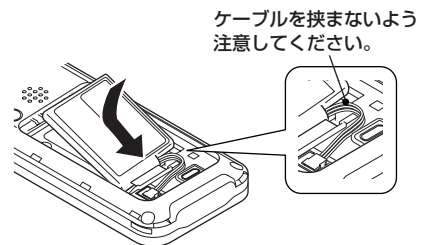
3 電池パックを取り出し(①)、コネクタを外す(②)。



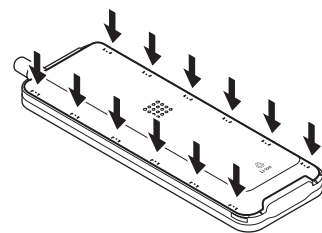
4 新しい電池パックのコネクタを差し込む。



5 下部のクッションに押し当てながら、電池パックを電話機にセットする。
バッテリーケーブルを溝に押し込んでください。



6 電池カバーを取り付ける。
電池カバーを上下の向きに注意して本体と並行になるように合わせ、本体と電池カバーの間にすき間ができないように、「パチッ」という音がするまで矢印部を上から押さえます。(12カ所全て) バッテリーケーブルをケースに挟まないように取り付けてください。



7 充電台に置き、7.5時間以上充電する。

⚠ 危険

● 電池パックについて

電池パックの取扱いは、次の点にご注意ください。

- 必ず専用のものでお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解、加熱しないでください。
- 水、雨水、海水、薬品等につけたり、ぬらさないでください。
- 充電には、専用の充電台をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

STOP お願い

- 電池カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。
- 電池カバーの浮きがないよう、本体と電池カバーの間にすき間がないことを確認してください。
- 電池カバー周辺（特にゴムパッキン）に細かいゴミ（微細な繊維、砂、毛髪など）が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。5℃～35℃以外のときは正しく充電できないことがあります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。なお、電池パックが膨れるのはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

● お知らせ

- 電池パックを本電話機から取り外すときは、電池パック本体を外し、電池コードを3本同時に持ってコードと直角方向に引き抜きます。
- 電池を取り付けるときは、電池パックのコネクターを本体のコネクターにあわせたあと、PUSHの場所を押して取り付けてください。ケーブルを持って強く差し込まないでください。
- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電池パックを交換したときは、必ず時刻の設定(☛P35)を行ってから使用開始日の設定(☛P110)を行ってください。

■ 電池パック回収のお願い



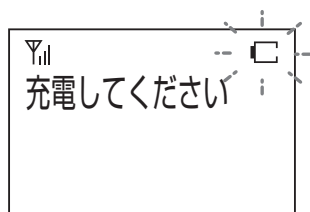
電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

電池の残量がなくなったときは

電池の残量がなくなったときは、デジタルシステムコードレス電話機を充電してください。

1 電池がなくなると「ピ…ピ…ピ……」という警報音が鳴り、液晶ディスプレイの□マークが点滅する。

通話中の場合は、すみやかに通話を終わらせてデジタルシステムコードレス電話機を充電してください。



電池の残量がなくなったときは電池パックの取り扱い



ワンポイント

- 通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約1分で電話が切れてしまいますのでご注意ください（電池パックの状態や周囲の温度などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります）（電池が消耗しているときは、通話が切れたあと、警告音が鳴る場合もあります）。
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、液晶ディスプレイの□マークでまだ残っているように見えても、電池切れの警報音が鳴ることがあります。
- 電話機の充電を行い、一定の電圧に達した場合に「充電してください」表示は消えます。

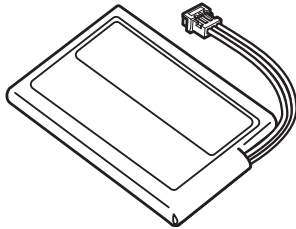
オプションおよび市販品をご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

オプション

■電池パック (ZX-DCL-デンチパック-<1>)

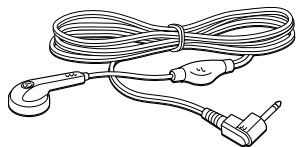
デジタルシステムコードレス電話機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。



市販品

■イヤホンマイク

市販のイヤホンマイクをデジタルシステムコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続すると、両手を自由に使いながら通話ができます。



STOP お願い

- イヤホンマイクのプラグは、通話中に抜き差ししないください。また、あらかじめイヤホンマイク差込口の奥まで挿してください。中途半端に挿した状態になると、通話が切れたり、通話相手に大きな音やハウリング音が出たりすることがあります。

お知らせ

- 3.5φ 4極プラグタイプ (CTIA規格) のイヤホンマイクに対応しています。
- 市販のiPhoneまたはAndroidスマートフォン用のイヤホンマイクがご使用できます。
- 両耳タイプ、片耳タイプのいずれもご利用できます。
- 市販のイヤホンマイクによっては、送話音量や受話音量が小さい場合があります。
- スイッチとして使用できるのは着信応答ボタンとなります。
- 製品出荷時は、イヤホンマイク差込口に防塵キャップが装着されています。外してご利用ください。外した防塵キャップは無くさないようにしてください。

デジタルシステムコードレス電話機と他の内線標準電話機との違い(自営モードのとき)

$\alpha ZX II$ / αZX / $\alpha A1$ / $\alpha N1$ / $\alpha B1$ の各シリーズでは、デジタルシステムコードレス接続装置を使うことで、デジタルシステムコードレス電話機を内線電話機として使用できます。この場合、主装置のほとんどの機能はデジタルシステムコードレス電話機で利用できますが、一部お使いになれない機能もあります。

■ 制限される機能

スピーカーを利用した以下の機能は使えません。

- 音声によりデジタルシステムコードレス電話機を呼び出す機能（音声呼出、ハンズフリー通話、一斉放送など）
- 簡易自動再発信
- 着信を保留音などで知らせる機能

以下の主装置の設定は無効になります。

- 長周期鳴動

以下の機能はデジタルシステムコードレス電話機の機能が優先されるため、主装置の設定は無効になります。

- キータッチトーン

■ 確認音について

主装置の種類やサービス機能により、確認音がスピーカー口から聞こえる場合や、受話口から聞こえる場合があります。

■ 液晶ディスプレイ表示

- 主装置で内線番号、名前表示機能が設定されている場合、デジタルシステムコードレス電話機の使用人名表示は表示されません。
- 最大20桁表示が可能ですが、接続装置の種類または、接続されている主装置の種類によっては、10桁、12桁または16桁分の表示のみとなります。

デジタルシステムコードレス電話機と他の内線標準電話機との違い
オプションおよび市販品をご利用になるには

● お知らせ

- 他の内線標準電話機とは、液晶ディスプレイ付き24回線タイプの標準電話機などのことです。
- 着信音音色切替は、 $\alpha ZX II-L$ 、 $\alpha ZX-L$ でのみご利用できます。

通話できる範囲から外れたときは（圏外）

デジタルシステムコードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは、通話できる範囲まで移動してください。

■待ち受け中や電話をかけようとしたとき

お話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの▽が消えます。▽_{ll}が表示される場所まで移動して、おかけ直してください。（☛P34）ただし、トランシーバーモードでの待ち受け中は、液晶ディスプレイの▽は表示されません。

<自営モード>

あらかじめ、デジタルシステムコードレス電話機で電話をかけて、デジタルシステムコードレス接続装置からの電波の弱い場所を確認しておくことをお勧めします。なるべく電波の強い場所でご使用ください。

<トランシーバーモード>

トランシーバー通話の相手の方が見通し距離約100 m以内か確認してください。



ワンポイント

●圏外でないのに「ツー…ツー」という音が聞こえるのは

- 他のコードレス電話機がデジタルシステムコードレス接続装置のチャンネルをすべて使っていて、空いているチャンネルがないときには液晶ディスプレイに「混み合っています」と表示され「ツー…ツー」という音が聞こえます。しばらく待ってから、おかけ直してください。
- 電波が強い場所でもデジタルシステムコードレス接続装置などに登録動作を自動的に行っているときは、ボタンやダイヤルボタンを押しても受け付けられない場合があります。しばらく待ってから、おかけ直してください。

■お話し中のとき

お話しできる範囲から外れると「ピー…ピー…ピー」という警報音が鳴ります。または、相手の声が聞こえなくなります。警報音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。（☛P34）ただし、トランシーバー通話のときは、警報音は鳴りません。

<自営モード>

デジタルシステムコードレス接続装置に近づいて、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

<トランシーバーモード>

トランシーバー通話の相手の方に近づいてください。




お知らせ

- お話し中に圏外になったときは、警報音が鳴ったあと、電話が切れますのでご注意ください。
- 自営モードのときの圏外を知らせる警報音は、あらかじめ設定しておく必要があります。（☛P117）
- コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の環境によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 警報音が鳴っているときは、お話しすることができません。

こんな音がしたら

デジタルシステムコードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口から聞こえる音

音	デジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ツーツー… (内線発信音)	自営モードまたはトランシーバーモードで充電台から取りあげるか、  ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せませす
ツー (外線発信音)	自営モードで外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
ブルブルブル…ブルブルブル (呼出音)	外線または内線で相手を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています (自営モードとトランシーバーモードとでは音が少し違います)
プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機や他のデジタルシステムコードレス電話機などがお話し中のとき	お話し中です
ツー…ツー… (空きチャンネルがないとき)	デジタルシステムコードレス接続装置の空きチャンネルがないとき	他のデジタルシステムコードレス電話機がデジタルシステムコードレス接続装置のすべてのチャンネルを使っています
プププ… (ゾーン切替音)	デジタルシステムコードレス接続装置間を移動しているとき、または接続装置の切り替えを行っているとき	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください
プー (約1秒間) (通話休止予告音)	トランシーバーモードでお話し中のとき (約3分ごとに約3秒間聞こえます)	この音が聞こえた約20秒後に、約3秒間通話がとぎれます
プブ、プブ… (約3秒間) (通話休止中音)	トランシーバーモードでお話し中のとき (約3分ごとに聞こえます)	約3秒間通話がとぎれます
ツツツツツ… (接続中音)	電話をかけたとき	相手の方を呼び出すまでの間、聞こえます

●スピーカー口から聞こえる音

音	デジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ピー…ピー…ピー (圏外警報音)	待ち受け中にお話しできる範囲から外れたとき	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください
ピ…ピ…ピ… (電池残量警報音)	電池残量が規定値以下になったとき	充電台に置いて充電してください
ピピ (確認音)	登録操作がうまくできたとき	登録操作が正しく行われました
ピピピピピ (警報音)	登録操作がうまくできなかったとき	登録操作が間違っています
ピピピ…ピピピ… (内線着信音)	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています
ピピピピピピピピピ… (外線着信音)	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
ピー…ピー…ピー…ピー… (トランシーバー着信音)	トランシーバーモードで呼び出されているとき	トランシーバーモードで呼び出されています
ピッ (電源投入確認音)	電源を入れたとき	電源が入りました
ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました

通話できる範囲から外れたときは

こんな表示がでたら

デジタルシステムコードレス電話機の表示については、以下の点をご確認ください。

表示	原因	確認してください
混み合っています 01-00 01-01 01-02 01-03	他のデジタルシステムコードレス電話機がデジタルシステムコードレス接続装置のすべてのチャンネルを使っている	少し待ってからかけ直してください 他のデジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直してください
	通話切断後の発信操作を素早く行っている	少し待ってからかけ直してください
	他のシステムと電波干渉が発生している	少し待ってから、または他のデジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直しても表示される場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください
使用可能エリア外です 01-0A	接続可能なデジタルシステムコードレス接続装置のエリアでない	接続可能なデジタルシステムコードレス接続装置のエリアに移動してください
おかけなおしてください 0C	発信操作と同時に着信がかかってきた	かけ直してください
	デジタルシステムコードレス接続装置と接続準備中	少し待ってからかけ直してください
接続できません 01-04 01-05 01-06 01-07 01-0B 11 12	システムとの通信ができない	当社のサービス取扱所にご相談ください
接続できません 01-09	システムで輻輳が発生している	少し待ってからかけ直してください
接続できません 02 03 04 06 08 09 0A 0B 0D 0E	デジタルシステムコードレス接続装置から離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直してください
	他のシステムと電波干渉が発生している	デジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直しても表示される場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください
	デジタルシステムコードレス接続装置と接続準備中	少し待ってからかけ直してください
接続できません 13	デジタルシステムコードレス接続装置と接続準備中	少し待ってからかけ直してください
	デジタルシステムコードレス接続装置から離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直してください
	接続可能なデジタルシステムコードレス接続装置のエリアでない	接続可能なデジタルシステムコードレス接続装置のエリアに移動してください
	他のシステムと電波干渉が発生している	少し待ってから、またはデジタルシステムコードレス接続装置の近くに移動してからかけ直しても表示される場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	電源ボタンを電源が入るまで押していない (5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)	電源ボタンを電源が入るまで押してください (5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)	☛P28
	バッテリー切れになっている	充電してください	☛P29
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P28
	デジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P34
	停電のため	故障ではありません	☛P133
	デジタルシステムコードレス接続装置に近づきすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置から1m以上離れてご使用ください	☛P9
	電話がかかけられない	デジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください
モード設定が異なっている		正しいモードに切り替えてください	☛P31
キーロックが設定されている		キーロックを解除してください	☛P104
ダイヤルロックが設定されている		ダイヤルロックを解除してください	☛P107
回線がいっぱいになっている		少し待ってからかけ直してみてください	—
高速で移動しながら電話をしている		デジタルシステムコードレス電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません 停止してかけ直してみてください	—
デジタルシステムコードレス接続装置に近づきすぎている		デジタルシステムコードレス接続装置から1m以上離れてご使用ください	☛P9
電話帳ダイヤルが使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	☛P108
着信音が鳴らない	不在着信転送が設定されている	不在着信転送を解除してください	—
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	—
	着信音量を「OFF」に設定している	着信音量設定を「小」「中」「大」「ステップトーン」のいずれかに切り替えてください	☛P39
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	☛P31
	電池残量が少なくなっている	充電してください	☛P29
	デジタルシステムコードレス電話機の電源が入っていない	電源ボタンを電源が入るまで押してください (5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)	☛P28
	デジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P34
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P9
	デジタルシステムコードレス接続装置に近づきすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置から1m以上離れてご使用ください	☛P9
通話が突然切れた	電波が届かないため	電波の届く場所へ移動してかけ直してください	☛P34
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P125
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	☛P123

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
通話に雑音が入ったり、お話しがとぎれる	デジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	●P34
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しがとぎれないところ（電波の強いところ）に移動してお話してください	●P128
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	●P9
	デジタルシステムコードレス接続装置などとの間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	●P128
	デジタルシステムコードレス接続装置に近づきすぎている	デジタルシステムコードレス接続装置から1m以上離れてご使用ください	●P9
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	●P36
	受話口に耳がきちんと当たっていない	耳をきちんと受話口に当ててください	—
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	●P36
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	—
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	●P39
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	●P39
充電台に置いてても充電ランプが点灯しない	充電台の電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグをきちんとコンセントへ差し込んでください	●P29
	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	●P29
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	●P28
	充電台の電源コードが傷んでいる	電源プラグをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください	—
充電ランプが点滅する	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	●P29
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	●P28
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	●P123
	充電する環境が5℃～35℃以外のため	充電時の環境を5℃～35℃の範囲に調節してください。	●P29
7.5時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	充電台に正しく置かれていない	正しく充電台に置いてください	●P29
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	●P123
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	●P29

●トランシーバーモード

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
他のデジタルシステムコードレス電話機を呼び出せない	「トランシーバーモード」に設定されていない	両方のデジタルシステムコードレス電話機を「トランシーバーモード」に設定してください	●P31
	呼び出す方と呼び出される方が離れすぎている	見通し距離で約100 m以内に近づいてください	●P65
	「トランシーバーモード」の番号や登録が合っていない	「トランシーバーモード」の番号をもう一度登録してください	●P66

停電になったとき

停電中は、デジタルシステムコードレス接続装置の電源が切れてしまうため、デジタルシステムコードレス接続装置のモードでは、デジタルシステムコードレス電話機を使用することはできません。

●停電になったときは

外の相手の方とお話し中	電話は切れます
保留中	保留中が解除され、電話は切れます
内線通話中	お話しは切れます

故障かな？と思ったら
停電になったとき

アルファベット

- 50音順で検索してかける 75
- DP→PB切替 59
- F／カナ／英ボタン 24
- INSネット64サービス 63
- PBXなどに接続されているとき 121

五十音

【ア行】

- 空いている外線を選んで電話をかける 60
- 相手の方に待っていただく 48,50
- 空き外線自動捕捉 60
- アラーム 63,109
 - アラームを解除する 109
 - アラームを設定する 109
- 暗証番号
 - 暗証番号が登録されていないとき 107
 - 暗証番号を登録する 105
 - 暗証番号を変更する 106
 - 暗証番号を間違えて押したとき 105,106
- アンテナ 24
- イヤホンマイク 126
- イヤホンマイク差込口 24
- いろいろな機能を設定するには 112
- 上ボタン 24
- 液晶ディスプレイ 24,26
- 液晶バックライト 25
- エニーキー応答 115
- 同じ相手にかけ直す 51
- 同じパーク保留ボタンを設定した電話機で
 - 取れるように保留する 50
- オプション 126
- 音声ページング 62
- 音量
 - 受話音量を調節する 36
 - スピーカー音量を調節する 38
 - 着信音量を調節する 39

【カ行】

- 回線種別 63
- 外線群指定発信 60
- 外線着信 46
- 外線発信 44,60
- 外線ボタン 24
- 外線ランプ 25
- 外部スピーカーで音声ページングする 62
- 外部接続端子 24
- 各部の名前 24
- キータッチトーン 112
- キーロック 104
 - キーロック中に電話がかかってきたとき 104
 - キーロックの設定 104
- 共通保留 48
- 切／電源ボタン 24
- クイック通話の設定 113
- クイック発信保護の設定 114
- クリアボタン 24
- 決定ボタン 24
- 圏外 128
- 口頭転送 48,56
- 故障かな?と思ったら 131
- 誤操作を防止するには 104
- 個別保留 49
- こんな音がしたら 129
- こんな表示がでたら 130

【サ行】

サービス機能の登録状態を表示する	63
再ダイヤル	51
電話番号を確認してから	
再ダイヤルする	51
索線ボタン	61
索線ボタンを使って電話をかける	61
索線ランプ	61
サブアドレス	
サブアドレス通知を解除する	116
サブアドレス通知を設定する	116
自営圏外通知	117
自営モード	31,41
自営モードとは	41
自営モード時に、エリアから外れたときに	
通知音を鳴らす	117
識別着信サービス	63
事業所（システム）の選択	41,42
時刻の設定	35
システムモード	63
下ボタン	24
自動発信可能な外線の中から選ぶ	60
充電	
充電確認音の設定	118
充電する	29
充電台	29
充電台からあげてかける	113
主装置	
主装置着信履歴を利用する	91
主装置電話帳を利用する	83
主装置発信履歴を利用する	88
主装置メニューを利用する	99
受話口	24
仕様	138
使用者名を液晶ディスプレイに表示する	119
スイッチ付イヤホンマイクを使う	92
ワンタッチダイヤルに電話帳の	
電話番号を登録する	95
ワンタッチダイヤルに登録する	93
ワンタッチダイヤルに発信履歴や	
着信履歴の電話番号を登録する	96
ワンタッチダイヤルを削除する	98
ワンタッチダイヤルを修正する	97

ワンタッチダイヤル	51
ステップトーン	39
スピーカーク	24
スピーカーク受話に切り替える	37
制限される機能	127
接続装置を自動選択	43
設置について	4,7,9
設定できる機能の一覧	122
セットの確認	23
操作が分からないとき	120
操作するときの音の設定	112
送話口（マイク）	24

【タ行】

ダイヤルボタン	24
ダイヤルライト	25
ダイヤルロックの設定	107
ダイヤルを押すだけで着信に応答する	115
代理応答	58
短縮ボタン	24
着信	
着信拒否	63
着信／充電ランプ	25
着信履歴	89
着信履歴の削除	90
着信を振動でお知らせする	101
着信音	
着信音量を「OFF」に設定する	39
着信音量を調節する	39
着信音を順次大きくなるようにする	39
着信の種類ごとに音を変える	100
着信履歴として記録されている電話番号を	
登録する	84
着信履歴ボタン	24
長時間保留警報	48
通話時間	121
通話できる範囲から外れたとき	128
通話／フックボタン	24
使える事業所（システム）の数	41
続けて電話をかける	45
デジタルシステムコードレス電話機と	
他の内線標準電話機との違い	127
停電になったとき	133

- 電源**
 電源を入れながらモードを選択する .. 32
 電源を入れる 28
 電源を切る 28
- 電池**
 使用可能時間の目安 34
 電池カバー 28
 電池残量を確認する 34
 電池使用期間を確認する 110
 電池の残量がなくなったとき 125
- 電池パック** 126
 電池パック回収のお願い 124
 電池パックの取り扱い 123
 電池パックを交換する 123
- 電波の状態を確認する** 34
- 電話がかかってきたとき** 46
- 電話帳ダイヤル** 73
 50音順で検索してかける 75
 すべての電話帳ダイヤルを削除する .. 81
 電話帳グループの電話番号を
 検索してかける 77
 電話帳グループの名前をつける 82
 電話帳ダイヤルを1件ずつ削除する .. 80
 電話帳ダイヤルを検索する 75
 電話帳ダイヤルを修正する 79
 電話帳ダイヤルを登録する 73
 電話帳を開けないようにする 108
 読み仮名を検索してかける 76
- 電話帳ボタン** 24
- 電話帳ロック** 108
 電話帳ロックを解除する 108
 電話帳ロックを設定する 108
- 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて
 登録する** 74
- 電話番号を確認する** 33
 電話番号を確認してからかける
 45,51,54,55
- 電話番号を組み合わせてかける** 85
- 電話をかけてきた相手にこちらからかける**
 89
- 電話をかけられないようにする** 107
- 電話をかける** 44
 空いている外線を選んで
 電話をかける 60
 同じ相手にかけ直す 51
 充電台からあげてかける 113
 続けて電話をかける 45
 電話帳ダイヤルでかける 75
 電話番号を確認してからかける
 45,51,54,55
 電話をかけてきた相手に
 こちらからかける 89
 メモリ番号で電話をかける 55
 ワンタッチダイヤルでかける 54
- 電話を取りつぐ** 56
- 盗聴防止** 22
- 特長** 22
- 特番（～用の番号）** 17
- トランシーバーモード** 65
 トランシーバーグループ登録を
 解除する 70
 トランシーバーグループを登録する .. 69
 トランシーバーモードで
 電話を受ける 68
 トランシーバーモードで
 電話をかける 67
 トランシーバーモードの番号が
 設定できなかったとき 66
 トランシーバーモードの番号の設定 .. 66
 トランシーバーモードの利用 65
- 取扱説明書** 15,16
- 【ナ行】**
- 内線通話** 57
 内線通話を保留する 48,49
- 内線でお話しする** 57
- 内線ボタン** 24
- 内線ランプ** 25

【ハ行】

パーク保留	50
パーク保留ボタン	50
パーク保留ランプ	50
バイブレーション着信	101
発信自動捕捉	44
発信履歴	86
発信履歴の削除	87
発信履歴ボタン	24
ハンドストラップ	29
ハンドストラップ取付穴	24
ハンドストラップを取り付ける	29
左ボタン	24
昼モード	63
不在転送	63
普通に保留する	48
プッシュホンサービスの種類	59
プッシュホンサービスを利用する	59
プリセットダイヤル	45,51,54,55
プリセクションサービス	121
別の電話機で対応する	58
ヘルプ表示	120
他の電話機で取れないように保留する	49
保守サービス	139
保留	48,50
同じパーク保留ボタンを設定した 電話機で取れるように保留する	50
他の電話機で取れないように 保留する	49
普通に保留する	48
保留転送	56
相手の方とのお話しに戻る	56
呼び出された方の応答を待たずに 転送する	56
呼び出される方が近くにいるとき	56
保留ボタン	24

【マ行】

前に電話をかけた相手に再びかける	86
待ち受け状態	32
マナーモード	102
マナーモードの機能の設定	102
マナーモードを設定	103
右ボタン	24
メニュー機能の操作	40
メモリ番号	55
プリセットダイヤル	55
メモリ番号で電話をかける	55
メモリ番号の電話番号を確認してから 電話をかける	55
モード	31
モードを切り替える	32
モードを設定する	31
文字を入力する	
英字モード	71
カタカナモード	71
数字モード	72
入力文字を修正する	72

【ヤ行】

呼出状態転送	56
夜モード	63

【ラ行】

ランプ表示	25
利用できないとき	27

【ワ行】

話中着信音	64
ワンタッチダイヤル	52,53
電話番号を確認してからかける	54
登録した番号を変更する	52,53
ワンタッチダイヤルでかける	54
ワンタッチダイヤルを登録する	52,53

■仕 様

	電話機本体	充電台
寸法、質量	50mm (幅) × 16.5mm (奥行) × 143mm (高さ) (アンテナおよび突起部を含まず) 約122g (電池パックを含む)	73mm (幅) × 91mm (奥行) × 51mm (高さ) 約139g (電源コード含む)
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.7V 1000mAh	AC100V (50/60Hz)
消費電力	約0.5VA	約4VA
連続通話時間	約8時間	—————
連続待受時間	約320時間	—————

- 連続通話時間および連続待受時間は、新品電池を常温（25℃）で使用したときの算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待受時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波が弱いところや電波が届かないところでは電池の消費が多いため表中の数値と異なります。
- 実際にご使用になれる時間は、充電のしかたや電池の劣化度、使用環境等によって表中の数値と異なります。
- 実際にご使用になれる時間は、待受時間と通話時間などの組み合わせになりますので、発信、着信があったり、通話時間や移動することが多い場合は短くなります。
- 時計の精度は1か月に±60秒程度の誤差があります（常温（25℃）の場合）。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

項 目	仕様／品名
標準規格	第二世代コードレス電話システム RCR STD-28
防水性能	IPX5/IPX7
使用環境条件	5℃～35℃
充電完了時間	約7.5時間
電話帳ダイヤル登録件数	500件
発着信履歴件数	各10件
着信音パターン数	17 (パターン1～10、ドアホン1～2、メロディ1～5)
音量切替段階数	受話音量：5段階 スピーカー音量：5段階 着信音量：3段階
付属品	電池パック (1個) 電池カバー (1個) 充電台 (1台) 壁掛け用木ネジ (2本) 取扱説明書 (1部)

■保守サービスのご案内

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用、部品代をいただきます) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください) ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは、局番なしの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話からは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



電池パック（ZX-DCL-デンチパック-〈1〉）は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ

東日本：<https://business.ntt-east.co.jp/support/product.html>

西日本：<https://www.ntt-west.co.jp/smb/support/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2024 NTTEAST・NTTWEST



本3496-2 (2024.10)
ZX-DCL-PSトリセツ-〈1〉